

道路施設基本データ作成マニュアル (北海道開発局)

令和5年3月

国土交通省 北海道開発局
建設部 道路維持課

== 道路施設基本データ作成マニュアル(北海道開発局) 目次 ==

1. 概要	1
1-1. 本マニュアルの目的	1
1-2. 作成データの概要	3
1-3. 道路施設基本データの作成対象となる道路施設	4
1-4. 道路施設基本データの作成から納品までの流れ	5
2. 道路施設基本データの作成	8
2-1. 道路施設基本データ作成における共通注意事項	8
2-2. 道路施設基本データの種類	15
2-3. 道路施設基本データ作成を支援するツール類	15
2-4. 道路施設基本データの作成単位	16
2-5. 道路施設基本データ詳細情報	18
2-6. イメージデータ(道路施設一般図・現況写真)	26
2-7. 道路施設基本データ位置図	32
3. 道路施設基本データの照査・電子納品	36
3-1. 道路施設基本データのチェック	36
3-2. 道路施設基本データの照査に必要なデータおよび資料	38
3-3. 道路施設基本データの電子納品	39
4. その他の事項	42
4-1. 各種問い合わせ	42
4-2. 改訂履歴	43

【添付資料】

・道路施設基本データ総括表	添付-1
・道路施設基本データ一覧表	添付-2
・道路施設基本データ詳細表	添付-3
・道路施設基本データ位置図作成事例	添付-4
・イメージデータ作成事例	添付-5

【巻末資料】<道路施設基本データ詳細情報>

<管理ファイル作成方法およびフォルダ・ファイル構成>

1. 詳細情報のフォーマット	巻末-1
2. 詳細情報のサンプル	巻末-32
3. 道路施設基本データ関連の管理ファイル、フォルダ・ファイル構成	巻末-33
4. 道路施設基本データ作成上の留意点	巻末-44

1. 概要

1-1. 本マニュアルの目的

（道路施設基本データとは）

道路施設基本データは、毎年実施される各種道路工事において、新設・改良等が行われた道路施設に関する、基本諸元データ（テキスト情報）およびイメージデータ等をいい、「道路管理データベースシステム」へ登録するデータの基となる基本データ（道路施設台帳データ）である。データ整備コスト縮減施策の一環として、平成15年度以降、工事請負者が作成することとなっている。

『道路工事完成図等作成要領（国土交通省国土技術政策総合研究所、平成20年12月）』により、完成平面図とともに道路施設基本データを工事成果の一部として電子納品することが規定された。ここでいう“電子納品”とは、単に電子データで工事成果を納品することではなく、『工事完成図書の電子納品要領』等に則って工事成果を納品することを指す。

なお、国土交通省における令和4年11月21日事務連絡「全国道路施設点検データベースの活用について」を受け、データの登録先として全国道路施設点検データベースが追加された。

（本マニュアルの位置付け）

『道路工事完成図等作成要領』では、道路施設基本データの作成および電子納品に関して、全国で標準的に運用するための作業要領が定められている。

本マニュアルは、『道路工事完成図等作成要領』に準拠した上で、道路施設基本データの作成および電子納品に関して、北海道開発局管内における独自の運用方針を補足するとともに、道路施設基本データの作成および電子納品が適切かつ円滑に行われるため、データ作成方法、ファイル形式、格納するフォルダ形式、データチェック方法までの補足を加え、定めたものである。

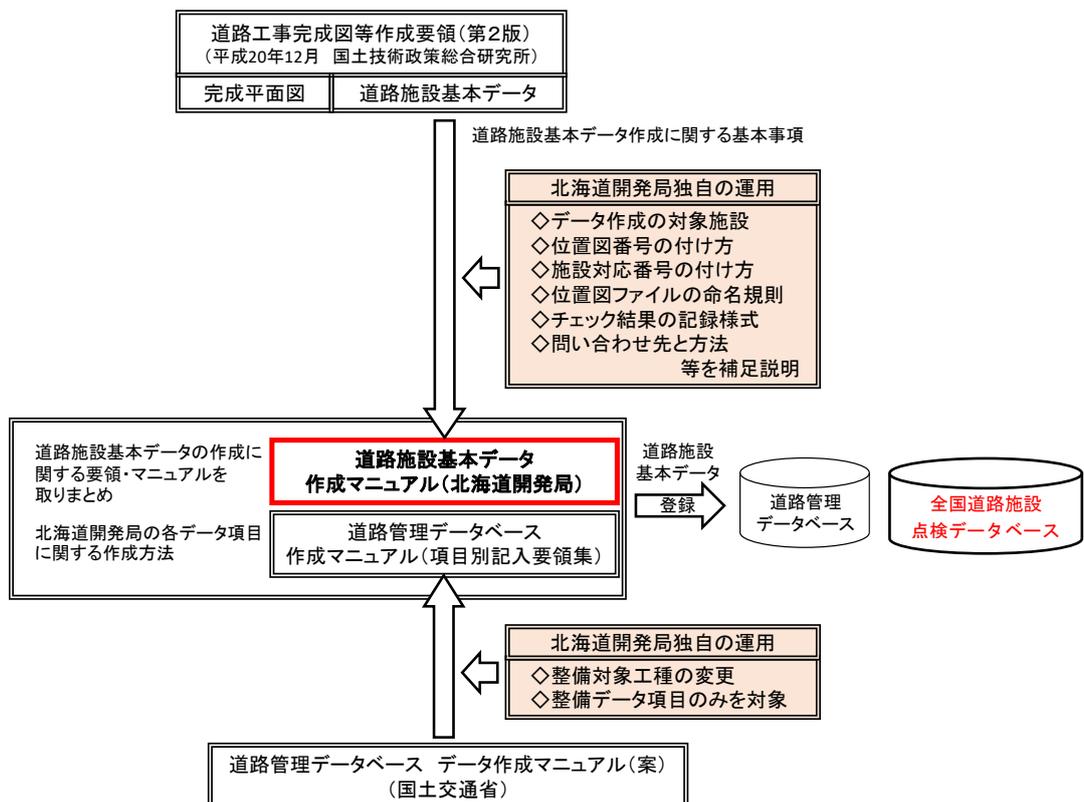


図 1-1 本マニュアルの位置付け

（本マニュアルに関連する資料等）

道路施設基本データの作成および電子納品に際しては、本マニュアルのほか下表に示す資料等に準拠すること。

表 1-1 本マニュアルに関連する資料等

資料等名	説明
①道路施設台帳記入シート	道路施設基本データシステムを利用して、各道路施設の諸元を作成・登録するための入力用シート。
②道路施設基本データ作成システム／国土交通省※1 （ダウンロードファイル内に「道路施設基本データ作成システム 利用マニュアル」あり）	道路施設基本データを作成するための入力ツール。 （道路施設基本データ入力ツールの操作方法等について記載したマニュアル。）

【北海道開発局 道路施設基本データ作成支援サイト】

https://www.hkd.mlit.go.jp/ky/kn/dou_iji/ud49g7000000cjt9.html

【道路施設基本データ作成の流れと関連資料について】

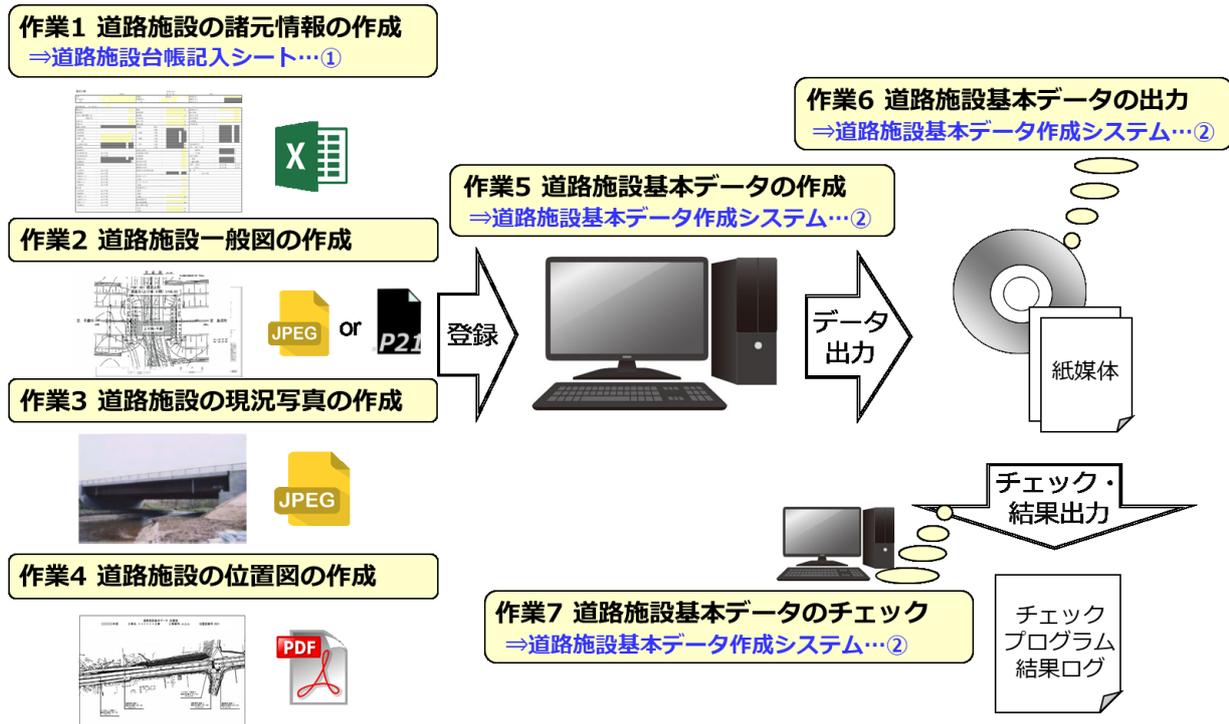


図 1-2 道路施設基本データ作成の流れと関連資料について

1-2. 作成データの概要

新設・改良や維持修繕などの請負工事に関連する道路施設について、以下に示すデータを道路施設基本データとして作成する。

- (1). 道路施設基本データ詳細情報（拡張子.csv）
- (2). イメージデータ（道路施設の平面図、標準断面図等：拡張子.jpg または.p21）
- (3). イメージデータ（現況写真：拡張子.jpg）
- (4). 道路施設基本データ位置図（拡張子.pdf）

道路施設形状に変更を加えない工事についてはイメージデータを作成する必要はない。

道路施設基本データ詳細情報は、工事に関連する道路施設の諸元情報等を、文字・数値で作成するものである。

イメージデータは、現況写真および道路施設の図面（平面図、標準断面図等）を対象とする。

ただし、補修補強工事や維持工事など、道路施設の図面に変更が生じない工事については道路施設の図面を作成する必要はなく、現況写真についても同様である。

道路施設基本データ位置図は、道路施設基本データの照査時に道路施設毎に作成した道路施設基本データ詳細情報の施設位置等を確認するために作成するものである。なお、施設の撤去の場合には、イメージデータを作成する必要はなく、道路施設基本データ位置図にのみ撤去箇所を記載する。

橋梁施設を事例にして、4種類の情報から成る道路施設基本データの構成を以下に示す。

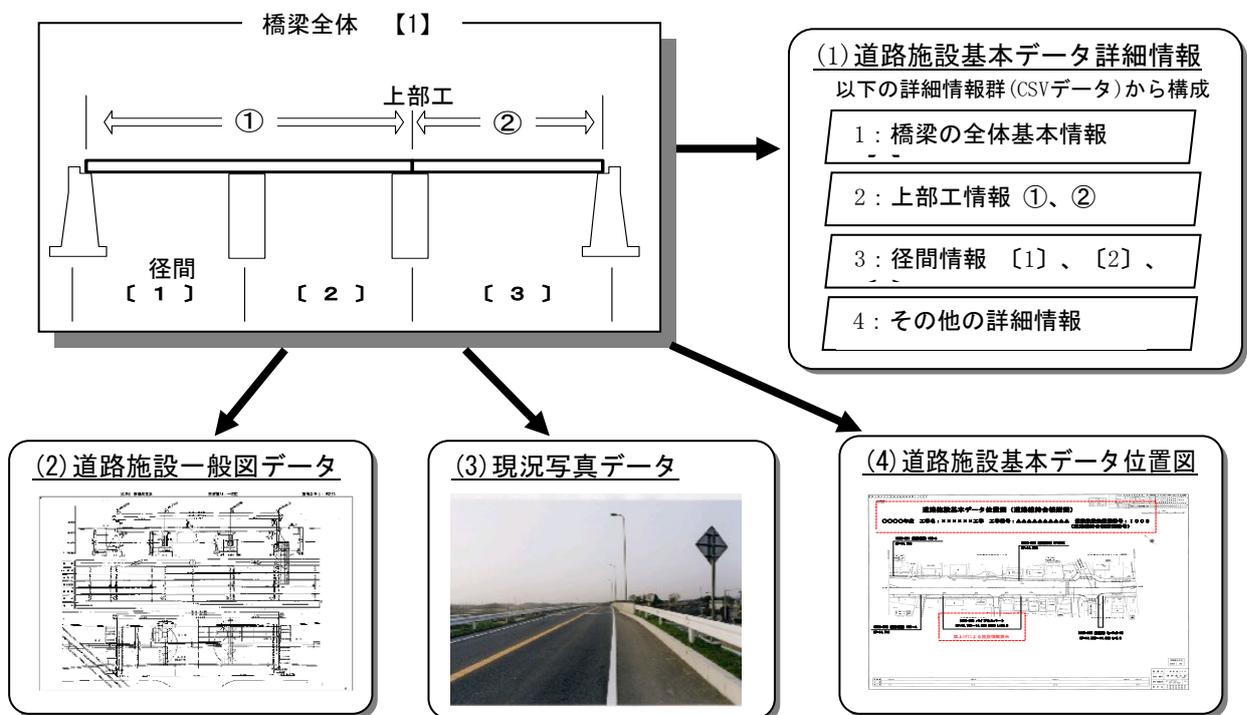


図1-3 道路施設基本データの構成（例）

1-3. 道路施設基本データの作成対象となる道路施設

全国道路施設点検データベース（以降、「点検 DB」）の運用開始に伴い、C050 舗装は、（財）国土技術研究センターHP からダウンロードできる入力様式を用いて点検 DB に登録するため、道路施設基本データは作成対象外とする。

このため、道路施設基本データの作成対象となる道路施設（工種）は、下表に示す 48 工種とする。

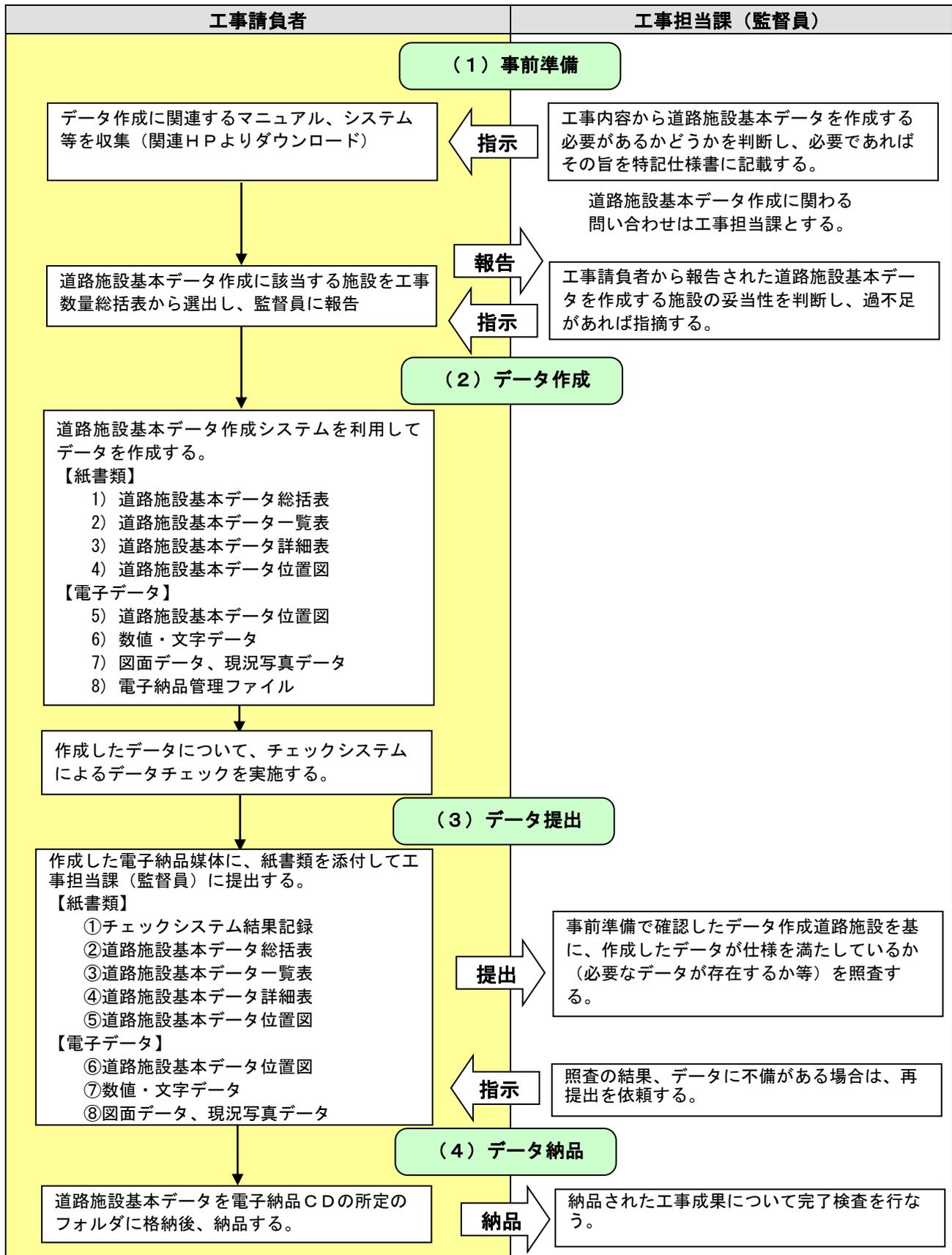
表 1-2 道路施設基本データの作成対象とする道路施設

区分	施設番号	施設名称	区分	施設番号	施設名称
道路構造 (8工種)	C020	縦断勾配	付 属 物 お よ び 付 帯 施 設 (28工種)	E010	防護柵
	C030	平面線形		E020	道路照明
	C060	道路交差点		E030	視線誘導標（反射式）
	C070	鉄道交差点		E040	視線誘導標（自光式）
	C080	歩道および自転車歩行者道		E050	道路標識
	C090	独立専用自歩道		E060	道路情報板
	C100	中央帯		E070	交通遮断機
	C110	環境施設帯		E080	I. T. V
構造物 (12工種)	D010	橋梁		E090	車両感知器
	D020	橋側歩道橋		E100	車両諸元計測施設
	D030	横断歩道橋		E110	気象観測施設
	D040	トンネル		E120	災害予知装置
	D050	洞門		E130	自動車駐車場等
	D060	スノーシェッド		E140	自転車駐車場
	D070	地下横断歩道		E150	雪崩防止施設
	D080	道路BOX等		E160	落石防止施設
	D090	横断BOX等		E170	消雪パイプ
	D100	パイプカルバート		E180	ロードヒーティング
	D110	のり面		E190	除雪ステーション
	D120	擁壁		E200	防災備蓄倉庫
		E210		共同溝	
		E220		C A B 電線共同溝	
		E230		植栽	
		E240		遮音施設	
		E250		遮光フェンス	
		E270		流雪溝	
		E330		光ケーブル	
		E350		ビーコン	

1-4. 道路施設基本データの作成から納品までの流れ

道路施設基本データの作成から納品までの基本的な流れを表 1-3 に示す。

表 1-3 道路施設基本データの作成から納品までの基本的な流れ



（１）．事前準備

工事受注後、道路施設基本データ作成に必要となる関連資料、データ入力ツールおよびチェックシステムを、下記ダウンロードサイトより取得する。

１）．北海道開発局道路施設基本データ作成支援サイト

(https://www.hkd.mlit.go.jp/ky/kn/dou_iji/ud49g7000000cjt9.html)

道路施設基本データ作成マニュアル（北海道開発局）（本マニュアル）
道路施設台帳記入シート
道路管理データベース作成マニュアル（項目別記入要領集）

２）．道路工事完成図等作成支援サイト

(http://www.nilim-cdrw.jp/rd_tool.html)

道路施設基本データ作成システム
道路施設基本データ作成システム 利用マニュアル

また、道路施設基本データ作成に該当する道路施設を工事総括表等から選出し、初回協議等において道路施設基本データを作成する施設について、工事担当課（監督員）と協議し確認する。

（２）．データ作成

１）．道路施設基本データ位置図作成

道路台帳附図、路線図等を基に、データ作成した施設の位置および延長方向が明確に判別できる情報を明記した道路施設基本データ位置図を作成する。

２）．道路施設基本データの作成

＜作成する道路施設基本データ＞

【紙書類】

- 1) 道路施設基本データ総括表
- 2) 道路施設基本データ一覧表
- 3) 道路施設基本データ詳細表
- 4) 道路施設基本データ位置図

【電子データ】

- 5) 道路施設基本データ位置図
- 6) 数値・文字データ（道路施設基本データ詳細情報）（csvファイル）
- 7) 図面データ、現況写真データ（jpgファイル、図面データはSXF（p21ファイル）代用可）
- 8) 電子納品管理ファイル

作成した道路施設基本データ位置図で施工した道路施設を確認し、「本マニュアル 2-5. 道路施設基本データ詳細情報」、「道路管理データベース作成マニュアル（項目別記入要領集）」に基づき、対象道路施設の数値・文字データを作成する。

また、図面および現況写真は、「本マニュアル 2-6. イメージデータ（道路施設一般図・現況写真）」に記載されている内容に基づいて作成する。

作成した道路施設基本データは、「本マニュアル 3-3. 道路施設基本データの電子納品 図 3-4」のフォルダ構造、ファイル構成、管理ファイルで電子納品 CD に格納する。

3) . データのチェック

道路施設基本データを作成後、「道路施設基本データ作成システム」のチェック機能及び目視等によるチェックを行い、チェック結果記録を出力する。（「本マニュアル 3-1. 道路施設基本データのチェック」参照）

(3) . データの提出

道路施設基本データのチェック完了後、下記に示す道路施設基本データを取りまとめ、完了検査前に工事担当課（監督員）に提出しデータ内容の照査を受ける。

〔紙書類〕

- ①チェックシステム結果記録
- ②道路施設基本データ総括表
- ③道路施設基本データ一覧表
- ④道路施設基本データ詳細表
- ⑤道路施設基本データ位置図

〔電子データ〕

- ⑥道路施設基本データ位置図（pdfファイル）
- ⑦数値・文字データ（csvファイル）
- ⑧図面データ（jpgファイル、SXF（p21ファイル））、現況写真データ（jpgファイル）

照査の結果、データに不備がある場合は、不備を修正し再提出する。

(4) . データ納品

照査済の道路施設基本データを、「本マニュアル 3-3. 道路施設基本データの電子納品」に則って電子成果品に格納し、工事担当課（監督員）へ提出する。

2. 道路施設基本データの作成

2-1. 道路施設基本データ作成における共通注意事項

(1). 作成方法

道路施設基本データは、請負工事において新設または改良・撤去した対象施設に対して、「道路施設基本データ作成システム」を利用してデータ作成を行う。システムの利用方法については、「道路施設基本データ作成システム 利用マニュアル」によることとする。

なお、当該工事で既存施設の改良・撤去が存在している場合にも、「道路施設基本データ作成システム」において、「新規作成」機能を使用してデータ作成を行うこととする。

表 2-1 道路施設基本データの作成方法

データ区分	データ作成方法
施設を「新設」する場合	「新規作成」を選択して、すべてのデータ項目について作成する。
施設を「改良」する場合	「新規作成」を選択して、[データ区分(2 改良)]、[施設対応番号]、[路線]、[現旧区分]、[距離標（百米標、距離）]、[上り下り区分]のほか、変更となったデータ項目について作成する。
施設を「撤去」する場合	「新規作成」を選択して、[データ区分(3 撤去)]、[施設対応番号]、[路線]、[現旧区分]、[距離標（百米標、距離）]、[上り下り区分]のみ作成する。
施設を「移設」する場合	上記「撤去」と「新設」両方のデータを作成する。

(2). データベースの構成単位

道路施設基本データ入力ツール（「本マニュアル表 1-4. 道路施設基本データの作成から納品までの基本的な流れ」参照）を使用してデータ作成する際には、表 2-2 に示す詳細情報名の分類表（親、子、孫）にしたがって作成することとする。

詳細情報名は、道路施設単位を基本としているが、例えば橋梁の上部工（D015）のように、1 橋梁の中に複数の上部構造体があるものについては、1 施設につき複数の上部工情報を作成する必要があり、図 2-1 に示すような関係となる。

本マニュアルでは、これらの関係を区別して指す場合に、「親詳細情報名」、「子詳細情報名」、「孫詳細情報名」と呼ぶこととする。

道路施設基本データ詳細情報は、表 2-2 の道路施設単位で、かつ詳細情報名単位に 1 ファイルにとりまとめる。

なお、子表に対しては親表、孫表に対しては子表において、施設を特定する基本項目が入力されていないと入力不可となるため、注意が必要となる。

橋梁台帳

工事名:		業者名及び責任者:		TEL:
名称	:	路線名	:	整理番号1
所在地(自)	:	距離標(自)	:	調整年月日
(至)	:	(至)	:	改訂年月日

【基本諸元】 データ区分 :				
橋梁区分	:	橋長	:	m
橋梁種別	:	総径間数	:	
上部工分離・橋脚一体	:	橋面積	:	m ²
構造の別	:	平面形状	:	
分割区分	:	最小半径	:	m
事業区分	:	縦断勾配	:	%
路線名(俗称)	:	「舗装」種別	:	1
[交通規制]	:	面積	:	m ²
通行制限	:	粒度	:	2
荷重制限	:	上層	:	3
制限 高さ	:	種類	:	4
幅	:	上層	:	5
迂回路の有無	:	下層	:	6
交通現況	:	厚さ	:	cm
		下層	:	cm
				[基本耐荷力]
				主桁, 主橋, トラス橋

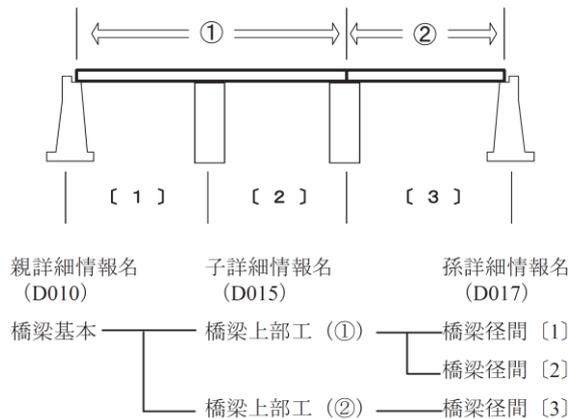


図 2-1 詳細情報名の関係（橋梁上部工の場合）

表 2-2 作成対象施設と対応する詳細情報名

区分	施設番号	施設名	詳細情報番号	詳細情報名	分類		
					親	子	孫
道路構造	C020	縦断勾配	C020	縦断勾配	○		
			C021	バーチカルカーブ	○		
	C030	平面線形	C030	平面線形基本	○		
			C031	平面線形折曲り箇所		○	
	C060	道路交差点	C060	道路交差点本線	○		
	C070	鉄道交差点	C070	鉄道交差点基本	○		
			C071	鉄道交差点鉄道事業者		○	
	C080	歩道及び自転車歩行者道	C080	歩道自歩道	○		
	C090	独立専用自歩道	C090	独立専用自歩道	○		
	C100	中央帯	C100	中央帯	○		
C110	環境施設帯	C110	環境施設帯	○			

区分	施設番号	施設名	詳細情報番号	詳細情報名	分類		
					親	子	孫
構造物	D010	橋梁	D010	橋梁基本	○		
			D011	橋梁幅員構成		○	
			D012	橋梁高欄防護柵		○	
			D013	橋梁交差状況		○	
			D014	橋梁添架物		○	
			D015	橋梁上部工		○	
			D016	橋梁下部工		○	
			D017	橋梁径間			○
			D019	橋梁塗装歴		○	
			D01A	橋梁補修歴		○	
			D01D	橋梁点検補修		○	
	D020	橋側歩道橋	D020	橋側歩道橋基本	○		
			D021	橋側歩道橋幅員構成		○	
			D022	橋側歩道橋高欄防護柵		○	
			D023	橋側歩道橋交差状況		○	
			D024	橋側歩道橋添架物		○	
			D025	橋側歩道橋上部工		○	
			D026	橋側歩道橋下部工		○	
			D027	橋側歩道橋径間			○
			D029	橋側歩道橋塗装歴		○	
			D02A	橋側歩道橋補修歴		○	
			D02D	橋側歩道橋点検補修		○	
	D030	横断歩道橋	D030	横断歩道橋基本	○		
			D032	横断歩道橋塗装歴		○	
			D033	横断歩道橋補修歴		○	
	D040	トンネル	D040	トンネル基本	○		
			D042	トンネル補修歴		○	
			D043	トンネル占用物		○	
	D050	洞門	D050	洞門基本	○		
			D052	洞門補修歴		○	
			D053	洞門占用物		○	
	D060	スノーシェッド	D060	スノーシェッド基本	○		
			D062	スノーシェッド補修歴		○	
			D063	スノーシェッド占用物		○	
	D070	地下横断歩道	D070	地下横断歩道基本	○		
			D072	地下横断歩道補修歴		○	
			D073	地下横断歩道占用物		○	
	D080	道路 BOX	D080	道路 BOX 基本	○		
			D082	道路 BOX 補修歴		○	
			D083	道路 BOX 占用物		○	
	D090	横断 BOX	D090	横断 BOX 基本	○		
	D100	パイプカルバート	D100	パイプカルバート基本	○		
	D110	のり面	D110	のり面基本	○		
	D120	擁壁	D120	擁壁基本	○		

区分	施設番号	施設名	詳細情報番号	詳細情報名	分類		
					親	子	孫
付 属 物 及 び 付 帯 施 設	E010	防護柵	E010	防護柵基本	○		
	E020	道路照明	E020	照明基本	○		
	E030	反射式視線誘導標	E030	反射式視線誘導	○		
	E040	自光式視線誘導標	E040	自光式視線誘導基本	○		
	E050	道路標識	E050	標識基本	○		
			E051	標識各板諸元		○	
	E060	道路情報板	E060	情報板基本	○		
	E070	交通遮断機	E070	交通遮断機基本	○		
	E080	ITV	E080	ITV 基本	○		
	E090	車両感知器	E090	車両感知器基本	○		
	E100	車両諸元計測施設	E100	車両計測基本	○		
			E101	車両諸元計測施設設備		○	
	E110	気象観測施設	E110	気象観測基本	○		
	E120	災害予知装置	E120	災害予知装置基本	○		
	E130	自動車駐車場	E130	自動車駐車場基本	○		
	E140	自転車駐車場	E140	自転車駐車場基本	○		
	E150	雪崩防止施設	E150	雪崩防止基本	○		
	E160	落石防止施設	E160	落石防止基本	○		
	E170	消雪パイプ	E170	消雪パイプ基本	○		
	E180	ロードヒーティング	E180	ロードヒーティング基本	○		
	E190	除雪ステーション	E190	除雪 ST 基本	○		
			E191	除雪ステーション設備		○	
	E200	防災備蓄倉庫	E200	防災備蓄倉庫基本	○		
			E201	防災備蓄倉庫設備		○	
	E210	共同溝	E210	共同溝基本	○		
			E211	共同溝占用物		○	
	E220	CAB 電線共同溝	E220	CAB 電線共同溝基本	○		
			E221	CAB 電線共同溝占用物		○	
	E230	植栽	E230	植栽基本	○		
			E231	植栽樹木種別		○	
	E240	遮音施設	E240	遮音施設基本	○		
			E241	遮音施設型式		○	
	E250	遮光フェンス	E250	遮光フェンス基本	○		
	E270	流雪溝	E270	流雪溝	○		
	E330	光ケーブル	E330	光ケーブル基本	○		
E334			光ケーブル端局	○			
E350	ビーコン	E350	ビーコン基本	○			

（３）．未整備、該当なし

「未整備」、「該当なし」の場合は以下のように記入する。

未整備	？
該当なし	*

なお、「未整備」「該当なし」とは、以下のことをいう。

「未整備」：橋梁上部工における床版コンクリート強度等の項目のように、関連資料による確認、または目視による現場確認が行えない場合等で、データ記入できない項目。

「該当なし」：コンクリート橋の場合の橋梁上部工における「鋼上部工鋼重」の項目のように、データの組み合わせによって、不必要な項目。

「保留項目」：道路管理データベースのデータ項目は多岐にわたっているため、データ整備の範囲（対象の項目）を限定して行った場合、データ整備の対象外項目。（整備を保留した項目）

注) マニュアル上で「該当なしは‘*’を記入」と特に記載のない
数値項目に対しては、‘0’を記入する。

（４）．必須項目

必須項目とは、それらの項目が未入力または未整備（?）、該当なし（*）、保留項目（#）データを入力した場合、不適合が生じる項目である。これらについては必ずデータを記入するものとする。

必須項目としては、施設の名称や、位置を表す路線・現旧区分・距離標の項目がある。（記入方法は、「本マニュアル2-5.（1）. データ作成における共通入力事項」を参照）

（５）．特殊文字の取扱い

データ記入に際しては、ローマ数字（Ⅰ、Ⅱ・・・）、単位（㎡、cm・・・）等の外字や、(株)、(代)、(有)等の特殊文字は、データとして使用せず、以下のように一般の文字に置き換えて記入する。また、漢字でJISX0208（JIS第2水準）以外の字はひらがなで記入する。

(記入例)			
Ⅰ、Ⅱ、Ⅲ	→	1、2、3	
㎡、cm	→	m2、cm	のように書換える。

(6) . 工種間で関連する項目の取扱い

道路照明と橋梁の照明のように工種間で項目が重複する場合がある。

この場合には、基本的に主側（道路照明）で整備し、従側(橋梁)には有無のみを整備する。

データ整備を行う際は、主側では関連施設（従側）名称を記入し、従側は照明の有無を記入する。（記入例参照）

【記入例】A橋の照明の場合

(主側：E020 道路照明)

道路照明台帳		業者名及び 責任者:																																																	
名称	工事名:	路線名	一般国道																																																
所在地		距離標	+																																																
		整理番号	1																																																
		調整年月日																																																	
		改訂年月日																																																	
【基本諸元】 データ区分 :																																																			
連続・局部の別		安定器型式																																																	
設置区分		(CB) 関連施設名称																																																	
設置箇所		(AA) 設置区分Cで指定した工種の施設名を、10文字以内の日本語で記入する。 (AA) 設置区分C : ◆ 設置区分について、該当するコードを記入する。																																																	
完成年月		<table border="1"> <thead> <tr> <th>区 分</th> <th>コード</th> <th>区 分</th> <th>コード</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>道路照明</td> <td>1 1</td> <td>歩道照明</td> <td>2 2</td> </tr> <tr> <td>トンネル照明</td> <td>1 2</td> <td>標識照明</td> <td>2 3</td> </tr> <tr> <td>橋梁照明</td> <td>1 3</td> <td>横断歩道照明</td> <td>2 4</td> </tr> <tr> <td>橋側歩道橋照明</td> <td>1 4</td> <td>擁壁照明</td> <td>2 5</td> </tr> <tr> <td>横断歩道橋照明</td> <td>1 5</td> <td>横断BOX等照明</td> <td>2 6</td> </tr> <tr> <td>地下横断歩道照明</td> <td>1 6</td> <td>自動車駐車場照明</td> <td>2 7</td> </tr> <tr> <td>道路BOX等照明</td> <td>1 7</td> <td>スノーシェルター照明</td> <td>2 8</td> </tr> <tr> <td>洞門照明</td> <td>1 8</td> <td>立体地下駐車場照明</td> <td>2 9</td> </tr> <tr> <td>スノーシェッド照明</td> <td>1 9</td> <td>Uターン場照明</td> <td>3 0</td> </tr> <tr> <td>道路交差点照明</td> <td>2 0</td> <td>その他照明</td> <td>9 9</td> </tr> <tr> <td>共同溝照明</td> <td>2 1</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>		区 分	コード	区 分	コード	道路照明	1 1	歩道照明	2 2	トンネル照明	1 2	標識照明	2 3	橋梁照明	1 3	横断歩道照明	2 4	橋側歩道橋照明	1 4	擁壁照明	2 5	横断歩道橋照明	1 5	横断BOX等照明	2 6	地下横断歩道照明	1 6	自動車駐車場照明	2 7	道路BOX等照明	1 7	スノーシェルター照明	2 8	洞門照明	1 8	立体地下駐車場照明	2 9	スノーシェッド照明	1 9	Uターン場照明	3 0	道路交差点照明	2 0	その他照明	9 9	共同溝照明	2 1		
区 分	コード	区 分	コード																																																
道路照明	1 1	歩道照明	2 2																																																
トンネル照明	1 2	標識照明	2 3																																																
橋梁照明	1 3	横断歩道照明	2 4																																																
橋側歩道橋照明	1 4	擁壁照明	2 5																																																
横断歩道橋照明	1 5	横断BOX等照明	2 6																																																
地下横断歩道照明	1 6	自動車駐車場照明	2 7																																																
道路BOX等照明	1 7	スノーシェルター照明	2 8																																																
洞門照明	1 8	立体地下駐車場照明	2 9																																																
スノーシェッド照明	1 9	Uターン場照明	3 0																																																
道路交差点照明	2 0	その他照明	9 9																																																
共同溝照明	2 1																																																		
灯具型式		整備対象項目（道路施設台帳記入 シートの黄色箇所）に 照明のデータを記入																																																	
照明ボール型式																																																			
新設																																																			
基礎																																																			
配列																																																			
表面																																																			
塗装																																																			
連続																																																			
[光源]																																																			
① 種類				占用物件別																																															
型式		[関連施設]																																																	
灯数	灯	名称	A橋																																																
② 種類																																																			
型式																																																			
灯数	灯																																																		
③ 種類																																																			
型式																																																			

(従側：D010 橋梁)

橋梁台帳		業者名及び 責任者:	
名称	工事名:	路線名	一般国道
所在地(自)	A橋	距離標(自)	+
(至)		(至)	+
		整理番号	1
		調整年月日	
		改訂年月日	
【基本諸元】 データ区分 :			
橋梁区分		橋長	m
橋梁種別		総径間数	
上部工分離・橋脚一体		橋面積	m ²
構造の別		平面形状	
分割区分		最小半径	m
事業区分		縦断勾配	%
路線名(俗称)		[舗装] 種別	
[交通規制]		面積	m ²
通行制限		粒度 上層	
荷重制限	tf	下層	
制限 高さ	m	種類 上層	
幅	m	下層	
迂回路の有無		厚さ 上層	cm
交通現況		下層	cm
[他域橋長]		[照明] 有無	1 (有り)
起点側所在地	記入不要	歩道添架の有無	
終点側所在地	記入不要	点検施設	
起終点区分		排水施設	
他域延長	m	遮音壁の有無	

（7）． 数値項目、文字項目、日本語項目の書き方

各項目とも「巻末資料1．詳細情報のフォーマット」に従ってデータを記入する。

各項目の文字数欄には、当該項目のデータの文字数制限（半角）を表示している。基本的に、入力文字は半角英数字とする。ただし、定義欄に「日本語」の記述がある項目については全ての文字を全角で入力することとする。例えば、橋梁の名称は、「10 文字以内の日本語」となっており、10 文字以内の全角文字（英数字も含め）で入力する。なお、文字数欄の「全体」、「小数」は次のとおりである。

・ 全体

- 当該項目のデータ全体の半角文字数を示す。なお、当該項目が小数を含む場合は、小数点を除いた文字数を表示している。

例) 全体が3、小数が1の場合は、「nn.n」を示す。（nは、任意の数字）

- ただし、百米標の場合は全体が4、小数が1としているが、マイナス（-）の場合は、「-nnn.n」とする。

・ 小数

- 当該項目が小数を持つ数値の場合の、小数点以下の桁数を表示している。

（8）． 溝橋に該当する施設における道路施設基本データ作成対象

表 2-2 に示す道路施設基本データ作成対象工種における D070 地下横断歩道、D080 道路 BOX、D090 横断 BOX のうち、溝橋（道路軸方向(斜角考慮)の外寸2m 以上、かつ土被り 1m 未満のカルバート）に該当する施設は、D010 橋梁または D020 橋側歩道橋として道路施設基本データを作成する。

橋梁、橋側歩道橋、地下横断歩道、道路BOX、横断BOXにおける点検DBのデータ更新の流れ（溝橋の判断が必要）

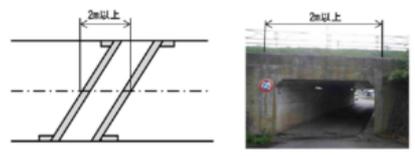
地下横断歩道、道路BOX、横断BOXの道路施設基本データを作成する場合は、左側の条件に合うボックスカルバートは、溝橋として作成する可能性があるため、発注者に確認した上で、作成する事を基本とする。

◇橋長2m以上（外寸2m以上）
◇土被り1m未満（最小位置）

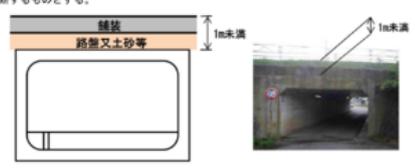
なお、既存施設の場合、溝橋（ボックスカルバート）は77条規定において、道路橋として分類・報告されているため、これらの資料を参照すること。

(1) 溝橋（ボックスカルバート）
道路の下を横断する道路や水路等の空間を確保するために盛土あるいは地盤内に設けられる構造物で、橋長2m以上かつ土被り1m未満のボックスカルバートのことをいう。

■橋長2m以上の考え方
・溝橋（ボックスカルバート）の橋長は、外寸2m以上とし、ボックスカルバート上部道路の道路軸方向（斜角考慮）の長さを計測した値とする。



■土被り1m未満の考え方
・溝橋（ボックスカルバート）の天端から、歩道等の上面の厚さが1m未満のもの。
※土被り厚が測定的位置で異なる場合（導道部・歩道部等）は、最小値となる位置で判断するものとする。



出典：特定の条件を満足する溝橋の定期点検に関する参考資料（平成31年2月） 国土交通省 道路局 国道・技術課

2-2. 道路施設基本データの種類

工事請負者は、道路施設基本データとして、道路施設基本データ詳細情報、イメージデータ（道路施設一般図・現況写真）および道路施設基本データ位置図を作成する。

なお、補修補強工事や維持工事など“道路施設形状に変更が生じない工事”や“施設を撤去する場合”には、イメージデータ（道路施設一般図・現況写真）を作成しなくてよい。

表 2-3 道路施設基本データの種類

道路施設基本データの種類	ファイル形式	説明
道路施設基本データ詳細情報	C S V形式	請負工事に含まれる道路施設の路線、位置、諸元・形式、設置年月等に関する文字・数値データである。 道路施設基本データ作成ツールを利用して、道路施設の基本諸元を入力する。 (本マニュアル 2-5. 参照)
イメージデータ（道路施設一般図）	J P G形式 または S X F形式 (拡張子.p21)	道路と施設の位置関係、道路線形、幅員構成、高さ方向・交差状況の寸法等を把握できる構造一般図、全体一般図等である。 道路施設形状に変更が生じない場合や当該施設を撤去する場合は作成しなくてよい。 (本マニュアル 2-6. 参照)
イメージデータ（現況写真）	J P G形式	施設の全景や周辺状況等を撮影した写真画像である。 道路施設形状に変更が生じない場合や当該施設を撤去する場合は作成しなくてよい。 (本マニュアル 2-6. 参照)
道路施設基本データ位置図	P D F形式	道路維持台帳附図等をもとに、データ作成対象となった各施設の位置を明確に判別できる情報を付記したものであり、道路施設名称、施設対応番号および距離標等を旗上げ表示により明記する。 (本マニュアル 2-7. 参照)

2-3. 道路施設基本データ作成を支援するツール類

（「本マニュアル1-4. 道路施設基本データの作成から納品までの流れ」参照）

工事請負者は、道路施設基本データの作成に際し、「道路施設基本データ作成システム」を用いてデータ作成を行う。

また、工事請負者は、道路施設基本データのチェックに際し、「道路施設基本データ作成システム」のチェック機能を用いて入力データチェックを行う。

2-4. 道路施設基本データの作成単位

道路施設基本データは、路線毎かつ施設箇所毎に作成することを基本とする。
ただし、下表に示すとおり、施設によっては市区町村毎や種類・様式毎に作成する。

表 2-4 道路施設基本データの作成単位 [1/2]

区分	施設番号	施設名称	データ作成単位				
			路線	施設箇所	市区町村	その他	備考
道路構造	C020	縦断勾配	○	○ 備考参照	—		縦断勾配変化区間毎
	C030	平面線形	○	○ 備考参照	—		線形区間毎
	C060	道路交差点	○	○	—	交差方式毎	
	C070	鉄道交差点	—	○	—	交差方式毎	
	C080	歩道および自転車歩行者道	○	○	○	上下線毎 路線分割区分毎 沿道状況区分毎 歩道等種別毎 歩道形式毎	
	C090	独立専用自歩道	○	○	○	自歩道専用区分毎	
	C100	中央帯	○	○	○	中央帯形式毎	
	C110	環境施設帯	○	○	○		
構造物	D010	橋梁	○	○ 備考参照	○		上下線等分離されている場合は分離単位毎
	D020	橋側歩道橋	○	○ 備考参照	○		上下線等分離されている場合は分離単位毎
	D030	横断歩道橋	○	○	—		
	D040	トンネル	○	○ 備考参照	—		上下線等分離されている場合は分離単位毎
	D050	洞門	○	○	—	構造形式毎	
	D060	スノーシェッド	○	○	—	構造形式毎	
	D070	地下横断歩道	○	○	—		
	D080	道路BOX等	○	○	—		
	D090	横断BOX等	○	○	—	設置区分毎 構造形式毎	
	D100	パイプカルバート	○	○	—	形式種別毎 管径毎	
	D110	のり面	○	○ 備考参照	—	出張所毎 上・下線毎	切土のり面、盛土のり面および斜面毎
	D120	擁壁	○	○	○	構造形式毎	

表 2-4 道路施設基本データの作成単位 [2/2]

区分	施設番号	施設名称	データ作成単位				
			路線	施設箇所	市区町村	その他	備考
付 属 物 お よ び 付 帯 施 設	E010	防護柵	○	○	○	防護柵種別毎	
	E020	道路照明	○	○ 備考参照	—		照明柱毎
	E030	視線誘導標（反射式）	○	○ 備考参照	○	誘導標種類毎	同一種類が続く場合は 1 設置箇所とする。
	E040	視線誘導標（自光式）	○	○	—		
	E050	道路標識	○	○ 備考参照	—		ポールまたは門型構造 等 1 基毎
	E060	道路情報板	○	○	—		
	E070	交通遮断機	○	○	—		
	E080	I . T . V	○	○	—		
	E090	車両感知器	○	○	—	感知器形式毎	
	E100	車両諸元計測施設	○	○	—		
	E110	気象観測施設	○	○	—	施設内の装置種別毎	
	E120	災害予知装置	○	○	—	施設内の装置種別毎	
	E130	自動車駐車場等	○	○	—		
	E140	自転車駐車場	○	○	—		
	E150	雪崩防止施設	○	○	○	施設箇所内の施設種別 毎	
	E160	落石防止施設	○	○	○	施設箇所内の施設種別 毎	
	E170	消雪パイプ	○	○	—	設置区分毎	
	E180	ロードヒーティング	○	○	—	融雪施設区分毎 設置区分毎	
	E190	除雪ステーション	○	○	—		
	E200	防災備蓄倉庫	○	○	—		
	E210	共同溝	○	○	—	共同溝区分毎	
	E220	C A B 電線共同溝	○	○	—	C A B、電線共同溝、 情報 B O X 毎	
	E230	植栽	○	○	○		
	E240	遮音施設	○	○	○	施設種類毎	
	E250	遮光フェンス	○	○	○	種類・形式毎	
	E270	流雪溝	○	○	—		
E330	光ケーブル	○	○ 備考参照			端局・接続箱区間毎	
E350	ビーコン	○	○	—			

2-5. 道路施設基本データ詳細情報

道路施設基本データ詳細情報は、工事に関連する道路施設の諸元情報（路線、位置、諸元・形式、設置年等）を CSV 形式の文字・数値データとして作成する。

道路施設別に整備すべきデータ項目のデータフォーマットや入力方法については、「巻末資料 1. 詳細情報のフォーマット」、「道路管理データベース作成マニュアル（項目別記入要領集）」、および「道路施設基本データ作成システム」による。

（1）. データ作成における共通入力事項

道路施設基本データ詳細情報のうち、共通的なデータ項目の入力方法について以下に示す。

1) . 工事情報

工事情報は、「道路施設基本データ作成システム」において、道路施設基本データ詳細情報の入力に先立って入力すべき情報で、工事名、工事番号、工事年度、請負者等の情報を入力する。入力項目の詳細は「道路施設基本データ作成システム」による。

「道路施設基本データ作成システム」では、この工事情報をもとに、電子納品管理ファイルを自動生成する。

注) 【工事番号】の入力は、工事契約コードを入力することを基本とし、「巻末資料 3. 道路施設基本データ関連の管理ファイル」に示す、工事管理ファイル(INDEX_C.XML)内の「工事番号」と同じ値とすること。

2) . データ区分

データ区分は、次頁表 2-5 に示す区分により入力する。

表 2-5 データ区分

コード	データ区分	対応事例
1	新設	道路施設を新規に設置した場合 （作成例） ・道路標識を1基新設した場合 「E050 標識基本」を1データ作成（1ファイル） 「E051 標識各板諸元」を標識板の枚数分のデータを作成（1ファイルに板の枚数分） ・道路照明を3基新設した場合 「E020 照明基本」を3データ作成（3ファイル）
2	改良	既存の道路施設に対して修繕工事等を行った場合。また、補修履歴情報等も作成対象となっている場合は、これらも併せて作成する。 （作成例） ・橋梁の床版に塗膜系の防水を行った場合 「D010橋梁」の既存データに対して、床版防水種別Cを「*：該当なし」から「1：塗膜系」へ変更するとともに、補修歴の入力欄に「補修年月日」等必要事項を入力する（1ファイル）。
3	撤去	既存の道路施設を工事により撤去した場合

3) . 整理番号 1, 2, 3 及び補助番号

整理番号とは、施設毎のデータを一意に識別するための番号であり、「2-1. (2). データベースの構成単位」で記述したデータベース構成単位（親、子、孫）に対応して、整理番号1、整理番号2、整理番号3がある。

それぞれの記入方法について以下に示す。

「整理番号1」については、施設対応番号を記入する（「2-7. 道路施設基本データ位置図」参照）。

「整理番号2」「整理番号3」「補助番号」の3項目については、ブランクとする。

4) . 名称

名称は、以下により入力する。

- 固有名詞をもつ施設（橋梁、トンネル等）の場合、その固有名詞を入力する。
- 固有名詞をもたない施設（擁壁、防護柵等）の場合、設置箇所の所在地、地先名等を入力する。
- 固有名詞をもたない施設、地先名を持たない施設の場合は、ブランクとする。

5) . 所在地

該当する地点または区間の所在地（字番地まで）を入力する。

6) . 路線名

路線名は、一般国道の路線コードとし、路線コードの数字の左側に〔0〕を充填した4桁のコードを入力する（例：国道41号の場合、〔0041〕と入力する）。

なお、新直轄区間については全国道路・街路交通情勢調査「箇所別基本表及び時間帯別交通量表に関する説明資料」の路線番号を入力する。

(2) 新直轄区間路線番号表

路線名	道路名	区間	全国道路・街路交通情勢調査路線番号
北海道縦貫自動車道（函館名寄線）	道央自動車道	士別剣淵～名寄間	3101
		七飯～大沼公園間	3102
北海道横断自動車道（黒松内端野線）	道東自動車道	足寄～北見間	3201
		本別～釧路間	3202

参考：平成27年度 全国道路・街路交通情勢調査「箇所別基本表及び時間帯別交通量表に関する説明資料」

7) . 現旧区分

現旧区分は、表 2-6 に示す区分により入力するものとし、区分については、以下に示す考え方に基づく。

表 2-6 現旧区分

コード	現旧区分	事例
1	現道	旧道および新道以外の道路
2	旧道	バイパス等の建設に伴い、建設前の道路が他の道路として編成（編入）されずに存在する場合における元の道路
3	新道	バイパス部分が現道に連結されないで、部分的に供用されている区間

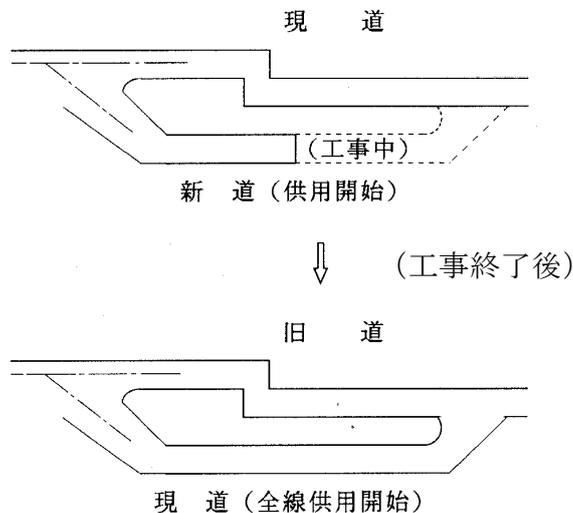


図 2-2 現道、旧道および新道の考え方

8) . 距離標

施設の位置を示す距離標は、以下にしたがって入力する。

実際の距離標が不明である場合は、工事担当課と協議の上、代替となる数値（平面図で「STA」「SP」等で記載されている測点等）を距離標として入力する。

○延長方向に長さを持たない施設の場合（道路標識、道路照明等）

：施設の設置箇所の距離標を入力する。

○延長方向に長さを持つ施設の場合（橋梁、トンネル、防護柵、擁壁等）

：施設の起点側と終点側の距離標を入力する。

- ・ 距離標(自) : 起点側の距離標を入力
- ・ 距離標(至) : 終点側の距離標を入力

ただし、横断歩道橋や地下横断歩道等のように、管理道路を斜めに横断している場合は、道路中心線上の距離標値を〔距離標(自)〕と〔距離標(至)〕として入力する。

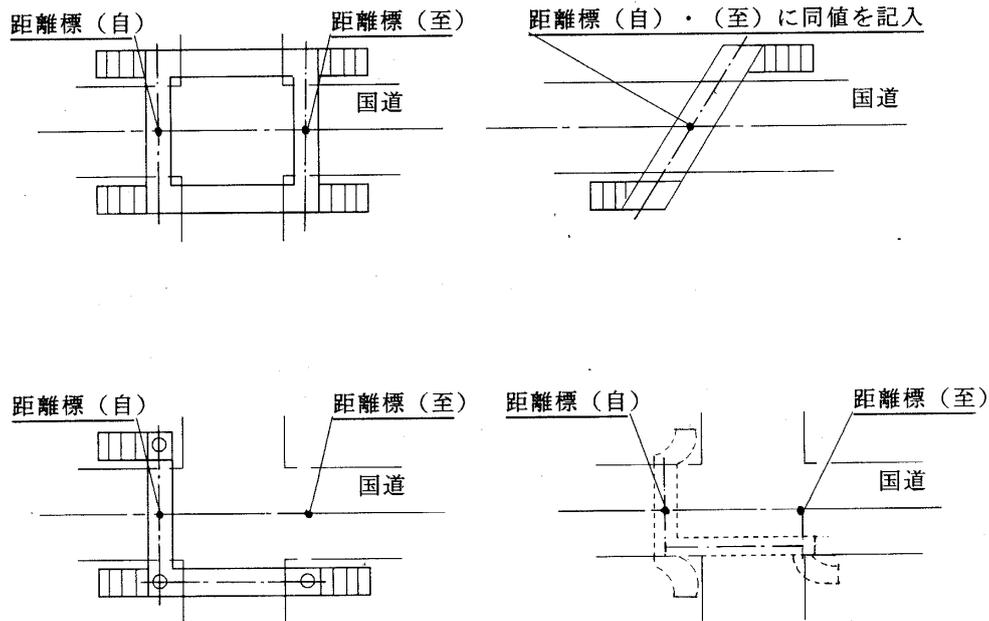


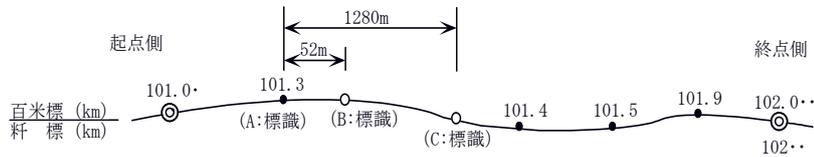
図 2-3 横断歩道橋、地下横断歩道等の距離標入力方法

距離標は以下のように入力する。

- ・ 距離標（百米標） : 整数 3 桁、小数点以下 1 桁
- ・ 距離標（距離） : 整数 4 桁（単位はm）

距離標の入力例を以下に示す。

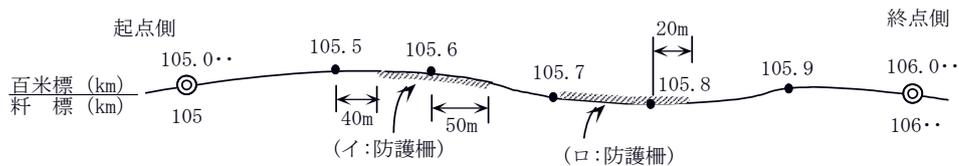
【例 1】 延長方向に長さを持たない施設の場合（道路標識等）



	百米標	百米標からの距離		百米標	距離
A : 標識	101.3	+ 0(m)	の場合 →	101.3	0
B : 標識	101.3	+ 52(m)	の場合 →	101.3	52
C : 標識	101.3	+ 1280(m)	の場合 →	101.3	1280

図 2-4 距離標の入力例 1（延長方向に長さを持たない施設の場合）

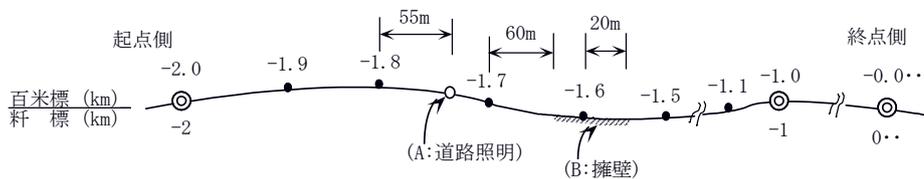
【例 2】 延長方向に長さを持つ施設の場合（防護柵、擁壁等）



	百米標	距離		百米標	距離
イ : 防護柵	105.5 + 40(m) ~ 105.6 + 50(m)	→	(自)	(自)	(至)
			105.5	40	105.8
ロ : 防護柵	105.7 + 0(m) ~ 105.8 + 20(m)	→	105.7	0	105.8
					20

図 2-5 距離標の入力例 2（延長方向に長さを持つ施設の場合）

【例 3】 マイナス(-)の距離標間にある施設の場合



A : 道路照明	-1.8 + 55(m)	→	百米標	距離		
			-1.8	55		
B : 擁壁	-1.7 + 60(m) ~ -1.6 + 20(m)	→	百米標	距離	百米標	距離
			(自)	(自)	(至)	(至)
			-1.7	60	-1.6	20

図 2-6 距離標の入力例 3（マイナスの距離標間にある施設の場合）

9) . 上り下り区分

上り下り区分は、下表に示す区分により入力する。

表 2-7 上り下り区分

コード	上り下り区分
0	上下線共通
1	上り線
2	下り線

上り下り区分の入力例を下表に示す。進行方向が終点から起点に向かう車線が上り線、その逆が下り線である。

表 2-8 上り下り区分の入力例

参考図	施設	上り下り区分
	A	0 : 上下線共通
	B	2 : 下り線
	C	1 : 上り線
	D	2 : 下り線
	E	2 : 下り線
	F	1 : 上り線
	G	1 : 上り線
	H	2 : 下り線

10) . 日付項目

日付項目については、年月日をも一つの項目として扱い、以下のように記入する。

①通常の日付項目（〇〇年月日、〇〇年月等）については以下のように記入する。

- 年は西暦（4桁）とする。（記入例参照）
- 桁数は、年までの項目の場合は4桁、月までの項目の場合は6桁（年+月（2桁））、日までの項目の場合は8桁（年+月+日（2桁））とする。（記入例参照）

（記入例）

- ・完成年月日が平成8年3月1日の場合

完成年月日
8（桁）
19960301

- ・補修年月が平成8年7月の場合

補修年月
6（桁）
199607

②年度の日付項目（〇〇年度、〇〇年次）については以下のように記入する。

- 年号は次の区分に該当するコードとする。

区 分	コード	区 分	コード
明治以前	0	昭 和	3
明 治	1	平 成	4
大 正	2	令 和	5

- 桁数は、3桁（年号+年）とする。（記入例参照）

（記入例） 施設完成年度が平成8年度の場合

施設完成年度
3（桁）
408

ただし、「巻末資料1. 詳細情報のフォーマット」で西暦での記入が明記されている項目については、西暦（4桁）とする。

（２）．道路施設基本データ詳細情報のファイル形式等

道路施設基本データ詳細情報のファイル形式、ファイル名は、以下のとおりとする。

- 数値・文字データは、CSV形式のデータファイルで作成するものとする。
- ファイル名称は、道路施設基本データ詳細情報番号（本マニュアル2-1.（2）.表2-2に示す詳細情報番号：D010、D011、D012 など）に連番「ii」*1を付け、「半角英数大文字6文字+拡張子（csv）」とする。

※1：「ii」は作成対象施設数分の連番

事例：橋梁の詳細情報 D01001.csv、D01101.csv、D01201.csv、・・・

(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	(6)	(7)	(8)	(9)	(10)
D	0	1	0	0	1	.	c	s	v
詳細情報番号				上記による 連番ii		ファイル拡張子			

図 2-7 道路施設基本データ詳細情報のファイル命名例

- 使用する文字はすべて半角文字とする。

2-6. イメージデータ（道路施設一般図・現況写真）

イメージデータとは、道路施設一般図および現況写真を指す。

道路施設一般図は、以下の条件を満足する構造一般図、全体一般図等であり、JPG 形式（P21 形式の CAD ファイルでも代用可）として作成する。

- 施設と道路との位置関係が把握できること。
- 道路線形、幅員構成等が把握できること。
- 施設の断面図等により、高さ方向や交差状況等の寸法等が把握できること。

一般的に、道路施設一般図は、平面図、断面図、正面図および側面図が単一図面（1 ファイル）で構成されることが多いが、施設規模等によってはこれらを分割し、複数図面（複数ファイル）として作成してもよい。

現況写真は、施設の全景や周辺状況等を撮影した写真画像で、表 2-9 に示す撮影方法にしたがって撮影された写真画像（スキャニング画像）またはデジタルカメラ画像である。

現況写真は、当該施設に対して最大 5 枚（5 ファイル）まで作成できる。

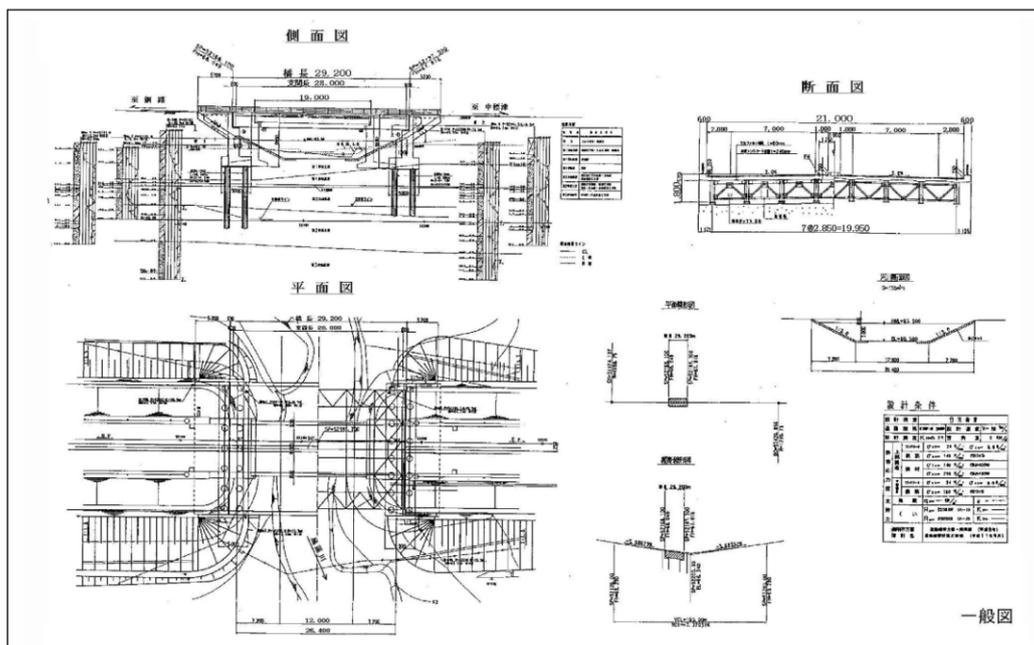


図 2-8 道路施設一般図（上）と現況写真（下） 例）橋梁の場合

イメージデータ（道路施設一般図・現況写真）の作成対象となる道路施設は、表 2-9 のとおりとする。

表 2-9 イメージデータ（道路施設一般図・現況写真）の作成対象となる道路施設

区分	施設番号	施設名称	一般図	現況写真	区分	施設番号	施設名称	一般図	現況写真
道路構造	C020	縦断勾配	—	—	付属物および付帯施設	E010	防護柵	●	A①
	C030	平面線形	—	—		E020	道路照明	●	B①
	C060	道路交差点	●	D①		E030	視線誘導標（反射式）	—	—
	C070	鉄道交差点	●	D②		E040	視線誘導標（自光式）	●	B①
	C080	歩道及び自転車歩行者道	—	—		E050	道路標識	●	B②
	C090	独立専用自歩道	—	—		E060	道路情報板	●	B①
	C100	中央帯	—	—		E070	交通遮断機	●	B①
	C110	環境施設帯	—	—		E080	I . T . V	●	B①
構造物	D010	橋梁	●	C①		E090	車両感知器	●	B①
	D020	橋側歩道橋	●	C①		E100	車両諸元計測施設	●	D③
	D030	横断歩道橋	●	C①		E110	気象観測施設	●	D④
	D040	トンネル	●	C②		E120	災害予知装置	●	D③
	D050	洞門	●	C②		E130	自動車駐車場等	●	D⑤
	D060	スノーシェッド	●	C②		E140	自転車駐車場	●	D⑤
	D070	地下横断歩道	●	C③		E150	雪崩防止施設	●	A
	D080	道路BOX等	●	C②		E160	落石防止施設	●	A
	D090	横断BOX等	●	C④		E170	消雪パイプ	●	D⑥
	D100	パイプカルバート	●	C④		E180	ロードヒーティング	●	D⑥
	D110	のり面	●	A③		E190	除雪ステーション	●	D③
	D120	擁壁	●	C⑤		E200	防災備蓄倉庫	●	D③
				E210		共同溝	●	D⑥	
				E220		C A B 電線共同溝	●	D⑥	
				E230		植栽	●	A	
				E240		遮音施設	●	A	
				E250		遮光フェンス	●	A	
				E270		流雪溝	—	—	
				E330		光ケーブル	●	D⑥	
				E334		光ケーブル端局	●	D⑥	
				E350		ビーコン	●	B①	

※【現況写真】欄は、現況写真の撮影方法（表 2-10 参照）を指す。

※E330光ケーブルのみ、光ケーブルと光ケーブル端局それぞれで図面を作成

（１）．現況写真の撮影方法

現況写真は、次頁の表 2-10 に示す撮影方法にしたがって、当該施設の全景および当該施設の形式毎に撮影する。

また、現況写真を撮影する際は、以下の点に留意する。

- 現況写真は、当該施設に対し、最大 5 枚（5 ファイル）とする。
- 現況写真は、工事完了後に撮影するものとし、冬期に撮影する場合は、当該施設が積雪に影響ない状態で撮影すること。
- 周囲掘削した場合は、埋め戻しおよび仮設資材等の撤去が完了した状態で撮影すること。

表 2-10 現況写真の撮影方法 [1/2]

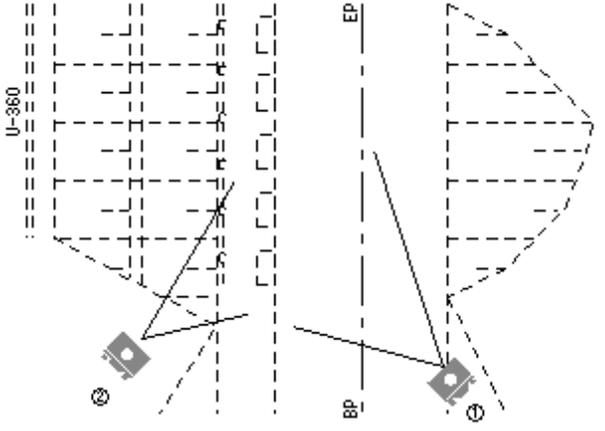
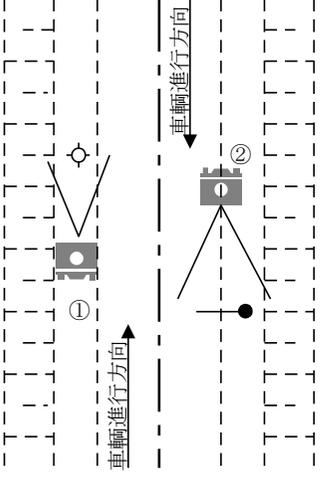
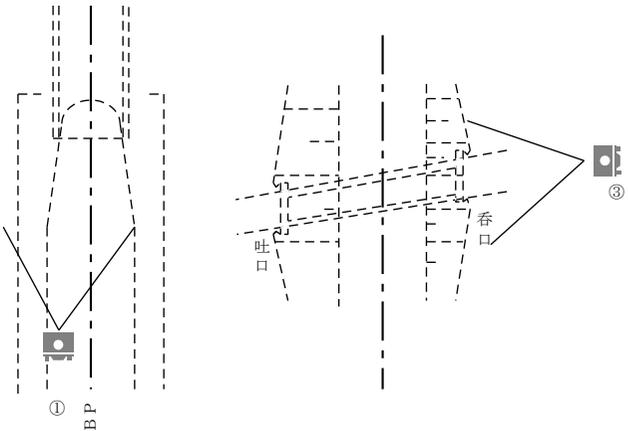
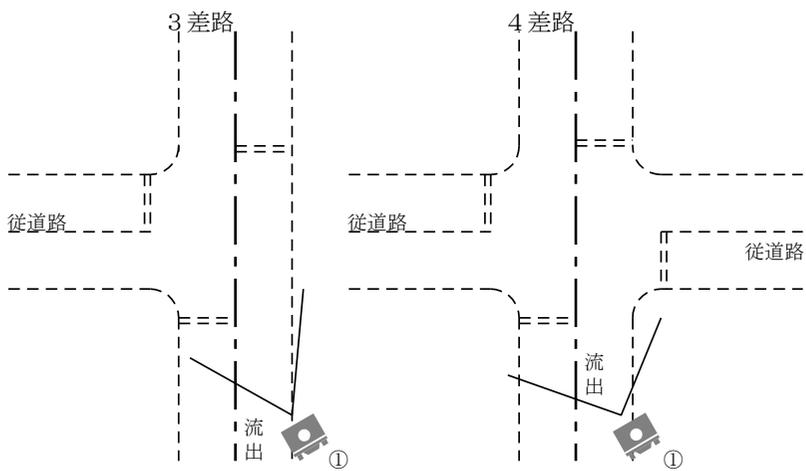
撮影タイプ	撮影方法	
<p>Aタイプ（対象施設の形式：路線方向に長さのある場合）</p> 		<p>起点から終点に向かって撮影することを基本とする。</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 歩道および路肩に施設がある場合、施設反対側車道端で撮影する。ただし、4車線道路の場合は中央帯で撮影する。 ② 中央分離帯に施設がある場合、左側車道端から撮影する。 ③ 切土のり面に施設がある場合、施設の反対側から全体が視界に入る位置から撮影する。 ④ 盛土のり面に施設がある場合、施設全体が視界に入る位置から撮影する。
<p>Bタイプ（対象施設の形式：路線方向に点在する場合）</p> 		<p>車の進行方向に向かって撮影することを基本とする。</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 施設の全景と周辺状況が分かる位置から撮影する。 ② 標識は、標識版の近接撮影（できれば施設の設置状況も分かるもの）とする。

表 2-10 現況写真の撮影方法 [2/2]

撮影タイプ	撮影方法
<p>Cタイプ（対象施設の形式：構造物）</p> 	<ol style="list-style-type: none"> ① 橋梁、橋側歩道橋および横断歩道橋は、施設全体が入るように撮影する。なお、高架橋等、施設全体が1枚で収まらない場合は必要に応じ、複数に分けて撮影する（最大5枚）。 ② トンネル、洞門、スノーシェッドおよび道路BOX等は、起点側入口の全体が入るように撮影する。 ③ 地下横断歩道は、両出入口が視界に入るように撮影する。 ④ 横断BOX等およびパイプカルバートは、呑口断面上流側から撮影する。 ⑤ 擁壁は、起点側から終点側に向かって全体を撮影する。 <p>※施設の延長が300mを超える場合は、概ね300mを目安に1枚とする（最大5枚）。</p>
<p>Dタイプ（対象施設の形式：道路交差点、その他）</p> 	<ol style="list-style-type: none"> ① 道路交差点 <ul style="list-style-type: none"> 3差路：主道路の反対側流出路肩部から従道路方向を撮影する。 4差路：主道路の起点側流出路肩部から交差点全体が入るように撮影する。 ② 鉄道交差点 <ul style="list-style-type: none"> 平面交差：起点側から交差点の全体が入るように撮影する。 立体交差：起点右側の鉄道から立体空間全体が入るように撮影する（鉄道への立ち入りについては、関係機関との協議の上で撮影すること）。 ③ 車両諸元計測施設、災害予知装置および除雪ステーション等は、建物の全景が入るように撮影する。 ④ 気象観測施設は観測機種毎に撮影する。ただし、テレメータは施設の全景を撮影する。 ⑤ 自動車駐車場等および自転車駐車場は、施設の反対側車道端から全体が入るように撮影する。 ⑥ 共同溝やCAB電線共同溝等の地下埋設施設は、マンホール・ハンドホール等を撮影する。管路方向に向かい、作成単位毎に1枚の写真を撮影する。

(2) . イメージデータのファイル形式等

イメージデータのファイル形式および解像度仕様は下表のとおりとする。

なお、道路施設一般図をCADデータとして納品する場合は、そのCADデータが「SXFブラウザ」上で正しく表示できることを確認する必要がある。

表 2-11 イメージデータのファイル形式および解像度仕様

項目	種別	道路施設一般図		現況写真	
		画像データの場合	CADデータの場合	デジカメ写真の場合	スキャニングの場合
ファイル形式		JPG形式	SXF形式※ (拡張子.p21)	JPG形式	JPG形式
解像度仕様	階調	フルカラー	—	フルカラー	フルカラー
	解像度	200 dpi	—	100万画素程度	200 dpi
	圧縮率	50 %	—	50 %	50 %

※「SXFブラウザ」による確認が必要。「SXFブラウザ」は、下記URLよりダウンロードできる。

【(CALSEC 電子納品に関する要領・基準) (http://www.cals-ed.go.jp/index_dl2.htm)

イメージデータのファイル名は、以下のとおりとする。

○使用する文字はすべて半角文字とする。

ファイル名称は下記のとおりとする
 <施設一般図ファイル名>

○ファイル名称は、道路施設基本データ詳細情報番号（巻末資料「1. 道路施設基本データ詳細情報名」に示す詳細情報番号：D010、D011、D012 など）に連番「ii」^{※1}+連番「jj」^{※2}を付け、「半角英数大文字8文字+拡張子（jpgまたはp21）」とする。

※1：「ii」は作成対象施設数分の連番
 ※2：「jj」は作成対象施設の図面イメージファイル数の連番
 事例：トンネルの一般図 D0400101.jpg、・・・

<現況写真ファイル名>

○ファイル名称は、道路施設基本データ詳細情報番号に連番「ii」^{※1}+連番「jj」^{※2}を付け、「半角英数大文字8文字+拡張子（jpg）」とする。

※1：「ii」は作成対象施設数分の連番
 ※2：「jj」は作成対象施設の写真イメージファイル数の連番
 事例：道路標識の現況写真 E0500101.jpg、・・・

(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	(6)	(7)	(8)	(9)	(10)	(11)	(12)
D	0	4	0	0	1	0	1	.	j	p	g
詳細情報番号				上記による 連番ii		上記による 連番jj		ファイル拡張子			

図 2-9 道路施設基本データイメージデータのファイル命名例

2-7. 道路施設基本データ位置図

道路施設基本データ位置図は、道路施設基本データの照査時に、道路施設基本データ詳細情報として作成した各施設に対して、施設位置等を確認するために作成するものである。

道路施設基本データ位置図は、原則として道路維持台帳附図（そのうち道路基本図を使用）に当該施設の位置および延長方向を示すものとする。ただし、新規バイパス道路等、対象工事区間の道路維持台帳附図が存在しない場合は、路線図や竣工平面図を使用して、道路施設基本データ位置図を作成してもよい。

（１）. 道路施設基本データ位置図に記載する事項

道路施設基本データ位置図には、新設・改良・撤去した道路施設の位置および当該施設を識別するための下記情報を旗上げ表示により記載する（図 2-13 参照）。

- | | |
|-----------|---|
| ○道路施設名称 | : 「本マニュアル 1-3. 道路施設基本データの作成対象となる道路施設 表 1-2」に示す施設名称を記載する（当該施設の固有名詞、地先名等ではない）。 |
| ○施設対応番号 | : 図 2-10 参照。 |
| ○距離標および延長 | : 「本マニュアル 2-5. (1). 8). 距離標 図 2-4、
図 2-5」参照。
・延長方向に長さを持たない施設については、距離標のみ記載する。
・延長方向に長さを持つ施設については、距離標および延長を記載する。 |

また、道路施設基本データ位置図には、以下に示す項目を図面タイトルとして記載する（図 2-13 参照）。

- | |
|-------------------|
| ○工事年度 |
| ○工事名称 |
| ○工事番号 |
| ○位置図番号（図 2-11 参照） |

○施設対応番号：1枚の道路施設基本データ位置図において、道路施設種別等に関係なく、各施設に対して一意に割り当てる番号で、以下の付番方法により入力する。

- ・ 施設対応番号は8文字（8桁）とし、使用する文字はすべて半角文字とする。
- ・ 1～4文字目：位置図番号とする（図 2-11 参照）。
5文字目：[-]（ハイフン）とする。
6～8文字目：道路施設基本データ位置図内において、道路施設種別および上り下り区分に関係なく、起点側から順に[1]から[施設数]までの連番とし、桁数が不足する場合は[0]を充填する。

(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	(6)	(7)	(8)
I	0	0	3	-	0	0	1
位置図番号				固定	上記による連番		

図 2-10 施設対応番号

上記に示す位置図番号は、道路施設基本データ位置図を示す番号で、以下の付番方法による。

○位置図番号

- ・ 位置図番号は4文字（4桁）とし、使用する文字はすべて半角文字とする。
- ・ 1文字目：[I]（アイ）とする。
- ・ 2～4文字目：図 2-11 に示す番号で、桁数が不足する場合は[0]を充填する。
 - ・ 道路施設基本データ位置図として、道路維持台帳附図を使用する場合は、道路維持台帳附図タイトル部の図面番号とする。
（図 2-12 参照）
 - ・ 道路施設基本データ位置図として、道路維持台帳附図以外の図面を使用する場合は、[1]からの連番とする。

(1)	(2)	(3)	(4)
I	0	0	3
固定	上記による連番		

図 2-11 位置図番号

国道名	一般国道36号		
図名・縮尺	道路基本図 S=1:500		
区間・図面番号	KP=14 ^K 700 KP=15 ^K 000	3	
部所名	札幌開発建設部 千歳道路事務所		

図 2-12 位置図番号の付け方（道路維持台帳附図を使用した場合）

道路施設基本データ位置図の作成例を下図に示す。

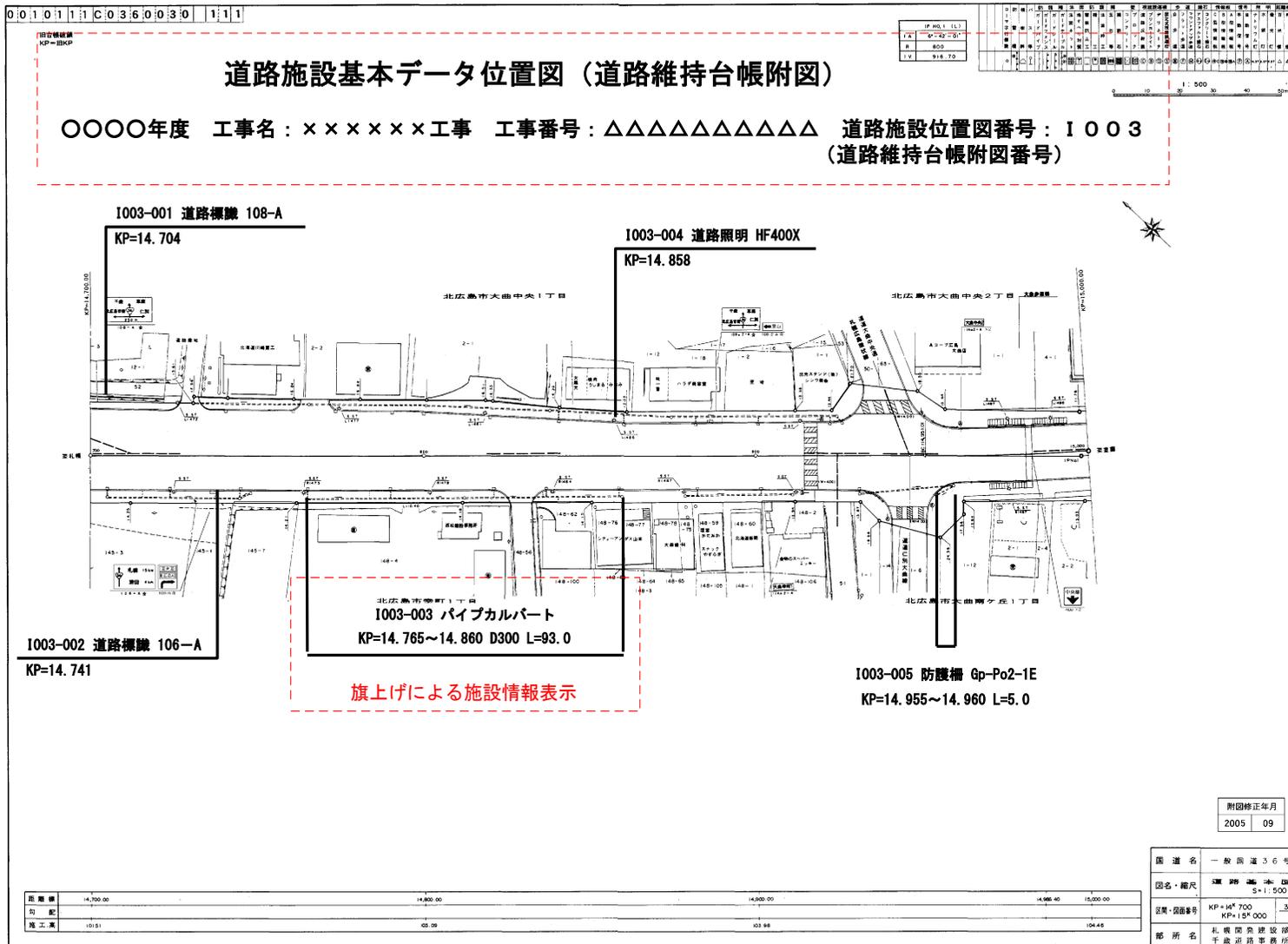


図 2-13 道路施設基本データ位置図の作成例（道路維持台帳附図を使用した場合）

（２）．道路施設基本データ位置図のファイル形式

道路施設基本データ位置図のファイル形式はPDF形式とし、ファイル名は以下のとおりとする。

- 使用する文字はすべて半角文字とする。
- 1～4文字目：位置図番号とする（図 2-1 1 参照）。
- 5～8文字目：ファイル拡張子 [.pdf] とする。

(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	(6)	(7)	(8)
I	0	0	3	.	p	d	f
位置図番号				ファイル拡張子			

図 2-1 4 道路施設基本データ位置図のファイル命名例

3. 道路施設基本データの照査・電子納品

3-1. 道路施設基本データのチェック

工事請負者は、道路施設基本データの審査依頼に先立ち、作成した道路施設基本データに対して、「道路施設基本データ作成システム」のチェック機能及び目視等によるチェックを実施する。

表 3-1 道路施設基本データのチェック項目

チェック方法	チェック対象	チェック内容例
チェックシステムによるチェック	詳細情報	<p>○「道路施設基本データ作成システム」によるチェックに合格したか（エラー件数が0であったか）？</p> <p>【チェックシステムによるチェック内容】</p> <hr/> <ul style="list-style-type: none"> ・オフコードチェック →入力されたコードに対応する選択肢が存在しているか？ ・タイプチェック →数値項目について、数値以外のデータ（？、*、#を除く）が存在していないか？ →日本語項目について、半角の文字が存在していないか？ ・桁数チェック →入力桁数が所定の桁数を超過していないか？ ・未入力チェック →未入力データがないか？ <hr/>
目視等によるチェック (データの過不足および 妥当性に関するチェック)	全体	<p>○必要な道路施設のデータを作成しているか？</p> <p>○必要な施設数分のデータを作成しているか？</p> <p>○詳細情報 (*.csv)、一般図 (*.jpg/* .p21)、現況写真 (*.jpg)、位置図 (*.pdf) を作成しているか？</p> <p>○詳細情報、一般図、現況写真の整合は取れているか？</p>
	詳細情報	<p>○ファイル形式は適切か？</p> <p>○新規データについて、必要なデータ項目の作成漏れはないか？</p> <p>○変更データについて、変更すべき部分のみを修正しているか？</p> <p>○施設位置（距離標等）が位置図上の位置と合っているか？</p> <p>○距離標の自・至が逆転していないか？</p> <p>○マニュアルにしたがった作成単位で作成されているか？</p>
	イメージデータ	<p>○ファイル形式は適切か？</p> <p>○図面に記載されている文字、数値は判読できるか？</p> <p>○位置図に必要なタイトル情報、道路施設位置の旗上げ、必要な旗上げ情報を記載しているか？</p> <p>○現況写真の撮影方法は適切か？</p> <p>○現況写真の表示精度は適切か？</p>

工事請負者は、「道路施設基本データ作成システム」によるデータチェックを実施し、エラー件数^{*1}が0件であることを確認する。

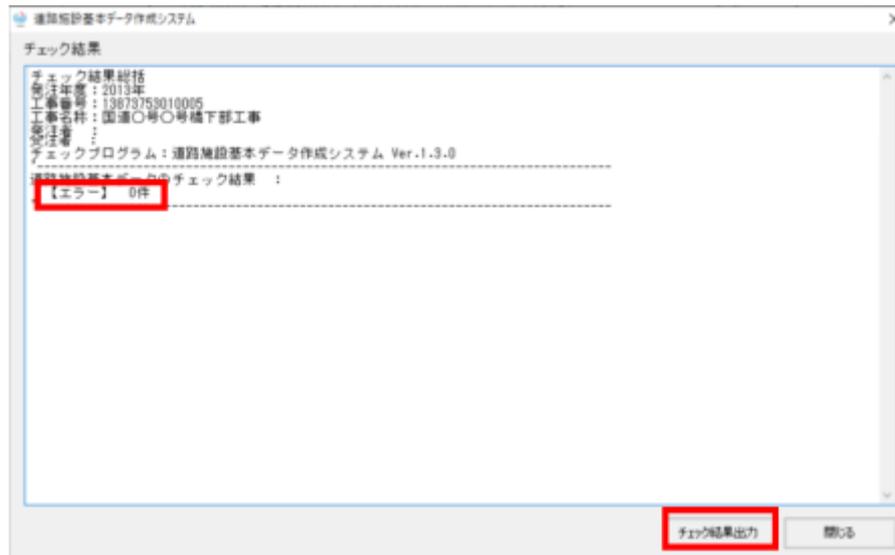


図 3-1 「道路施設基本データ作成システム」データチェック画面

なお、『道路施設基本データ作成システム』のチェック結果総括でエラー表示された場合は、エラー発生箇所を修正し、エラーを解消する。

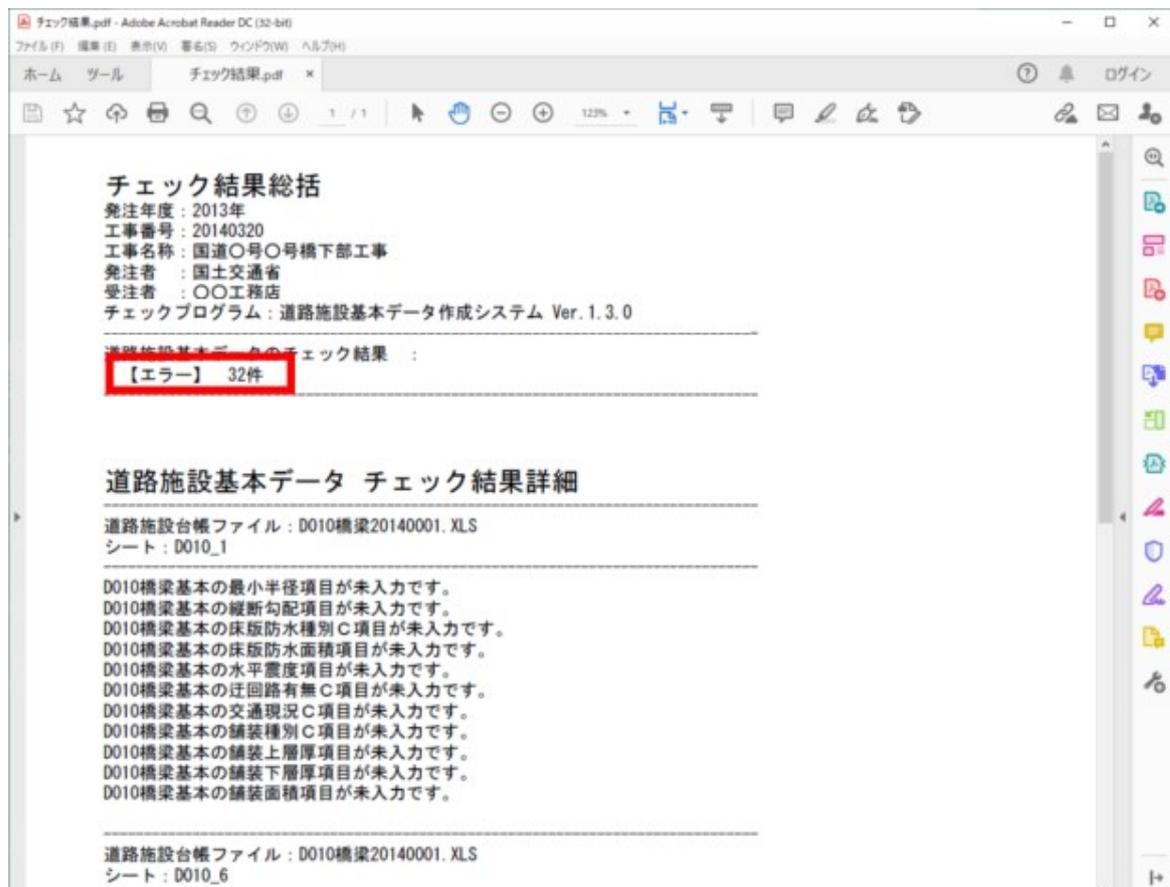


図 3-2 道路施設基本データ作成システム チェック結果画面

3-2. 道路施設基本データの照査に必要なデータおよび資料

工事請負者は、道路施設基本データのチェック完了後、下記に示す道路施設基本データを取りまとめ、完了検査前に工事担当課（監督員）に提出しデータ内容の照査を受ける。

表 3-2 道路施設基本データの照査に必要なデータおよび資料

審査に必要なデータおよび資料	形式	備考
①道路施設基本データ作成システム チェック結果総括	電子データ	道路施設基本データ作成システムでデータチェックを実施した結果、エラーが0件と表示されている「チェック結果総括」を出力する。
②道路施設基本データ総括表	電子データ	道路施設基本データ作成システム上で道路施設基本データ詳細情報を入力すると、自動的に作成される。 <u>(添付資料「添付-1」参照)</u>
③道路施設基本データ一覧表	電子データ	道路施設基本データ作成システム上で道路施設基本データ詳細情報を入力すると、自動的に作成される。 <u>(添付資料「添付-2」参照)</u>
④道路施設基本データ詳細表	電子データ	道路施設基本データ作成システム上で道路施設基本データ詳細情報を入力すると、自動的に作成される。 <u>(添付資料「添付-3」参照)</u>
⑤道路施設基本データ位置図	電子データ	別途作成する（道路維持台帳附図を利用）。
⑥道路施設基本データ位置図	電子データ	別途作成する（道路維持台帳附図を利用）。
⑦道路施設基本データ詳細情報	電子データ	道路施設基本データ作成システム上で作成する。
⑧イメージデータ（道路施設一般図、現況写真）	電子データ	道路施設基本データ作成システム上で作成する。
⑨工事管理ファイル（INDEX_C.XML）	電子データ	道路施設基本データ作成システム上で作成可能。
⑩その他管理ファイル（OTHR.XML）	電子データ	道路施設基本データ作成システム上で作成可能。
⑪道路施設基本データ管理ファイル （ORG999.XML）	電子データ	道路施設基本データ作成システム上で作成可能。

※電子データの提出に際しては、「**図 3-4** 電子納品フォルダ構成」にしたがうこと。

道路施設基本データ（詳細情報、イメージデータ、位置図）として、[SYOGEN]フォルダ（全国版）および [SYOGEN_0]（北海道開発局版）フォルダのデータを提出すること（**図 3-4** 参照）。

また、以下に示すような、データ作成の根拠となる資料等を **PDF形式** で提出すること。

- 工事平面図
- 縦断図
- 標準定規図（※横断図は不要）
- 排水系統図
- 構造物一般図（形状寸法詳細図）
- 附帯施設一般図（形状寸法詳細図）
- 数量総括表・集計表（※数量計算書は不要）
- 重要構造物（橋梁、トンネル、洞門等）の設計条件記載資料
- 工事竣工図（出来形完成平面図）
- 公示用設計書（設計変更を含む）

3-3. 道路施設基本データの電子納品

道路施設基本データを電子納品する際は、図 3-4 に示すフォルダ構成にしたがって、道路施設基本データを格納する（格納先：(root)/OTHERS/ORG999/ フォルダ）。

また、『チェック結果記録（様式1）』（図 3-3 参照）を添えて納品する。

(様式1)		平成 年 月 日
〇〇国道事務所 総括監督員 □□ □□ 殿		〇〇建設株式会社 現場代理人 □□ □□ 印
チェック結果記録		
本工事における道路工事完成図等のチェック結果を報告します。		
1. 工事名	〇〇〇〇工事	
2. 工期	平成〇〇年〇〇月〇〇日～平成〇〇年〇〇月〇〇日	
3. チェック結果	・「完成平面図」のチェック結果の詳細は別紙チェック結果記録様式2に示します。	
4. 提出資料	【電子データ（CD-R 入り）】 ・完成平面図 SXF データ ・完成縦断図 SXF データ ・道路施設基本データ ・管理ファイル	一式
	【出力資料】 ・チェック結果記録（様式1） ・完成平面図※ ・完成縦断図※ ・「完成平面図」チェック結果記録（様式2）※ ・道路工事完成図等チェックプログラム結果ログ ※適用工事のみ提出する資料	一式
		以上

図 3-3 チェック結果記録（様式1）

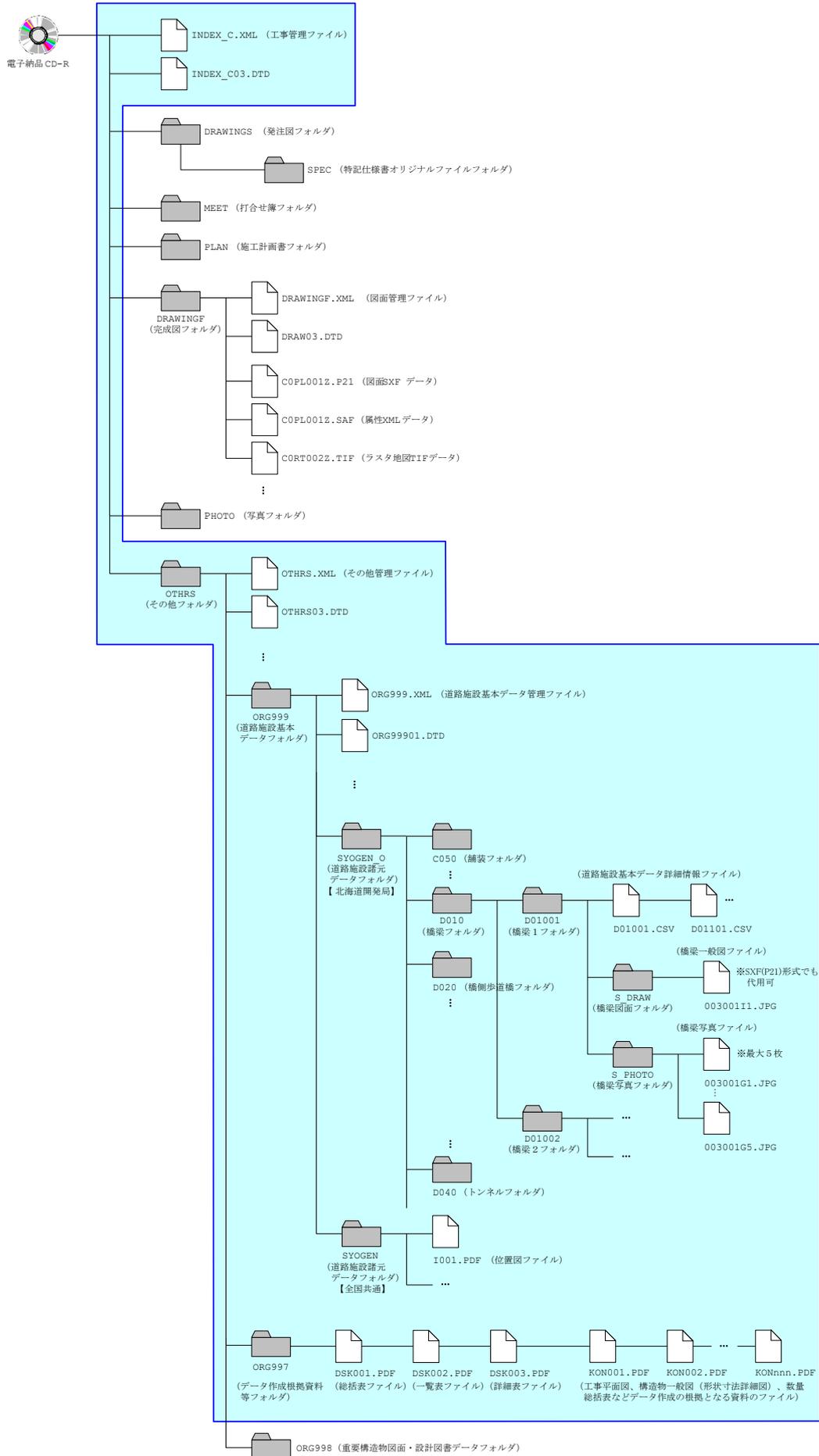


図 3-4 電子納品フォルダ構成

また、道路施設基本データ総括表、道路施設基本データ一覧表、道路施設基本データ詳細表および道路施設基本データを作成する際に使用したデータ作成の根拠となる資料（工事平面図、構造物一般図（形状寸法詳細図）、数量総括表など）は、図 3-4 に示すフォルダ構成にしたがって、電子データ（PDF 形式）として格納する（格納先：（root）/OTHERS/ORG997/ フォルダ）。

データ作成の根拠となる資料等の電子データのファイル名（半角英数大文字）は、以下のとおりとする。

表 3-3 データ作成の根拠となる資料等の電子データのファイル名

資料名	ファイル名
道路施設基本データ総括表	DSK001.PDF（ファイル名固定）
道路施設基本データ一覧表	DSK002.PDF（ファイル名固定）
道路施設基本データ詳細表	DSK003.PDF（ファイル名固定）
データ作成の根拠となる資料	KON001.PDF ～ KONnnn.PDF として、001 から連番でファイル名を付ける。

4. その他の事項

4-1. 各種問い合わせ

道路施設基本データの作成から納品に至る過程で、不明な点が発生した場合、各種問い合わせは以下にしたがって行う。

(1) 問い合わせ先

道路施設基本データ作成全般に関する内容については、下記支援サイトのヘルプデスクに従い、問い合わせる。

【北海道開発局 道路施設基本データ作成支援サイト】

(http://www.hkd.mlitt.go.jp/ky/kn/dou_iji/ud49g7000000cjt9.html)

『道路工事完成図等作成要領』および完成平面図、完成縦断面図に関する内容については、【道路工事完成図等作成支援サイト ヘルプデスク】に問い合わせる。

【道路工事完成図等作成支援サイト】

(http://www.nilim-cdrw.jp/index_help.html)

(2) 問い合わせ方法

本マニュアルおよび道路施設基本データ作成全般に関する内容についての問い合わせを行う場合は、以下の点に留意すること。

○「北海道開発局 道路施設基本データ作成支援サイト」のヘルプデスクに記述してあるメールアドレスに問い合わせること。

hkd-ky-michi-help@ml.mlitt.go.jp

(電話での受付は不可)

○作成者（所属、氏名）および連絡先（TEL/FAX番号）を忘れずに記入すること。

○問い合わせ内容が具体的に分かるように、参考例や図面等を添付すること。

4-2. 改訂履歴

本マニュアルの改訂履歴を下表に示す。

表 4-1 本マニュアルの改訂履歴（1/2）

改訂日	該当箇所	改訂内容
H18.11		○道路工事完成図等作成要領の実施に伴い、北海道開発局版『道路施設基本データ作成要領(案)』として作成
H19.02	P 20～21	○イメージデータのファイル命名規則について、ファイル名文字数を16文字→12文字（拡張子文字を含む）に改訂
H19.08	P 8	○注釈として、工事番号の入力に関する記述を追加
	巻末-6～37	○入力不要である項目（整理番号1～3など）を削除
H19.10	P 2	○D110のり面、E200防災備蓄倉庫に記載の【追加】を削除 ○E330光ケーブル施設【除外】を削除 ○【補足説明】を削除
	P 30	○OTHERS（その他フォルダ）下に、ORG998（重要構造物図面・設計図書データフォルダ）を追加
H20.11	全体	○道路施設基本データ作成システムを、道路施設基本データ作成ツールへ変更 ○道路施設基本データ審査結果記録を、道路施設基本データ審査結果報告書へ変更
	P 2、P 7、P 16、巻末-4、巻末-37	○E330光ケーブルを追加
	P 4	○「2-1 道路施設基本データ作成上の留意点」の内容を変更
	P 29	○「図3-3 チェック結果記録（様式1）」の様式を変更
H21.01	P 4	○「表2-1 道路施設基本データの作成方法」に、既存データの提供がない場合のデータ作成方法を追記
H24.3	全体	○道路施設基本データのデータ審査機関が消滅したことによるデータ作成の流れの変更および関連事項の修正
H30.3	全体	○「道路施設基本データ作成要領(案)」から「道路施設基本データ作成マニュアル（北海道開発局）」に名称を変更 ○道路施設基本データの作成に関して、他の関連資料で補足説明している内容を追記
R3.3	巻末-8、巻末-11	○D016橋梁下部工における「杭長」「躯体基部形状寸法A(B)」の文字数を変更 ○D026橋側歩道橋下部工における「杭長」「躯体基部形状寸法A(B)」の文字数を変更
R4.2	全体	○「道路工事完成図等チェックプログラム」における道路施設基本データのチェック機能がなくなり、道路施設基本データ作成システム内でデータチェックする機能が追加されたことに伴う更新
	P 23	○距離標を工事測点で作成する場合について、文言を追記
	P 25	○上下線の考え方について、文言を追記

表 4-2 本マニュアルの改訂履歴（2/2）

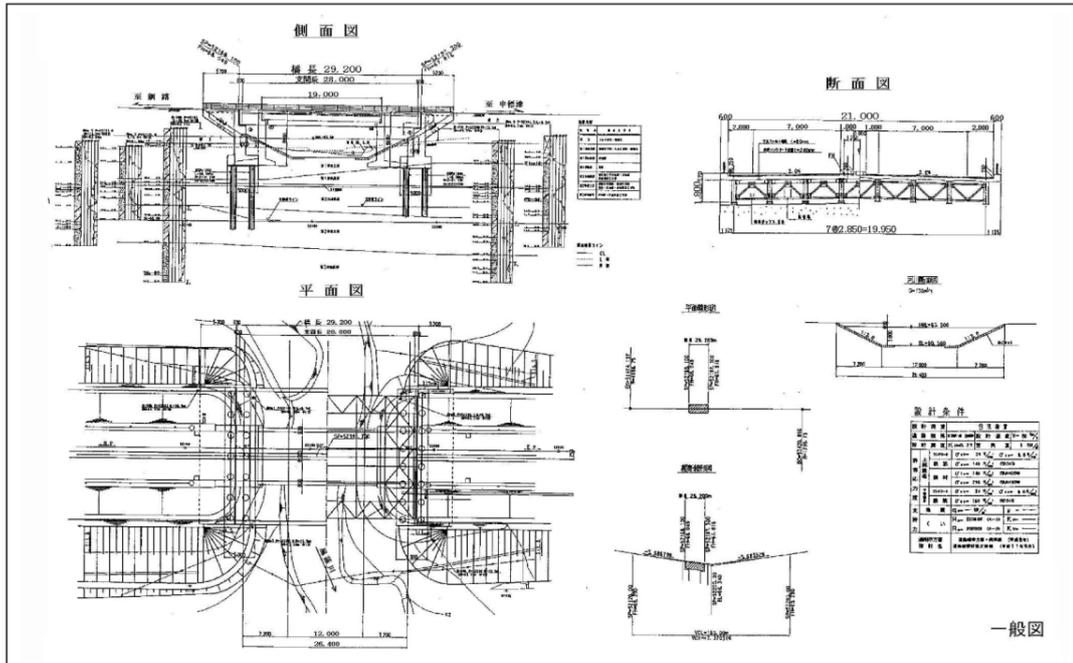
改訂日	該当箇所	改訂内容
R4.3	P 32	○共同溝、CAB電線共同溝の現況写真の撮影方法について追記
	巻末-8	○D016橋梁下部工における「杭径」の入力文字数（全体）を3桁に変更
	巻末-11	○D026橋側歩道橋下部工における「杭径」の入力文字数（全体）を3桁に変更
	巻末-18	○D080道路BOX基本における「舗装厚」の定義を「表層の厚さ」に変更
	巻末-19	○D090横断BOX基本における「舗装厚」の定義を「表層の厚さ」に変更 ○D100パイプカルバート基本における「延長」の文字数（小数）を1桁に変更
	巻末-50	○防護柵種別について、車両用防護柵、歩道柵、ガードフェンスについての選択肢の説明を追記
	巻末-53	○シェブロンマーカについて、E030反射式視線誘導、E040自光式視線誘導として作成する旨を追記
	巻末-54	○吹き流しについて「E050道路標識」データを作成したミス事例に対して、「道路標識ではないので作成対象外」とする記述を、E110気象観測施設として作成する記述に変更
	巻末-55	○飛雪防止柵はE150雪崩防止施設として作成する旨を追記
R5.3	P1	○点検DBの運用開始に伴い、データの登録先として点検DBが追加された旨を追記
	P 4、P 9、P 16、P 19、P 27、巻末-2、巻末-41	○点検DBの運用開始に伴い、道路施設基本データ作成対象工種からC050舗装を除外 ○C050舗装を例とした記述を他の工種に変更
	P 14	○点検DBの運用開始に伴い、溝橋に関するデータ作成方法を明確に記載
	P 38	○オンライン電子納品の原則化を受け、提出資料について紙媒体としていた記述を電子データに変更

【添 付 資 料】

イメージデータ作成事例

D010 橋梁の事例

- 一般図（平面図、側面図、断面図を添付）



- 現況写真 現況写真撮影方法：Cタイプ（①）

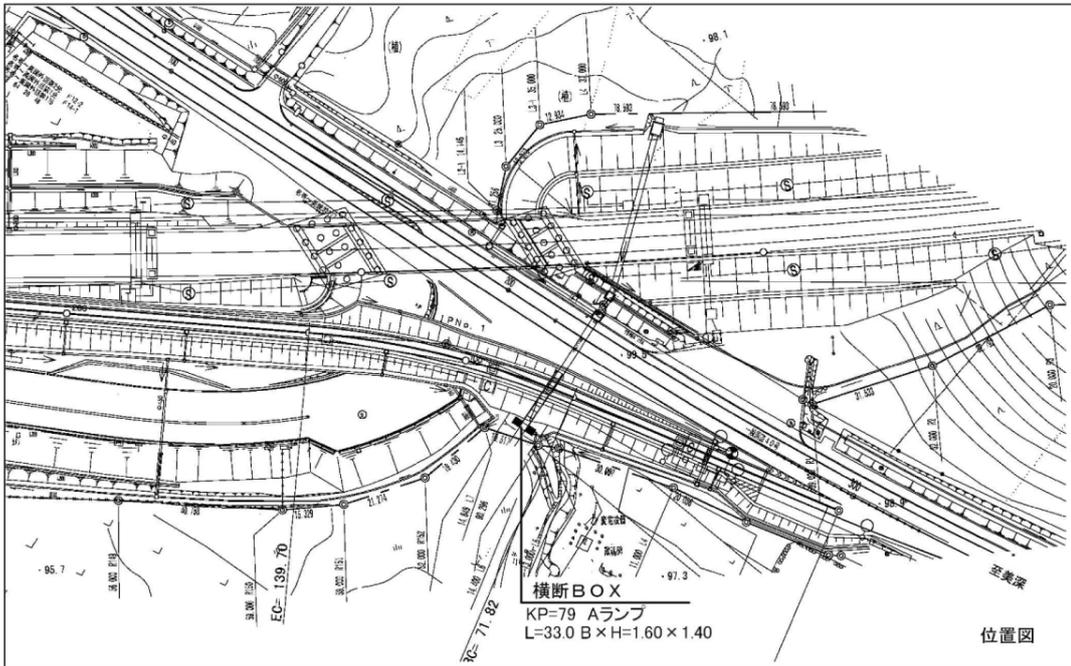


● 現況写真 現況写真撮影方法：Cタイプ（①）

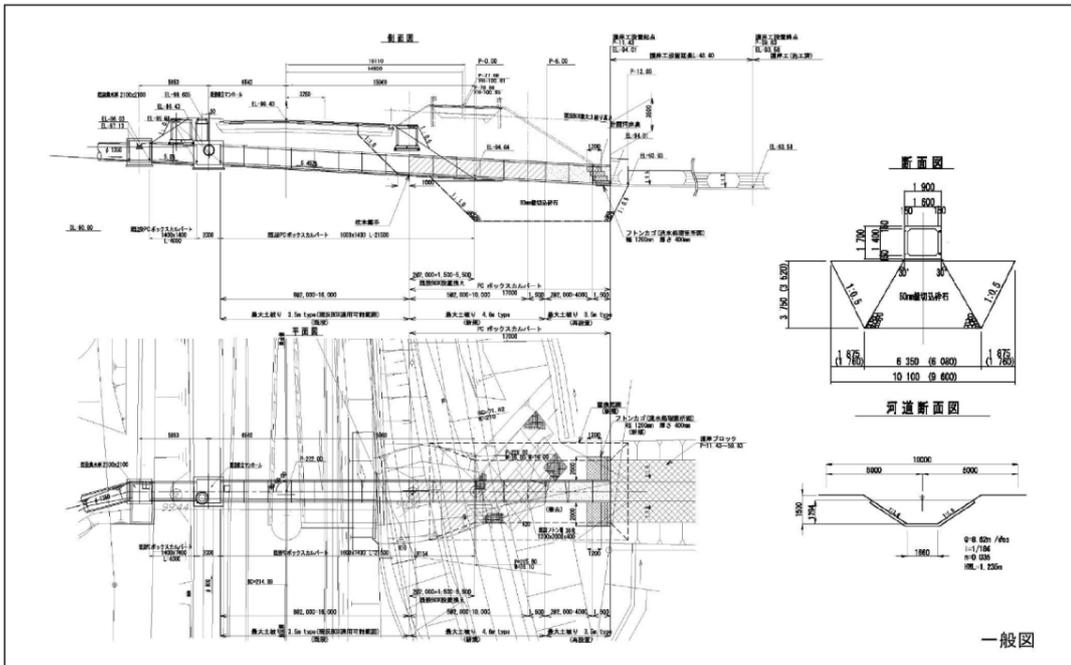


D090 横断BOXの事例

- 位置図（一般図として収まらないため、別途 位置図として作成）



- 一般図（平面図、側面図、正面図を添付）

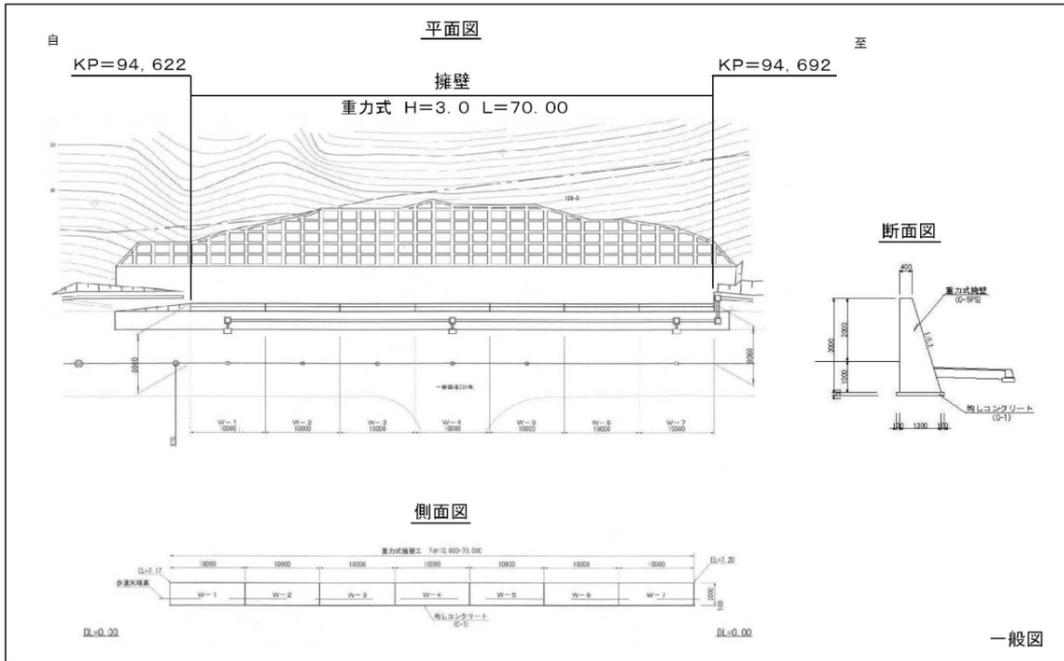


● 現況写真 現況写真撮影方法：Cタイプ（④）



D120 擁壁の事例

- 一般図（平面図、側面図、断面図を添付）



- 現況写真 現況写真撮影方法：Cタイプ（①）

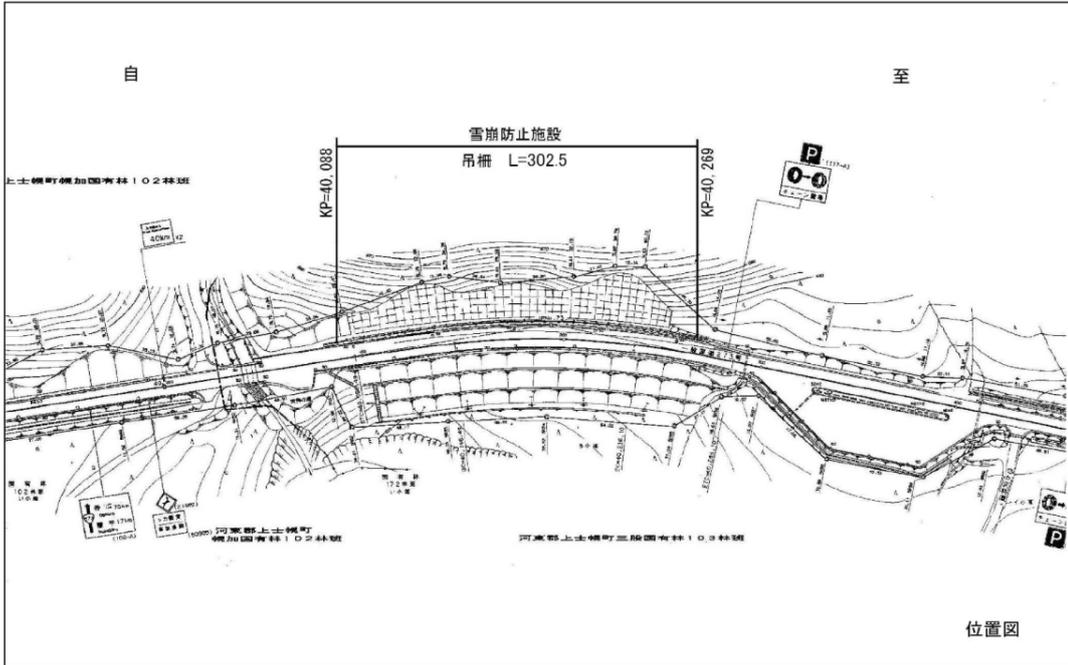


● 現況写真 現況写真撮影方法：Bタイプ（①）



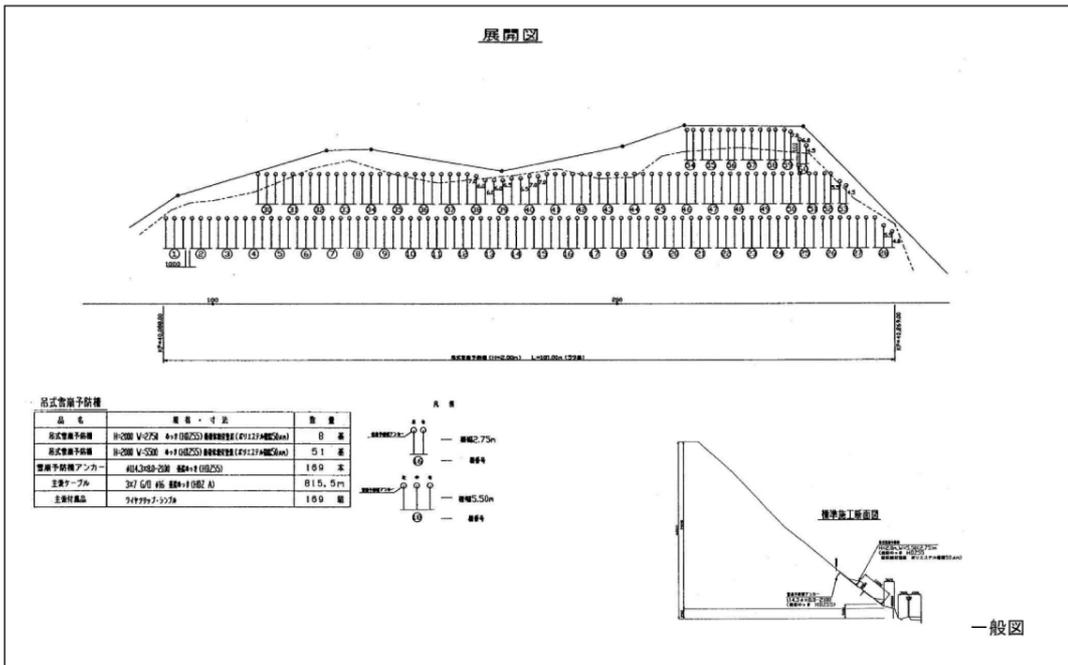
E150 雪崩防止施設の事例

- 位置図（一般図として収まらないため、別途 位置図として作成）

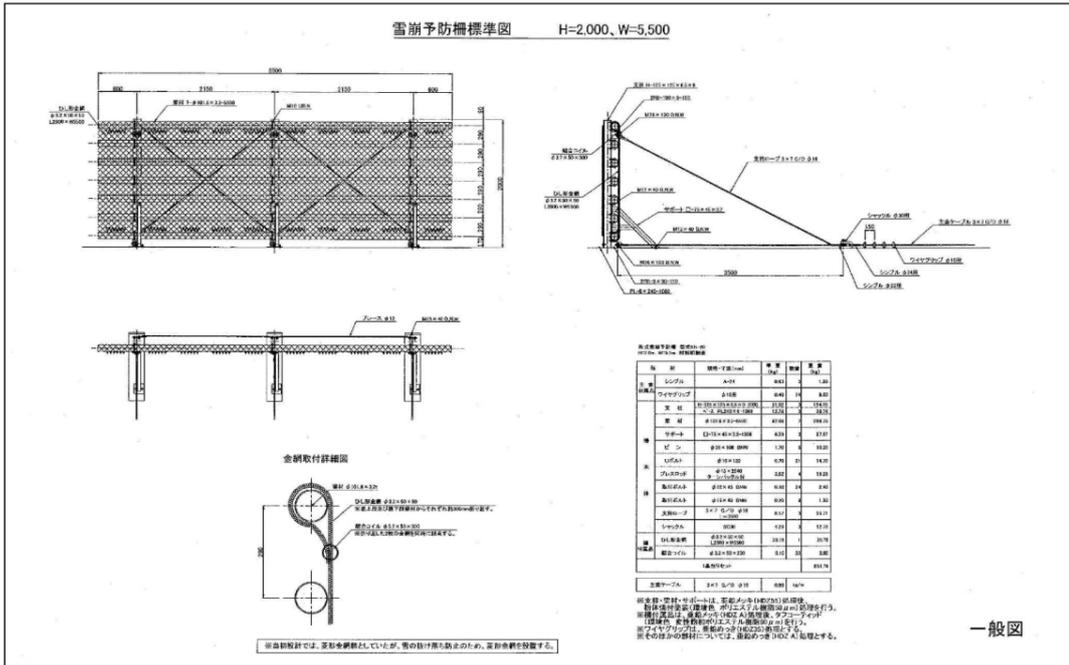


- 一般図（配置図を添付）

※配置図範囲が狭い場合は、標準断面図も添付してよい。



● 一般図（標準断面図を添付）

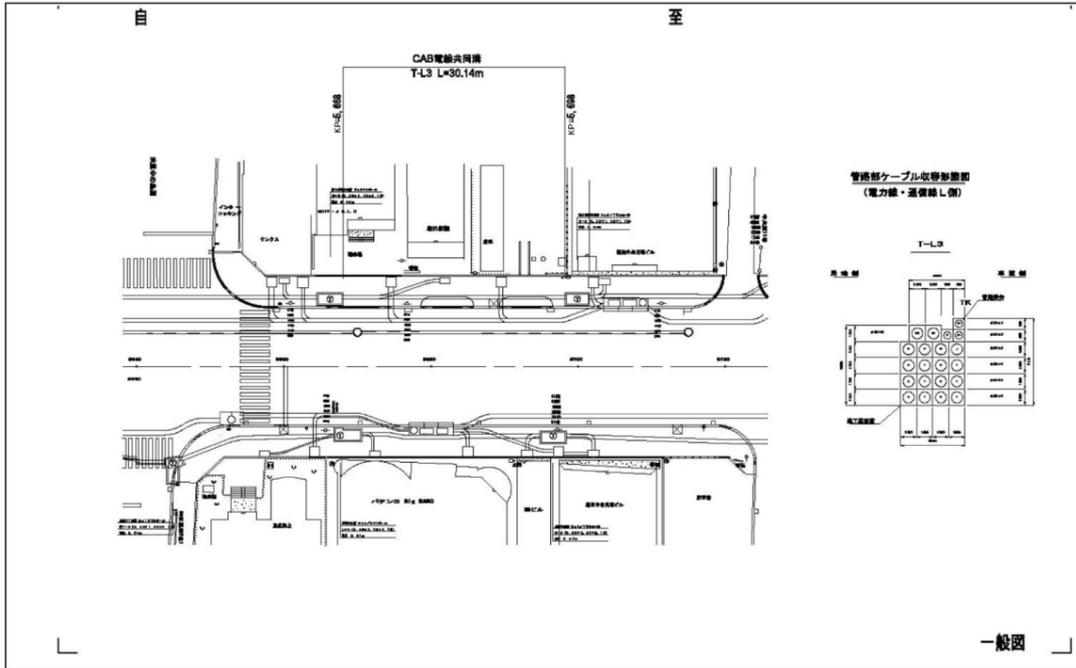


● 現況写真 現況写真撮影方法：Aタイプ



E220 C A B電線共同溝の事例

- 一般図（平面図と断面図を添付）



- 現況写真 現況写真撮影方法：Dタイプ（⑥）



【巻末資料】

＜道路施設基本データ詳細情報＞

＜管理ファイル作成方法およびフォルダ・ファイル構成＞

1 . 詳細情報のフォーマット

各項目の文字数欄には、当該項目のデータの文字数制限（半角）を表示している。基本的に、入力文字は半角英数字とする。ただし、定義欄に「日本語」の記述がある項目については全ての文字を全角で入力することとする。例えば、橋梁の名称は、「10 文字以内の日本語」となっており、10 文字以内の全角文字（英数字も含め）で入力する。なお、文字数欄の「全体」、「小数」は次のとおりである。

■ 全体

- 当該項目のデータ全体の半角文字数を示す。なお、当該項目が小数を含む場合は、小数点を除いた文字数を表示している。

例) 全体が 3、小数が 1 の場合は、「nn.n」を示す。(n は、任意の数字)

- ただし、百米標の場合は全体が 4、小数が 1 としているが、マイナス（-）の場合は、「-nnn.n」とする。

■ 小数

- 当該項目が小数を持つ数値の場合の、小数点以下の桁数を表示している。

1.1 道路構造

(1) C020 縦断勾配

項目名	定義	データ表現	文字数		単位
			全体	小数	
路線	該当する路線を表す。	文字	4		
現旧区分C	該当する路線の現旧区分を表す。	文字	1		コード
百米標自	該当する区間の距離標(百米標)を表す。	数値	4	1	Km
距離自	該当する区間の距離標(百米標)からの距離を表す。	数値	4	0	m
百米標至	該当する区間の距離標(百米標)を表す。	数値	4	1	Km
距離至	該当する区間の距離標(百米標)からの距離を表す。	数値	4	0	m
上り下り区分C	上下区分を表す。	文字	1		コード
区間長	該当する線形の区間延長を記入。	数値	7	3	m
符号C	縦断勾配について、該当するコードを記入。	文字	1		コード
勾配	該当する区間の縦断勾配を記入。	数値	3	1	%
備考	特記事項があれば50文字以内の日本語で記入	文字	100		

(2) C021 パーチカルカーブ

項目名	定義	データ表現	文字数		単位
			全体	小数	
路線	該当する路線を表す。	文字	4		
現旧区分C	該当する路線の現旧区分を表す。	文字	1		コード
百米標自	該当する区間の距離標(百米標)を表す。	数値	4	1	Km
距離自	該当する区間の距離標(百米標)からの距離を表す。	数値	4	0	m
百米標至	該当する区間の距離標(百米標)を表す。	数値	4	1	Km
距離至	該当する区間の距離標(百米標)からの距離を表す。	数値	4	0	m
上り下り区分C	上下区分を表す。	文字	1		コード
縦断曲線区分C	縦断曲線区分を表す。	文字	1		コード
縦断曲線長	該当する区間の縦断曲線長	数値	8	0	m

(3) C030 平面線形

項目名	定義	データ表現	文字数		単位
			全体	小数	
路線	該当する路線を表す。	文字	4		
現旧区分C	該当する路線の現旧区分を表す。	文字	1		コード
百米標自	該当する区間の距離標(百米標)を表す。	数値	4	1	Km
距離自	該当する区間の距離標(百米標)からの距離を表す。	数値	4	0	m
百米標至	該当する区間の距離標(百米標)を表す。	数値	4	1	Km
距離至	該当する区間の距離標(百米標)からの距離を表す。	数値	4	0	m
上り下り区分C	上下区分を表す。	文字	1		コード
線形区分C	線形区分について、該当するコードを記入。	文字	1		コード
区間長	該当する線形の区間延長を記入。	数値	7	3	m
始点側クロノイド	該当する区間にクロノイド曲線が含まれる場合、始点側のクロノイド曲線のパラメータを記入。	数値	6	1	m
曲線半径	該当する区間に単曲線が含まれる場合、曲線半径(R)を記入。	数値	6	1	m
終点側クロノイド	該当する区間にクロノイド曲線が含まれる場合、終点側のクロノイド曲線のパラメータを記入。	数値	6	1	m
曲り区分C	起点側から終点側に向かって見た場合の曲り方向について該当するコードを記入。	文字	1		コード
備考	特記事項があれば50文字以内の日本語で記入	文字	100		

(4) C031 平面線形折曲り箇所

項目名	定義	データ表現	文字数		単位
			全体	小数	
百米標	該当する区間の距離標(百米標)を表す。	数値	4	1	Km
距離	該当する区間の距離標(百米標)からの距離を表す。	数値	4	0	m
曲り区分C	起点側から終点側に向かって見た場合の曲り方向について該当するコードを記入。	文字	1		コード
備考	特記事項があれば50文字以内の日本語で記入	文字	100		

(5) C060 道路交差点

項目名	定義	データ表現	文字数		単位
			全体	小数	
路線	該当する路線を表す。	文字	4		
現旧区分C	該当する路線の現旧区分を表す。	文字	1		コード
名称	該当する道路交差点の名称(10文字以内の日本語(漢字、ひらがな、カタカナ、及び英数字))名称がない場合は、設置箇所の地先名等を記入	文字	20		
百米標	該当する区間の距離標(百米標)を表す。	数値	4	1	Km
距離	該当する区間の距離標(百米標)からの距離を表す。	数値	4	0	m
施設完成年度	施設が完成した年度。(年は西暦)	数値	4	0	
施設改修年度	施設を改修した年度。(年は西暦)	数値	4	0	
交差方式C	交差方式を表す。	文字	1		コード
交差区分C	交差区分を表す。	文字	2		コード
市区町村C	該当する区間の市区町村名。使用するコードは「全国市町村要覧」の「都道府県市区町村コード」	文字	5		コード
所在地	該当する区間の所在地(字番地まで)(30文字以内)	文字	60		
車道幅員	車道部の総幅員(付加車線は含まない)	数値	4	2	m
車線数	総車線数(付加車線は含まない)	数値	2	0	
付加車線有無C	本線部に設置されている付加車線の有無を表す。	文字	1		コード
中央分離帯有無C	本線部に設置されている中央分離帯の有無を表す。	文字	1		コード
歩道有無C	本線部に設置されている歩道の有無を表す。	文字	1		コード
自転車通行帯有無C	本線部に設置されている自転車通行帯の有無を表す。	文字	1		コード
立体横断施設有無C	本線部に設置されている立体横断施設の有無を表す。	文字	1		コード
横断歩道有無C	本線部に設置されている横断歩道の有無を表す。	文字	1		コード
信号機有無C	本線部に設置されている信号機の有無を表す。	文字	1		コード
照明有無C	本線部に設置されている照明の有無を表す。	文字	1		コード
備考	特記事項があれば50文字以内の日本語で記入	文字	100		

(6) C070 鉄道交差点

項目名	定義	データ表現	文字数		単位
			全体	小数	
路線	該当する路線を表す。	文字	4		
現旧区分C	該当する路線の現旧区分を表す。	文字	1		コード
名称	該当する鉄道交差点の名称(10文字以内の日本語(漢字、ひらがな、カタカナ、及び英数字))	文字	20		
百米標自	該当する区間の距離標(百米標)を表す。	数値	4	1	Km
距離自	該当する区間の距離標(百米標)からの距離を表す。	数値	4	0	m
百米標至	該当する区間の距離標(百米標)を表す。	数値	4	1	Km
距離至	該当する区間の距離標(百米標)からの距離を表す。	数値	4	0	m
施設完成年度	施設が完成した年度。(年は西暦)	数値	4	0	
施設改修年度	施設を改修した年度。(年は西暦)	数値	4	0	
所在地	該当する区間の所在地(字番地まで)(30文字以内)	文字	60		
交差方式C	鉄道交差点の交差方式を表す。	文字	1		コード
単複線区分C	鉄道交差点と交差している鉄道路線の単複線区分を表す。	文字	1		コード
幅員	踏切における道路幅員	数値	3	1	m
歩道等施設有無C	歩道等施設の有無を表す。	文字	1		コード
歩道等施設区分C	歩道等施設の区分を表す。	文字	1		コード
起点側対道路幅員差符号C	踏切から見て取付道路(道路部)に対する起点側の幅員差の符号区分を表す。	文字	1		コード
起点側対道路幅員差	踏切から見て取付道路(道路部)に対する起点側の道路幅員差	数値	3	1	m
終点側対道路幅員差符号C	踏切から見て取付道路(道路部)に対する終点側の幅員差の符号区分を表す。	文字	1		コード
終点側対道路幅員差	踏切から見て取付道路(道路部)に対する終点側の道路幅員差	数値	3	1	m
起点側道路勾配符号C	起点側の道路勾配の符号を表す。(鉄道交差点に向かって上り勾配を+(プラス)、下り勾配を-(マイナス)とする。)	数値	1		コード
起点側道路勾配	鉄道交差点端から道路の中心線上30mの地点で計った起点側の道路勾配(%単位)	数値	2	0	%
終点側道路勾配符号C	終点側の道路勾配の符号を表す。(鉄道交差点に向かって上り勾配を+(プラス)、下り勾配を-(マイナス)とする。)	文字	1		コード
終点側道路勾配	鉄道交差点端から道路の中心線上30mの地点で計った終点側の道路勾配(%単位)	数値	2	0	%
路面区分C	鉄道交差点内の路面情況を表す。	文字	1		コード
起点側道路交差点距離	鉄道交差点の起終点から50メートル以内にある道路交差点(立体交差を除く)を対象として、鉄道交差点の起点から道路交差点の中心までの距離	数字	2	0	m
終点側道路交差点距離	鉄道交差点の起終点から50メートル以内にある道路交差点(立体交差を除く)を対象として、鉄道交差点の終点から道路交差点の中心までの距離	数字	2	0	m
踏切道種別C	踏切道区分を表す。(第一種踏切道とは、踏切警手を常時配置するかまた自動踏切遮断機を設置しているものをいい、第二種踏切道とは、一定時間を限り踏切警手を設置しているものをいう。また、第三種踏切道とは、踏切警報機を設置しているものをいい、第四種踏切道とは、第一種から第三種に該当しないもの)	文字	1		コード
遮断時間	列車の通行により、道路交通が遮断される1日に生ずる延べ時間	数値	4	0	分
跨線地下道名	立体交差の対象名称(跨線名または地下道名)を10文字以内の日本語で記入する。	文字	20		
最小桁下高	立体交差の最小桁下高	数値	4	2	m
鉄道上下別C	立体交差している鉄道が道路に対し、上・下どちらに位置するかを表す。	文字	1		コード
備考1	特記事項があれば50文字以内の日本語で記入	文字	100		
備考2	特記事項があれば50文字以内の日本語で記入	文字	100		
備考3	特記事項があれば50文字以内の日本語で記入	文字	100		
市区町村自C	該当する区間の始点側の市区町村名。使用するコードは「全国市町村要覧」の「都道府県市区町村コード」	文字	5		コード
市区町村至C	該当する区間の終点側の市区町村名。使用するコードは「全国市町村要覧」の「都道府県市区町村コード」	文字	5		コード

(7) C071 鉄道交差点鉄道事業者

項目名	定義	データ表現	文字数		単位
			全体	小数	
鉄道事業者名C	該当する鉄道事業者名をコードで記入	文字	3		コード
鉄道路線名C	該当する鉄道路線名をコードで記入	文字	6		コード
備考	特記事項があれば50文字以内の日本語で記入	文字	100		

(8) C080 歩道及び自転車歩行者道

項目名	定義	データ表現	文字数		単位
			全体	小数	
路線	該当する路線を表す。	文字	4		
現旧区分C	該当する路線の現旧区分を表す。	文字	1		コード
市区町村C	該当する区間の市区町村名。使用するコードは「全国市町村要覧」の「都道府県市区町村コード」	文字	5		コード
路線分割番号	行政境界より路線が分割される場合、同一市区町村内において	数値	1	0	
沿道状況区分C	沿道状況について、該当するコードを記入	文字	1		コード
歩道等種別C	歩道等種別について、該当するコードを記入	文字	1		コード
形式C	歩道の形式について、該当するコードを記入	文字	2		コード
百米標自	該当する区間の距離標(百米標)を表す。	数値	4	1	Km
距離自	該当する区間の距離標(百米標)からの距離を表す。	数値	4	0	m
百米標至	該当する区間の距離標(百米標)を表す。	数値	4	1	Km
距離至	該当する区間の距離標(百米標)からの距離を表す。	数値	4	0	m
施設完成年度	施設が完成した年度。(年は西暦)	数値	4	0	
施設改修年度	施設を改修した年度。(年は西暦)	数値	4	0	
上り下り区分C	上下区分を表す。	文字	1		コード
設置区分C	設置区分について、該当するコードを記入	文字	2		コード
歩道等延長	路線の実延長区間における歩道等設置区間について、歩道等	数値	7	0	m
雪寒地域歩道延長	該当する区間が雪寒地域内の場合、その歩道延長(のべ延長)	数値	7	0	m
積雪地域歩道延長	該当する区間が積雪地域内の場合、その歩道延長(のべ延長)	数値	7	0	m

項目名	定義	データ表現	文字数		単位
			全体	小数	
総幅員	該当する区間の植樹帯等を含んだ総幅員(平均値)	数値	4	2	m
有効幅員	該当する区間の平均有効幅員を記入	数値	4	2	m
幅員4M以上延長	有効幅員が4m以上の実延長	数値	5	0	m
幅員3M以上延長	有効幅員が3m以上4m未満の実延長	数値	5	0	m
幅員2M以上延長	有効幅員が2m以上3m未満の実延長	数値	5	0	m
幅員1M50以上延長	有効幅員が1.5m以上2m未満の実延長	数値	5	0	m
幅員1M以上延長	有効幅員が1m以上1.5m未満の実延長	数値	5	0	m
幅員1M未満延長	有効幅員が1m未満の実延長	数値	5	0	m
列状	該当する区間における実延長区間内の植樹施設設置区間の列	数値	5	0	m
带状	該当する区間における実延長区間内の植樹施設設置区間の帯	数値	5	0	m
交差点部切下げ箇所数	該当する区間における交差点部分の歩道等切下げ箇所数(の	数値	3	0	
その他切下げ箇所数	上記以外の切下げ箇所数(のべ箇所数)を記入	数値	3	0	
点字ブロック枚数	該当する区間における点字ブロックの設置枚数(のべ枚数)を記	数値	5	0	
点字ブロック箇所数	該当する区間における点字ブロックの設置箇所数(のべ箇所数)	数値	3	0	
点字ブロックのべ延長	該当する区間における点字ブロックの設置延長(のべ延長)を記	数値	6	0	m
屋根箇所数	該当する区間における屋根の設置箇所数(のべ箇所数)を記入	数値	3	0	
屋根延長	該当する区間における屋根が設置されている延長(のべ延長)を	数値	5	0	m
屋根占用別C	屋根の占用別について、該当するコードを記入	文字	1		コード
舗装済延長	歩道及び自転車歩行者道の舗装されている区間の延長	数値	5	0	m
未舗装延長	歩道及び自転車歩行者道の舗装がされていない区間の延長	数値	5	0	m
舗装種別C	舗装がされている場合の舗装種別を表す。該当区間に種別が	文字	1		コード
カラー舗装有無C	該当する区間のカラー舗装の有無について、該当するコードを	文字	1		コード
ロードヒート有無C	該当する区間のロードヒーティングの有無を表す	文字	1		コード
消雪パイプ有無C	該当する区間の消雪パイプの有無を表す	文字	1		コード
防護柵有無C	該当する区間の防護柵の有無を表す	文字	1		コード

(9) C090 独立専用歩道

項目名	定義	データ表現	文字数		単位
			全体	小数	
路線	該当する路線を表す。	文字	4		
現旧区分C	該当する路線の現旧区分を表す。	文字	1		コード
市区町村C	該当する区間の市区町村名。使用するコードは「全国市町村要	文字	5		コード
歩道専用区分C	歩道専用区分を表す。	文字			コード
百米標自	該当する区間の距離標(百米標)を表す。	数値	4	1	Km
距離自	該当する区間の距離標(百米標)からの距離を表す。	数値	4	0	m
百米標至	該当する区間の距離標(百米標)を表す。	数値	4	1	Km
距離至	該当する区間の距離標(百米標)からの距離を表す。	数値	4	0	m
道路種別C	道路種別区分を表す。	文字	1		コード
総延長	該当する区間の基点から終点までの道路中心線を測定した	数値	5	0	m
実延長	道路法の規定に基づき供用開始の告示がなされている区間のう	数値	5	0	m
幅員4M以上延長	有効幅員が4m以上の実延長	数値	5	0	m
幅員3M以上延長	有効幅員が3m以上4m未満の実延長	数値	5	0	m
幅員2M以上延長	有効幅員が2m以上3m未満の実延長	数値	5	0	m
幅員1M以上延長	有効幅員が1m以上2m未満の実延長	数値	5	0	m
幅員1M未満延長	有効幅員が1m未満の実延長	数値	5	0	m
未舗装道延長	路面が未舗装道の延長	数値	5	0	m
コンクリート道延長	路面がコンクリート道の延長	数値	5	0	m
アスファルト道延長	路面がアスファルト道の延長	数値	5	0	m
平板ブロック道延長	路面が平板ブロック道の延長	数値	5	0	m
その他舗装道延長	路面がその他舗装道の延長	数値	5	0	m
道路部延長	該当する区間が道路部分の実延長	数値	5	0	m
橋梁部延長	該当する区間が橋梁部分の実延長	数値	5	0	m
トンネル部延長	該当する区間がトンネル部分の実延長	数値	5	0	m
道路敷部面積	該当する区間が道路敷部の実延長区間における道路面積	数値	6	0	m ²
有効幅員部面積	該当する区間が有効幅員部の実延長区間における道路面積	数値	6	0	m ²
国有地面積	該当する区間が国有地の延長区間における道路面積	数値	6	0	m ²
地方公共団体部面積	該当する区間が地方公共団体部の延長区間における道路面	数値	6	0	m ²
立体交差箇所IR	該当する区間の延長区間におけるIRとの立体交差箇所数	数値	1	0	
立体交差箇所民鉄	該当する区間の延長区間における民鉄との立体交差箇所数	数値	1	0	
立体交差箇所専用鉄道	該当する区間の延長区間における専用鉄道との立体交差箇	数値	1	0	
平面交差箇所IR	該当する区間の延長区間におけるIRとの平面交差箇所数	数値	1	0	
平面交差箇所民鉄	該当する区間の延長区間における民鉄との平面交差箇所数	数値	1	0	
平面交差箇所専用鉄道	該当する区間の延長区間における専用鉄道との平面交差箇	数値	1	0	
自地域内橋梁箇所数	該当する区間が自地域内の延長区間における橋梁箇所数	数値	1	0	
市区町村界橋梁箇所数	該当する区間が市区町村界の延長区間における橋梁箇所数	数値	1	0	
都道府県界橋梁箇所数	該当する区間が都道府県界の延長区間における橋梁箇所数	数値	1	0	
自地域内トンネル箇所数	該当する区間が自地域内の延長区間におけるトンネル箇所	数値	1	0	
市区町村界トンネル箇所数	該当する区間が市区町村界の延長区間におけるトンネル箇	数値	1	0	
都道府県界トンネル箇所数	該当する区間が都道府県界の延長区間におけるトンネル箇	数値	1	0	
防護柵有無C	該当する区間の防護柵の有無を表す	文字	1		コード
ロードヒート有無C	該当する区間のロードヒーティングの有無を表す	文字	1		コード
消雪パイプ有無C	該当する区間の消雪パイプの有無を表す	文字	1		コード
備考1	特記事項があれば50文字以内の日本語で記入	文字	100		
備考2	特記事項があれば50文字以内の日本語で記入	文字	100		

(10) C100 中央帯

項目名	定義	データ表現	文字数		単位
			全体	小数	
路線	該当する路線を表す。	文字	4		
現旧区分C	該当する路線の現旧区分を表す。	文字	1		コード
百米標自	該当する区間の距離標(百米標)を表す。	数値	4	1	Km
距離自	該当する区間の距離標(百米標)からの距離を表す。	数値	4	0	m
百米標至	該当する区間の距離標(百米標)を表す。	数値	4	1	Km
距離至	該当する区間の距離標(百米標)からの距離を表す。	数値	4	0	m
施設完成年度	施設が完成した年度。(年は西暦)	数値	4	0	
施設改修年度	施設を改修した年度。(年は西暦)	数値	4	0	
型式C	中央帯の型式を現す。	文字	2		コード
中央帯延長	中央帯の延長	数値	7	1	m
中央帯幅員	中央帯の一般部(右折車線部等を省く)の代表的な部分の幅員	数値	4	2	m
分離帯延長	中央分離帯の延長	数値	7	1	m
分離帯幅員	中央分離帯の幅員	数値	4	2	m
Aタイプ植栽組合せ延長	中央分離帯に植栽が設置されている場合の組み合わせについて	数値	6	0	m
Bタイプ植栽組合せ延長	中央分離帯に植栽が設置されている場合の組み合わせについて	数値	6	0	m
Cタイプ植栽組合せ延長	中央分離帯に植栽が設置されている場合の組み合わせについて	数値	6	0	m
防護柵有無C	該当する区間の防護柵の有無を表す	文字	1		コード
遮光フェンス有無C	該当する区間の遮光フェンスの有無を表す	文字	1		コード
備考	特記事項があれば50文字以内の日本語で記入	文字	100		
市区町村自C	該当する区間の始点側の市区町村名。使用するコードは「全国市町村要覧」の「都道府県市区町村コード」	文字	5		コード
市区町村至C	該当する区間の終点側の市区町村名。使用するコードは「全国市町村要覧」の「都道府県市区町村コード」	文字	5		コード

(11) C110 環境施設帯

項目名	定義	データ表現	文字数		単位
			全体	小数	
路線	該当する路線を表す。	文字	4		
現旧区分C	該当する路線の現旧区分を表す。	文字	1		コード
百米標自	該当する区間の距離標(百米標)を表す。	数値	4	1	Km
距離自	該当する区間の距離標(百米標)からの距離を表す。	数値	4	0	m
百米標至	該当する区間の距離標(百米標)を表す。	数値	4	1	Km
距離至	該当する区間の距離標(百米標)からの距離を表す。	数値	4	0	m
施設完成年度	施設が完成した年度。(年は西暦)	数値	4	0	
施設改修年度	施設を改修した年度。(年は西暦)	数値	4	0	
上り下り区分C	上り下り区分を表す。	文字	1		コード
所在地自	該当する区間の起点側の所在地(字番地まで)(30文字以内)	文字	60		
所在地至	該当する区間の終点側の所在地(字番地まで)(30文字以内)	文字	60		
施設帯幅	該当する区間の環境施設帯の幅(施設帯の幅は代表値を記入)	数値	4	2	m
環境施設帯延長	該当する区間の環境施設帯延長(のべ延長)	数値	7	1	m
設置道路延長	該当する区間において環境施設帯が設置されている道路延長	数値	7	1	m
施設帯面積	該当する区間の環境施設帯の面積(のべ面積)	数値	8	0	m ²
設置年月	施設を設置した年月(年は西暦)	数値	6	0	
備考	特記事項があれば50文字以内の日本語で記入	文字	100		
市区町村自C	該当する区間の始点側の市区町村名。使用するコードは「全国市町村要覧」の「都道府県市区町村コード」	文字	5		コード
市区町村至C	該当する区間の終点側の市区町村名。使用するコードは「全国市町村要覧」の「都道府県市区町村コード」	文字	5		コード

1.2 構造物
(1) D010 橋梁基本

項目名	定義	データ表現	文字数		単位
			全体	小数	
路線	該当する路線を表す。	文字	4		
現旧区分C	該当する路線の現旧区分を表す。	文字	1		コード
分割区分C	該当する橋梁の分割区分を表す。	文字	1		コード
施設完成年度	施設が完成した年度。(年は西暦)	数値	4	0	
施設改修年度	施設を改修した年度。(年は西暦)	数値	4	0	
名称	橋梁名称を表す。(10文字以内の日本語(漢字、ひらがな、カタ)	文字	20		
橋梁種別C	橋梁種別を表す。	文字	1		コード
橋梁区分C	橋梁区分を表す。	文字	1		コード
架設竣工年	架設竣工年。(年は西暦)	数値	4	0	
等級C	橋梁の等級を表す。	文字	1		コード
適用示方書C	設計または施工に用いた代表的な適用示方書を表す。 *旧橋を撤去せず部分的に架替等を行った場合は、当初架設時のものを記入する。	文字	3		コード
総径間数	対象となる橋梁を構成している径間数。	数値	3	0	
歩道添架C	架設後においてブラケット当で歩道添架がなされているか否か	文字	1		コード
事業区分C	事業区分を表す。	文字	1		コード
百米標目	該当する区間の距離標(百米標)を表す。	数値	4	1	Km
距離自	該当する区間の距離標(百米標)からの距離を表す。	数値	4	0	m
百米標至	該当する区間の距離標(百米標)を表す。	数値	4	1	Km
距離至	該当する区間の距離標(百米標)からの距離を表す。	数値	4	0	m
橋長	橋台間のバラベツト前面の距離高架橋については、市町村界を	数値	6	2	m
橋面積	橋面積(地覆の内側間(道路部)×橋長)	数値	6	1	m ²
平面形状C	1橋全体としての平面形状を表す。	文字	1		コード
最小半径	(曲線部に設置している場合)橋梁間における最小半径を記入	数値	5	1	m
縦断勾配	最急勾配の絶対値を記入	数値	3	3	%
落下物防止柵高さ	落下物防止柵の高さの最大値	数値	3	2	m
落下物防止柵延長	落下物防止柵の延長	数値	5	2	m
遮音壁有無C	遮音壁の有無を表す。	文字	1		コード
遮光壁有無C	遮光壁の有無を表す。	文字	1		コード
踏掛板有無C	踏掛板の設置の有無を表す。	文字	1		コード
点検施設C	橋梁の点検施設を表す。	文字	1		コード
排水施設C	代表的な排水施設の型式を表す。	文字	1		コード
床版防水種別C	床版防水工の種別を表す	文字	1		コード
床版防水範囲C	床版防水工の範囲を表す	文字	1		コード
床版防水面積	床版防水工の面積を記入	数値	6	1	m ²
水平震度	設計水平震度(Kh)を記入	数値	3	2	
設計活荷重C	設計活荷重を表す。	文字	2		コード
通行制限C	通行制限を表す。	文字	1		コード
荷重制限	荷重制限がある場合、その値を記入	数値	3	1	tf
制限高さ	高さ制限がある場合、その値を記入	数値	3	1	m
制限幅	制限幅がある場合、その値を記入	数値	3	1	m
上部工分離橋脚一体別C	上部工分離の場合の橋脚一体の別を表す。	文字	1		コード
起点側市区町村C	該当する橋梁区間の起点側の市区町村名。使用するコードは	文字	5		コード
起点側所在地	該当する橋梁区間の起点側の所在地(字番地まで)(30文字以	文字	60		
終点側市区町村C	該当する橋梁区間の終点側の市区町村名。使用するコードは	文字	5		コード
終点側所在地	該当する橋梁区間の終点側の所在地(字番地まで)(30文字以	文字	60		
塩害地域区分C	塩害地域区分を表す	文字	2		コード
塩害地域距離	塩害地域区分に対する海岸線からの距離を記入	数値	3	1	Km
照明有無C	照明の有無を表す	文字	1		コード
舗装種別C	舗装の種類を表す	文字	1		コード
消雪パイプ有無C	消雪パイプの有無を表す	文字	1		コード
ロードヒート有無C	ロードヒーティングの有無を表す	文字	1		コード

(2) D011 橋梁幅員構成

項目名	定義	データ表現	文字数		単位
			全体	小数	
供用開始年月日	供用を開始した年月日(年は西暦)	数値	8	0	
全幅員	全幅員を表す。	数値	4	2	m
有効幅員	有効幅員を表す。	数値	4	2	m
左側車線地覆幅	起点から見て左側車線の地覆幅	数値	3	2	m
左側車線地覆高	起点から見て左側車線の地覆高	数値	3	2	m
左側車線歩道幅	起点から見て左側車線の歩道幅	数値	4	2	m
左側車線路肩幅	起点から見て左側車線の路肩幅	数値	4	2	m
左側車線車道幅	起点から見て左側車線の車道幅	数値	5	2	m
左側車線車線数	起点から見て左側車線の車道数	数値	1	0	
中央帯	中央帯の幅員	数値	4	2	m
中央分離帯	中央分離帯の幅員	数値	4	2	m
右側車線車線数	起点から見て右側車線の車道数	数値	1	0	
右側車線車道幅	起点から見て右側車線の車道幅	数値	5	2	m
右側車線路肩幅	起点から見て右側車線の路肩幅	数値	4	2	m
右側車線歩道幅	起点から見て右側車線の歩道幅	数値	4	2	m
右側車線地覆幅	起点から見て右側車線の地覆幅	数値	3	2	m
右側車線地覆高	起点から見て右側車線の地覆高	数値	3	2	m

(3) D012 橋梁高欄防護柵

項目名	定義	データ表現	文字数		単位
			全体	小数	
高欄防護柵設置場所C	高欄、防護柵の設置場所	文字	1		コード
高欄防護柵別C	高欄の材質(材料)を表す	文字	1		コード
高欄防護柵材質材料C	高欄の材質(材料)	文字	1		コード
防護柵設計種別C	車両用防護柵の設計種別	文字	2		コード
高欄防護柵高さ	高欄の橋面からの高さ	数値	3	2	m

(4) D013 橋梁交差状況

項目名	定義	データ表現	文字数		単位
			全体	小数	
架橋状況C	該当する橋梁の架橋状況を表す	文字	1		コード
交差物名称	交差物名称(10文字以内)	文字	20		

(5) D014 橋梁添架物

項目名	定義	データ表現	文字数		単位
			全体	小数	
添架物区分C	添架物区分を表す。	文字	1		コード
添架物種別C	添架物種別を表す。	文字	2		コード
添架物寸法	電力及び電圧について、設置する条数と段数を表す。	数字	4	0	
添架物重量	添架物の単位長さ当りの重量	数字	3	0	kgf/m
添架物管理者名	添架物管理者名(10文字以内)	文字	20		
占用物件本数	添架物種別毎の物件数	数値	3	0	

(6) D015 橋梁上部工

項目名	定義	データ表現	文字数		単位
			全体	小数	
構造体番号	上部工の構造体毎の番号	文字	3		
平面形状C	代表的な平面形状を表す	文字	1		コード
起点側斜角左右別C	構造体の支承線に斜角がつく場合の起点側の左右別を表す	文字	1		コード
起点側斜角	構造体の支承線に斜角がつく場合の起点側の支承線の角度	数値	6	0	
終点側斜角左右別C	構造体の支承線に斜角がつく場合の終点側の左右別を表す	文字	1		コード
終点側斜角	構造体の支承線に斜角がつく場合の終点側の支承線の角度	数値	6	0	
起点側伸縮装置形式C	該当する構造体における起点側の伸縮装置の構造形式	文字	2		コード
終点側伸縮装置形式C	該当する構造体における終点側の伸縮装置の構造形式	文字	2		コード
材料区分C	主構造の材料	文字	1		コード
桁形式区分C	主構造の桁形式	文字	1		コード
構造形式C	構造体の形式(材料区分コード+構造形式コードの3桁)	文字	3		コード
路面位置C	路面位置を表す。	文字	1		コード
主桁主構本数	主桁本数を表す。	数値	3	0	
主桁主構高さ	主桁または主構高さの最大値	数値	4	2	m
主桁主構間隔	主桁または主構間隔の最大値	数値	4	2	m
床版材料C	床版材料を表す。	文字	1		コード
床版厚さ	床版の最小の厚さ	数値	3	1	cm
架設工法C	構造物の架設工法について表す	文字	2		コード
架設年月日	上部工の架設年月日(年は西暦)	数値	8	0	
鋼上部工材質C	鋼上部工の主な材質を表す	文字	2		コード
鋼上部工鋼重	鋼上部工の鋼重を記入	数値	6	1	tf
鋼上部工表面処理C	鋼上部工の耐候性鋼材の表面処理	文字	1		コード
塗装年月日	該当する構造体の新設時の塗装年月日(年は西暦)	数値	8	0	
プライマー下塗塗料C	構造体の新設時でのプライマー及び下塗り塗料	文字	2		コード
中塗塗料C	構造体の新設時での中塗り塗料	文字	2		コード
上塗塗料C	構造体の新設時での上塗り塗料	文字	2		コード
塗装方法C	塗装方法を現す。	文字	1		コード
工場塗装面積	該当する構造体の工場塗装面積	数値	6	1	m ²
本体塗装面積	該当する構造体の本体塗装面積	数値	6	1	m ²
高欄塗装面積	該当する構造体の高欄塗装面積	数値	6	1	m ²
塗装色	代表的な塗装色を表す。使用するコードは日本塗装工業会の	文字	9		
塗装会社	塗装会社名(10文字以内)	文字	20		
PC鋼材材質C	PC鋼材の材質を表す	文字	2		コード
PC鋼材緊張工法C	PC鋼材の緊張工法を表す	文字	2		コード
主桁コンクリート強度	主桁のコンクリート強度(σ _{ck})	数値	3	0	kgf/cm ²
床版コンクリート強度	床版のコンクリート強度(σ _{ck})	数値	3	0	kgf/cm ²

(7) D016 橋梁下部工

項目名	定義	データ表現	文字数		単位
			全体	小数	
躯体番号	下部工の躯体毎の番号	文字	3		
完成年月日	下部工の完成年月日(年は西暦)	数値	8	0	
橋台橋脚構造形式C	該当する下部工橋脚の構造形式	文字	2		コード
橋台橋脚高さ	橋台の場合、フーチング下面からバラベツト天端までの高さ(基	数値	5	2	m
起点側縁端距離	起点側の支承縁端と沓座部縁端との距離を記入	数値	5	1	cm
終点側縁端距離	終点側の支承縁端と沓座部縁端との距離を記入	数値	5	1	cm
基礎形式C	基礎形式を表す。	文字	1		コード
杭頭接合条件C	杭基礎の場合、杭頭条件を表す	文字	1		コード
基礎形状寸法A	基礎の形状寸法の橋軸直角方向を記入する	数値	4	1	m
基礎形状寸法B	基礎の形状寸法の橋軸方向を記入する	数値	4	1	m
杭径	杭基礎の場合は杭径を、鋼管ウエル基礎の場合は鋼管ウエル	数値	3	1	m
杭本数	杭基礎の場合は杭本数(1基当りの杭本数)、鋼管ウエルの場合	数値	3	0	
杭長	杭基礎の杭長を記入	数値	5	1	m
躯体基部形状寸法A	躯体の形状寸法の橋軸直角方向を記入する	数値	5	1	m
躯体基部形状寸法B	躯体の形状寸法の橋軸方向を記入する	数値	5	1	m
塗装年月日	該当する下部工躯体の新設時の塗装年月日(年は西暦)	数値	8	0	
プライマー下塗塗料C	下部工躯体の新設時でのプライマー及び下塗り塗料	文字	2		コード

項目名	定義	データ表現	文字数		単位
			全体	小数	
中塗塗料C	下部工躯体の新設時での中塗り塗料	文字	2		コード
上塗塗料C	下部工躯体の新設時での上塗り塗料	文字	2		コード
塗装方法C	下部工躯体の新設時の塗装方法	文字	1		コード
工場塗装面積	下部工躯体の工場塗装面積	数値	6	1	m ²
本体塗装面積	下部工躯体の本体塗装面積	数値	6	1	m ²
塗装色	代表的な塗装色を表す。使用するコードは日本塗装工業会の定めるコード。	文字	9		

項目名	定義	データ表現	文字数		単位
			全体	小数	
塗装会社	塗装会社名(10文字以内)	文字	20		
PC鋼材材質C	PC鋼材の材質を表す	文字	2		コード
PC鋼材緊張工法C	PC鋼材の緊張工法を表す	文字	2		コード
躯体コンクリート強度	下部工躯体のコンクリート強度(σ ck)	数値	3	0	kgf/cm2
基礎コンクリート強度	基礎のコンクリート強度(σ ck)	数値	3	0	kgf/cm2
設計震度地盤区分C	設計震度の地盤区分を表す	文字	1		コード
設計震度	設計震度を記入	数値	3	2	
K値	K値を記入	数値	3	1	kgf/cm3
支持力	支持力を記入	数値	5	0	
支持層N値	支持層のN値を記入	数値	2	0	

(8) D017 橋梁径間

項目名	定義	データ表現	文字数		単位
			全体	小数	
径間番号	起点側から付した通し番号	文字	2		
径間分割番号	径間分割番号を表す	文字	1		
支間番号	径間内で付した通し番号のうち該当する支間番号	文字	1		
支間長	上部工の支間長(径間長)	数値	6	3	m
起点側支承種類C	該当する支間の起点側の支承構造(支承及び落橋防止構造の)	文字	2		コード
起点側落橋防止1C	落橋防止構造の種類	文字	1		コード
起点側落橋防止2C	落橋防止構造の種類	文字	1		コード
起点側落橋防止3C	落橋防止構造の種類	文字	1		コード
終点側支承種類C	該当する支間の終点側の支承構造(支承及び落橋防止構造の)	文字	2		コード
終点側落橋防止1C	落橋防止構造の種類	文字	1		コード
終点側落橋防止2C	落橋防止構造の種類	文字	1		コード
終点側落橋防止3C	落橋防止構造の種類	文字	1		コード
起点側躯体番号1	該当する径間に対する下部工の起点側躯体番号	文字	3		
起点側躯体番号2	該当する径間に対する下部工の起点側躯体番号	文字	3		
終点側躯体番号1	該当する径間に対する下部工の終点側躯体番号	文字	3		
終点側躯体番号2	該当する径間に対する下部工の終点側躯体番号	文字	3		

(9) D019 橋梁塗装歴

項目名	定義	データ表現	文字数		単位
			全体	小数	
径間又は躯体番号	上部工の場合、橋梁分割毎の径間番号と径間分割番号。	文字	3		
上下部工区分C	上・下部工に関するデータの作成区分	文字	1		コード
塗装年月日	再塗装を行った年月日(年は西暦)	数値	8	0	
プライマー下塗料C	プライマー及び下塗り塗料を表す。	文字	2		コード
中塗料C	中塗り塗料を表す。	文字	2		コード
上塗料C	上塗り塗料を表す。	文字	2		コード
塗装方法C	塗装方法を表す	文字	1		コード
本体塗装面積	本体に対する再塗装面積	数値	6	1	m2
高欄塗装面積	高欄に対する再塗装面積	数値	6	1	m2
塗装色	代表的な塗装色を表す。使用するコードは日本塗装工業会の定めるコード。	文字	9		
備考	特記事項があれば50文字以内の日本語で記入	文字	100		

(10) D01A 橋梁補修歴

項目名	定義	データ表現	文字数		単位
			全体	小数	
径間又は躯体番号	上部工の場合、橋梁分割毎の径間番号と径間分割番号。(伸縮)	文字	3		
上下部工区分C	上・下部工に関するデータの作成区分を表す	文字	1		コード
補修改良年月日	補修または改良を行った年月日(年は西暦)	数値	8	0	
補修改良区分C	補修または改良に関するデータ作成区分	文字	1		コード
主な補修改良内容C	補修の内容場合、代表的な補修内容。	文字	4		コード
床版補修補強面積	床版の補修・補強を行った場合について、該当する径間における	数値	6	1	m2
前回補修年月日	前回保守を行った年月日(再補修の場合のみ)(年は西暦)	数値	8	0	
施工会社	施工会社名を10文字以内の日本語で記入	文字	20		
備考	特記事項があれば50文字以内の日本語で記入	文字	100		

(11) D01D 橋梁点検補修

項目名	定義	データ表現	文字数		単位
			全体	小数	
径間番号	起点側から付した通し番号	文字	2		
径間分割番号	径間分割番号を表す。	文字	1		
部材区分C	部材区分コード	文字	2		コード
部材番号	橋梁点検要領(案)に基づく部材番号※ ※定期点検調査の部材番号図(発注者から貸与)参照	文字	4		
補修年月日	補修または改良を行った年月日(年は西暦)	数値	8	0	
補修補強内容C	補修補強工法	文字	3		コード

(12) D020 橋側歩道橋基本

項目名	定義	データ表現	文字数		単位
			全体	小数	
路線	該当する路線を表す。	文字	4		
現旧区分C	該当する路線の現旧区分を表す。	文字	1		コード
分割区分C	該当する橋側歩道橋の分割区分を表す。	文字	1		コード
施設完成年度	施設が完成した年度。(年は西暦)	数値	4	0	
施設改修年度	施設を改修した年度。(年は西暦)	数値	4	0	
名称	橋側歩道橋名称を表す。(10文字以内の日本語(漢字、ひらがな))	文字	20		
橋梁種別C	橋梁種別を表す。	文字	1		コード
架設竣工年	架設竣工年。(年は西暦)	数値	4	0	
適用示方書C	設計または施工に用いた代表的な適用示方書を表す。	文字	3		コード
総径間数	対象となる橋梁を構成している径間数。	数値	3	0	
事業区分C	事業区分を表す。	文字	1		コード
百米標自	該当する区間の距離標(百米標)を表す。	数値	4	1	Km

項目名	定義	データ表現	文字数		単位
			全体	小数	
距離自	該当する区間の距離標(百米標)からの距離を表す。	数値	4	0	m
百米標至	該当する区間の距離標(百米標)を表す。	数値	4	1	Km
距離至	該当する区間の距離標(百米標)からの距離を表す。	数値	4	0	m
橋長	橋台間のパラベット前面の距離高架橋については、市町村界を	数値	6	2	m
橋面積	橋側歩道橋の面積(地覆の内側間(道路部)×橋長)	数値	6	1	m ²
平面形状C	1橋全体としての平面形状を表す。	文字	1		コード
最小半径	曲線部に設置されている場合最小半径を記入	数値	5	1	m
縦断勾配	最急縦断勾配の絶対値を記入	数値	5	3	%
落下物防止柵高さ	落下物防止柵の高さの最大値	数値	3	2	m
落下物防止柵延長	落下物防止柵の延長	文字	5	2	m
遮音壁有無C	遮音壁の有無を表す。	文字	1		コード
遮光壁有無C	遮光壁の有無を表す。	文字	1		コード
踏掛版有無C	踏掛版の設置の有無を表す。	文字	1		コード
点検施設C	橋側歩道橋の点検施設を表す。	文字	1		コード
排水施設C	代表的な排水施設の型式を表す。	文字	1		コード
床版防水種別C	床版防水工の種別を表す	文字	1		コード
床版防水範囲C	床版防水工の範囲を表す	文字	1		コード
床版防水面積	床版防水工の面積を記入	数値	6	1	m ²
水平震度	設計水平震度(Kh)を記入	数値	3	2	
起点側市区町村C	該当する橋側歩道橋区間の起点側の市区町村名。使用する	文字	5		コード
起点側所在地	該当する橋側歩道橋区間の起点側の所在地(字番地まで)(30	文字	60		
終点側市区町村C	該当する橋側歩道橋区間の終点側の市区町村名。使用する	文字	5		コード
終点側所在地	該当する橋側歩道橋区間の終点側の所在地(字番地まで)(30	文字	60		
塩害地域区分C	塩害地域区分を表す	文字	2		コード
塩害地域距離	塩害地域区分に対する海岸線からの距離を記入	数値	3	1	Km
照明有無C	照明の有無を表す	文字	1		コード
消雪パイプ有無C	消雪パイプの有無を表す	文字	1		コード
ロードヒート有無C	ロードヒーティングの有無を表す	文字	1		コード

(13) D021 橋側歩道橋幅員構成

項目名	定義	データ表現	文字数		単位
			全体	小数	
供用開始年月日	供用を開始した年月日(年は西暦)	数値	8	0	
全幅員	全幅員を表す。	数値	4	2	m
有効幅員	有効幅員を表す。	数値	4	2	m
左側車線地覆幅	起点から見て左側車線の地覆幅	数値	3	2	m
左側車線地覆高	起点から見て左側車線の地覆高	数値	3	2	m
左側車線歩道幅	起点から見て歩道中心より、左側の歩道幅	数値	4	2	m
右側車線歩道幅	起点から見て歩道中心より、右側の歩道幅	数値	4	2	m
右側車線地覆幅	起点から見て右側車線の地覆幅	数値	3	2	m
右側車線地覆高	起点から見て右側車線の地覆高	数値	3	2	m

(14) D022 橋側歩道橋高欄防護柵

項目名	定義	データ表現	文字数		単位
			全体	小数	
高欄防護柵設置場所C	高欄、防護柵の設置場所について表す	文字	1		コード
高欄防護柵別C	高欄、防護柵の別を表す	文字	1		コード
高欄防護柵材質材料C	高欄の材質(材料)	文字	1		コード
高欄防護柵高さ	高欄の橋面からの高さ	数値	3	2	m

(15) D023 橋側歩道橋交差状況

項目名	定義	データ表現	文字数		単位
			全体	小数	
架橋状況C	該当する橋梁の架橋状況を表す	文字	1		コード
交差物名称	交差物名称(10文字以内)	文字	20		

(16) D024 橋側歩道橋添架物

項目名	定義	データ表現	文字数		単位
			全体	小数	
添架物区分C	添架物区分を表す。	文字	1		コード
添架物種別C	添架物種別を表す。	文字	2		コード
添架物寸法	電力及び電話について、設置する条数と段数を表す。	数値	4	0	
添架物重量	添架物の単位長さ当りの重量	数値	3	0	kgf/m
添架物管理者名	添架物管理者名(10文字以内)	文字	20		
占有物件本数	添架物種別毎の物件数	数値	3	0	

(17) D025 橋側歩道橋上部工

項目名	定義	データ表現	文字数		単位
			全体	小数	
構造体番号	上部工の構造体毎の番号	文字	3		
平面形状C	代表的な平面形状を表す	文字	1		コード
起点側斜角左右別C	構造体の支承線に斜角がつく場合の起点側の左右別を表す	文字	1		コード
起点側斜角	構造体の支承線に斜角がつく場合の起点側の支承線の角度	数値	6	0	
終点側斜角左右別C	構造体の支承線に斜角がつく場合の終点側の左右別を表す	文字	1		コード
終点側斜角	構造体の支承線に斜角がつく場合の終点側の支承線の角度	数値	6	0	
起点側伸縮装置形式C	該当する構造体における起点側の伸縮装置の構造形式	文字	2		コード
終点側伸縮装置形式C	該当する構造体における終点側の伸縮装置の構造形式	文字	2		コード
材料区分C	主構造の材料	文字	1		コード
桁形式区分C	主構造の桁形式	文字	1		コード
構造形式C	構造体の形式(材料区分コード+構造形式コードの3桁)	文字	3		コード
路面位置C	路面位置を表す。	文字	1		コード
主桁主構本数	主桁本数を表す。	数値	3	0	
主桁主構高さ	主桁または主構高さの最大値	数値	4	2	m
主桁主構間隔	主桁または主構間隔の最大値	数値	4	2	m
床版材料C	床版材料を表す。	文字	1		コード
床版橋軸方向支間	床版の橋軸方向の支間を記入	数値	3	2	m

項目名	定義	データ表現	文字数		単位
			全体	小数	
床版厚さ	床版の最小の厚さ	数値	3		1 cm
架設工法C	構造物の架設工法について表す	文字	2		コード
架設年月日	上部工の架設年月日(年は西暦)	数値	8	0	
鋼上部工材質C	鋼上部工の主な材質を表す	文字	2		コード
鋼上部工鋼重	鋼上部工の鋼重を記入	数値	6	1	tf
鋼上部工表面処理C	鋼上部工の耐候性鋼材の表面処理	文字	1		コード
塗装年月日	該当する構造体の新設時の塗装年月日(年は西暦)	数値	8	0	
プライマー下塗塗料C	構造体の新設時でのプライマー及び下塗り塗料	文字	2		コード
中塗塗料C	構造体の新設時での中塗り塗料	文字	2		コード
上塗塗料C	構造体の新設時での上塗り塗料	文字	2		コード
塗装方法C	塗装方法を現す。	文字	1		コード
工場塗装面積	該当する構造体の工場塗装面積	数値	6	1	m ²
本体塗装面積	該当する構造体の本体塗装面積	数値	6	1	m ²
高欄塗装面積	該当する構造体の高欄塗装面積	数値	6	1	m ²
塗装色	代表的な塗装色を表す。使用するコードは日本塗装工業会の定めるコード。	文字	9		
塗装会社	塗装会社名(10文字以内)	文字	20		
PC鋼材材質C	PC鋼材の材質を表す	文字	2		コード
PC鋼材緊張工法C	PC鋼材の緊張工法を表す	文字	2		コード
主桁コンクリート強度	主桁のコンクリート強度(σ ck)	数値	3	0	kgf/cm ²
床版コンクリート強度	床版のコンクリート強度(σ ck)	数値	3	0	kgf/cm ²

(18) D026 橋側歩道橋下部工

項目名	定義	データ表現	文字数		単位
			全体	小数	
躯体番号	下部工の躯体毎の番号	文字	3		
完成年月日	下部工の完成年月日(年は西暦)	数値	8	0	
橋台橋脚構造形式C	該当する下部工橋脚の構造形式	文字	2		コード
橋台橋脚高さ	橋台の場合、フーチング下面からパラペット天端までの高さ(基礎側縁端距離)	数値	5	2	m
起点側縁端距離	起点側の支承縁端と柵座部縁端との距離を記入	数値	5	1	cm
終点側縁端距離	終点側の支承縁端と柵座部縁端との距離を記入	数値	5	1	cm
基礎形式C	基礎形式を表す。	文字	1		コード
杭頭接合条件C	杭基礎の場合、杭頭条件を表す	文字	1		コード
基礎形状寸法A	基礎の形状寸法の橋軸直角方向を記入する	数値	4	1	m
基礎形状寸法B	基礎の形状寸法の橋軸方向を記入する	数値	4	1	m
杭径	杭基礎の場合は杭径を、鋼管ウエル基礎の場合は鋼管ウエル	数値	3	1	m
杭本数	杭基礎の場合は杭本数(1基当りの杭本数)、鋼管ウエルの場合	数値	3	0	
杭長	杭基礎の杭長を記入	数値	5	1	m
躯体基部形状寸法A	躯体の形状寸法の橋軸直角方向を記入する	数値	5	1	m
躯体基部形状寸法B	躯体の形状寸法の橋軸方向を記入する	数値	5	1	m
塗装年月日	該当する下部工躯体の新設時の塗装年月日(年は西暦)	数値	8	0	
プライマー下塗塗料C	下部工躯体の新設時でのプライマー及び下塗り塗料	文字	2		コード
中塗塗料C	下部工躯体の新設時での中塗り塗料	文字	2		コード
上塗塗料C	下部工躯体の新設時での上塗り塗料	文字	2		コード
塗装方法C	下部工躯体の新設時の塗装方法	文字	1		コード
工場塗装面積	下部工躯体の工場塗装面積	数値	6	1	m ²
本体塗装面積	下部工躯体の本体塗装面積	数値	6	1	m ²
塗装色	代表的な塗装色を表す。使用するコードは日本塗装工業会の	文字	9		
塗装会社	塗装会社名(10文字以内)	文字	20		
PC鋼材材質C	PC鋼材の材質を表す	文字	2		コード
PC鋼材緊張工法C	PC鋼材の緊張工法を表す	文字	2		コード
躯体コンクリート強度	下部工躯体のコンクリート強度(σ ck)	数値	3	0	kgf/cm ²
基礎コンクリート強度	基礎のコンクリート強度(σ ck)	数値	3	0	kgf/cm ²
設計震度地盤区分C	設計震度の地盤区分を表す	文字	1		コード
設計震度	設計震度を記入	数値	3	2	
K値	K値を記入	数値	3	1	kgf/cm ³
支持力	支持力を記入	数値	5	0	
支持層N値	支持層のN値を記入	数値	2	0	

(19) D027 橋側歩道橋径間

項目名	定義	データ表現	文字数		単位
			全体	小数	
径間番号	起点側から付した通し番号	文字	2		
径間分割番号	径間分割番号を表す。	文字	1		
支間番号	径間内で付した通し番号のうち該当する支間番号	文字	1		
支間長	上部工の支間長(径間長)	数値	6	3	m
起点側支承種類C	該当する支間の起点側の支承構造(支承及び落橋防止構造の	文字	2		コード
起点側落橋防止1C	落橋防止構造の種類	文字	1		コード
起点側落橋防止2C	落橋防止構造の種類	文字	1		コード
起点側落橋防止3C	落橋防止構造の種類	文字	1		コード
終点側支承種類C	該当する支間の終点側の支承構造(支承及び落橋防止構造の	文字	2		コード
終点側落橋防止1C	落橋防止構造の種類	文字	1		コード
終点側落橋防止2C	落橋防止構造の種類	文字	1		コード
終点側落橋防止3C	落橋防止構造の種類	文字	1		コード
起点側躯体番号1	該当する径間に対する下部工の起点側躯体番号	文字	3		
起点側躯体番号2	該当する径間に対する下部工の起点側躯体番号	文字	3		
終点側躯体番号1	該当する径間に対する下部工の終点側躯体番号	文字	3		
終点側躯体番号2	該当する径間に対する下部工の終点側躯体番号	文字	3		

(20) D029 橋側歩道橋塗装歴

項目名	定義	データ表現	文字数		単位
			全体	小数	
径間又は躯体番号	上部工の場合、橋梁分割毎の径間番号と径間分割番号。	文字	3		
上下部工区分C	上・下部工に関するデータの作成区分	文字	1		コード
塗装年月日	再塗装を行った年月日(年は西暦)	数値	8	0	
プライマー下塗料C	プライマー及び下塗り塗料を表す。	文字	2		コード
中塗料C	中塗り塗料を表す。	文字	2		コード
上塗料C	上塗り塗料を表す。	文字	2		コード
塗装方法C	塗装方法を表す	文字	1		コード
本体塗装面積	本体に対する再塗装面積	数値	6	1	m ²
高欄塗装面積	高欄に対する再塗装面積	数値	6	1	m ²
塗装色	代表的な塗装色を表す。使用するコードは日本塗装工業会の	文字	9		
備考	特記事項があれば50文字以内の日本語で記入	文字	100		

(21) D02A 橋側歩道橋補修歴

項目名	定義	データ表現	文字数		単位
			全体	小数	
径間又は躯体番号	上部工の場合、橋梁分割毎の径間番号と径間分割番号。(伸縮	文字	3		
上下部工区分C	上・下部工に関するデータの作成区分を表す	文字	1		コード
補修改良年月日	補修または改良を行った年月日(年は西暦)	数値	8	0	
補修改良区分C	補修または改良に関するデータ作成区分	文字	1		コード
主な補修改良内容C	補修の内容場合、代表的な補修内容。 改良の場合、代表的な改良内容。	文字	4		コード
床版補修補強面積	床版の補修・補強を行った場合について、該当する径間にお	数値	6	1	m ²
前回補修年月日	前回保守を行った年月日(再補修の場合のみ)(年は西暦)	数値	8	0	
施工会社	施工会社名を10文字以内の日本語で記入	文字	20		
備考	特記事項があれば50文字以内の日本語で記入	文字	100		

(22) D02D 橋側歩道橋点検補修

項目名	定義	データ表現	文字数		単位
			全体	小数	
径間番号	起点側から付した通し番号	文字	2		
径間分割番号	径間分割番号を表す。	文字	1		
部材区分C	部材区分コード	文字	2		コード
部材番号	橋梁点検要領(案)に基づく部材番号※ ※定期点検調書の部材番号図(発注者から貸与)参照	文字	4		
補修年月日	補修または改良を行った年月日(年は西暦)	数値	8	0	
補修補強内容C	補修補強工法	文字	3		コード

(23) D030 橋断歩道橋基本

項目名	定義	データ表現	文字数		単位
			全体	小数	
路線	該当する路線を表す。	文字	4		
現旧区分C	該当する路線の現旧区分を表す。	文字	1		コード
名称	横断歩道橋名称を表す。(10文字以内の日本語(漢字、ひらが	文字	20		
百米標自	該当する区間の距離標(百米標)を表す。	数値	4	1	Km
距離自	該当する区間の距離標(百米標)からの距離を表す。	数値	4	0	m
百米標至	該当する区間の距離標(百米標)を表す。	数値	4	1	Km
距離至	該当する区間の距離標(百米標)からの距離を表す。	数値	4	0	m
所在地	該当する区間の所在地(字番地まで)(30文字以内)	文字	60		
施設完成年度	施設が完成した年度。(年は西暦)	数値	4	0	
施設改修年度	施設を改修した年度。(年は西暦)	数値	4	0	
歩道橋種別C	歩道橋種別区分を表す。	文字	1		コード
昇降形式C	代表的な昇降形式区分を表す。	文字	1		コード
上部工構造形式C	代表的な上部工構造形式を表す。	文字	2		コード
上部工材料C	上部工(床版を除く)の使用材料を表す。	文字	1		コード
床版材料C	上部工のうち代表的な床版の使用材料を表す。	文字	1		コード
下部工形式C	代表的な下部工(躯体)形式を表す。	文字	2		コード
基礎形式C	代表的な基礎形式を表す。	文字	2		コード
敷地協定有無C	敷地協定の有無を表す	文字	1		コード
完成年次	完成年次を表す。(年は西暦)	数値	4	0	
橋長	桁端間の距離	数値	4	1	m
最大支間長	1橋の中で最大の支間長を記入	数値	4	1	m
径間数	1橋を構成している径間数を記入	数値	2	0	
桁下高	歩道橋の桁下から路面までの高さの最小高	数値	3	1	m
幅員	昇降部分を省く橋面部の幅員地覆がある場合には地覆内間	数値	3	1	m
橋面積	幅員×橋長の値を橋面積として記入	数値	4	1	m ²
適用示方書C	設計で主に用いた代表的な示方書類。	文字	2		コード
設計震度	設計震度(Kh)を記入	数値	3	2	
排水形式C	排水形式を表す	文字	1		コード
本体塗装面積	横断歩道橋の本体塗装面積	数値	6	1	m ²
高欄塗装面積	横断歩道橋の高欄塗装面積	数値	6	1	m ²
現場塗装面積	横断歩道橋の現場塗装面積	数値	6	1	m ²
塗装色	代表的な塗装色を表す。使用するコードは日本塗装工業会の	文字	9		
高欄材質構造形式C	高欄または防護柵の材質および構造形式を表す	文字	2		コード
高欄高さ	高欄または防護柵の橋面上からの高さ	数値	3	2	m
舗装種別C	横断歩道橋の橋面部の舗装種別を表す	文字	1		コード
舗装厚さ	横断歩道橋の橋面部の舗装面積を記入	数値	2	0	cm
舗装面積	横断歩道橋の橋面部の舗装厚を記入	数値	5	1	m ²
落橋防止施設有無aC	支承の移動制限装置の有無を表す	文字	1		コード
落橋防止施設有無bC	けた端から下部構造頂部縁端までのけたの長さの確保の有無を	文字	1		コード
落橋防止施設有無cC	けたと下部構造を連結する構造の有無を表す	文字	1		コード
落橋防止施設有無dC	けた又は下部構造に突起を設けているかの有無を表す	文字	1		コード
落橋防止施設有無eC	2連のけたを相互に連結する構造の有無を表す	文字	1		コード
上屋有無C	横断歩道橋の上屋の有無を表す。	文字	1		コード
手すりC	安全施設として手すりの有無を表す	文字	1		コード

項目名	定義	データ表現	文字数		単位
			全体	小数	
すべり止めC	安全施設としてすべり止めの有無を表す	文字	1		コード
目かくし板C	安全施設として目かくし板の有無を表す	文字	1		コード
身障者用施設C	安全施設として身障者用施設の有無を表す	文字	1		コード
防犯施設C	安全施設として防犯施設の有無を表す	文字	1		コード
エスカレータ有無C	エスカレータの有無を表す。	文字	1		コード
エスカレータ基数	エスカレータがある場合の、エスカレータの基数を表す。	数値	2	0	
エスカレータ占用別C	エスカレータがある場合の、エスカレータの占用別を表す。	文字	1		コード
エレベータ有無C	エレベーターの有無を表す。	文字	1		コード
エレベータ基数	エレベーターがある場合の、エレベーターの基数を表す。	数値	2	0	
エレベータ占用別C	エレベーターがある場合の、エレベーターの占用別を表す。	文字	1		コード
広場有無C	広場の有無を表す	文字	1		コード
上屋占用物件別C	上屋施設がある場合の、上屋の占用別。	文字	1		コード
照明有無C	照明の有無を表す	文字	1		コード
ロードヒート有無C	該当する区間のロードヒーティングの有無を表す	文字	1		コード
消雪パイプ有無C	該当する区間の消雪パイプの有無を表す	文字	1		コード
備考	特記事項があれば50文字以内の日本語で記入	文字	100		
市区町村自C	該当する区間の始点側の市区町村名。使用するコードは「全国	文字	5		コード
市区町村至C	該当する区間の終点側の市区町村名。使用するコードは「全国	文字	5		コード

(24) D032 横断歩道橋塗装歴

項目名	定義	データ表現	文字数		単位
			全体	小数	
上下部区分C	上・下部工に関するデータの作成区分を表す	文字	1		コード
塗装年月	再塗装を行った年月(年は西暦)	数値	6	0	
下塗塗料C	プライマー及び下塗り塗料を表す。	文字	2		コード
中塗塗料C	中塗り塗料を表す。	文字	2		コード
上塗塗料C	上塗り塗料を表す。	文字	2		コード
本体塗装面積	本体に対する再塗装面積	数値	5	0	m ²
高欄塗装面積	高欄、防護柵に対する再塗装面積	数値	5	0	m ²
塗装色	代表的な塗装色を表す。使用するコードは日本塗装工業会の定めるコード。	文字	9		
塗装会社	塗装会社名を10文字以内の日本語で記入する	文字	20		

(25) D033 横断歩道橋補修歴

項目名	定義	データ表現	文字数		単位
			全体	小数	
補修年月	補修年月を表す。(年は西暦)	数値	6	0	
補修内容C	補修内容を表す	文字	3		コード
備考	損傷原因等について50文字以内の日本語で記入	文字	100		

(26) D040 トンネル基本

項目名	定義	データ表現	文字数		単位
			全体	小数	
路線	該当する路線を表す。	文字	4		
現旧区分C	該当する路線の現旧区分を表す。	文字	1		コード
分割区分C	該当するトンネルの分割区分。	文字	1		コード
名称	トンネル名称を表す。(10文字以内の日本語(漢字、ひらがな、カタカナ、英数字))	文字	20		
百米標目	該当する区間の距離標(百米標)を表す。	数値	4	1	Km
距離自	該当する区間の距離標(百米標)からの距離を表す。	数値	4	0	m
百米標至	該当する区間の距離標(百米標)を表す。	数値	4	1	Km
距離至	該当する区間の距離標(百米標)からの距離を表す。	数値	4	0	m
施設完成年度	施設が完成した年度。(年は西暦)	数値	4	0	
施設改修年度	施設を改修した年度。(年は西暦)	数値	4	0	
一般有料区分C	一般・有料の別を表す。	文字	1		コード
トンネル分類C	トンネルの分類を表す。	文字	1		コード
完成年次	完成年次を表す。(年は西暦)	数値	4	0	
トンネル延長	坑門(入口)から坑門(出口)までのトンネル延長	数値	6	1	m
建築限界高	トンネルの内空断面の建築限界高	数値	4	2	m
中央高	トンネルの内空断面の中央高	数値	4	2	m
有効高	トンネルの内空断面の有効高(車道端からの鉛直線が壁面また	数値	4	2	m
トンネル等級C	トンネル等級区分を表す。	文字	1		コード
壁面種類C	壁面種類を表す。	文字	1		コード
起点坑門形式C	トンネル出入口に設けられる起点側の坑門形式について表す	文字	1		コード
起点坑門延長	トンネル出入口に設けられる起点側の坑門の延長を記入	数値	3	1	m
終点坑門形式C	トンネル出入口に設けられる終点側の坑門形式について表す	文字	1		コード
終点坑門延長	トンネル出入口に設けられる終点側の坑門の延長を記入	数値	3	1	m
アーチ巻厚	アーチ部の設計最小覆工巻厚を記入	数値	3	0	cm
側壁巻厚	側壁部の設計最小覆工巻厚を表す。	数値	3	0	cm
インバート巻厚	インバート部の設計最小覆工巻厚を記入	数値	3	0	cm
アーチ半径	アーチ部の半径を表す。	数値	5	0	cm
換気種類C	トンネル内の換気種別を表す。	文字	1		コード
換気方式C	強制(機械)換気の場合の換気方式を表す。	文字	1		コード
換気台数	強制(機械)換気の場合の換気機械の所要台数	数値	2	0	
排水種別C	トンネル内の排水種別を表す。	文字	2		コード
構造形式種別C	構造形式種別を表す。	文字	1		コード
山岳都市型別C	山岳・都市型の別について表す	文字	1		コード
電話個数	電話施設が設置されている場合のその個数(箇所数)	数値	3	0	
押ボタン個数	押ボタン施設が設置されている場合のその個数(箇所数)	数値	3	0	
火災検知個数	火災検知施設が設置されている場合のその個数(箇所数)	数値	3	0	
警報表示個数	警報表示施設が設置されている場合のその個数(箇所数)	数値	3	0	
点滅灯個数	点滅灯施設が設置されている場合のその個数(箇所数)	数値	3	0	
音信号個数	音信号施設が設置されている場合のその個数(箇所数)	数値	3	0	
誘導表示個数	誘導表示施設が設置されている場合のその個数(箇所数)	数値	3	0	
排煙個数	排煙施設が設置されている場合のその個数(箇所数)	数値	3	0	

項目名	定義	データ表現	文字数		単位
			全体	小数	
避難通路個数	避難通路施設が設置されている場合のその個数(箇所数)	数値	3	0	
消火栓個数	消火栓施設が設置されている場合のその個数(箇所数)	数値	3	0	
消火器個数	消火器施設が設置されている場合のその個数(箇所数)	数値	3	0	
給水栓個数	給水栓施設が設置されている場合のその個数(箇所数)	数値	3	0	
無線通信個数	無線通信施設が設置されている場合のその個数(箇所数)	数値	3	0	
再放送個数	再放送施設が設置されている場合のその個数(箇所数)	数値	3	0	
拡声放送個数	拡声放送施設が設置されている場合のその個数(箇所数)	数値	3	0	
水噴霧個数	水噴霧施設が設置されている場合のその個数(箇所数)	数値	3	0	
ITV個数	ITV施設が設置されている場合のその個数(箇所数)	数値	3	0	
非常用電源設備個数	非常用電源設備施設が設置されている場合のその個数(箇所)	数値	3	0	
非常駐車帯個数	非常駐車帯施設が設置されている場合のその個数(箇所数)	数値	3	0	
方向転換個数	方向転換施設が設置されている場合のその個数(箇所数)	数値	3	0	
自動通報装置個数	自動通報装置施設が設置されている場合のその個数(箇所数)	数値	3	0	
市区町村目C	トンネルの起点側の市区町村名。使用するコードは「全国市町村要覧」の「都道府県市区町村コード」	文字	5		コード
所在地目	該当する区間の起点側の所在地(字番地まで)(30文字以内)	文字	60		
市区町村至C	トンネルの終点側の市区町村名。使用するコードは「全国市町村要覧」の「都道府県市区町村コード」	文字	5		コード
所在地至	該当する区間の終点側の所在地(字番地まで)(30文字以内)	文字	60		
他域延長	トンネルが市区町村界(都道府県界と重複している場合も同様)に設けられている場合の、他の市区町村域に於ける延長。	数値	5	0	m
現旧区分C	トンネルの現況区分を表す。	文字	1		コード
道路幅	道路幅員(車道、路肩及び歩道等を加えた幅員)	数値	4	2	m
車道幅	左側車道幅、右側車道幅をプラスした車道部幅員	数値	4	2	m
歩道等幅	左側歩道幅、右側歩道幅をプラスした車道部幅員	数値	4	2	m
左側歩道幅	トンネル内の起点から見て左側の歩道等幅員(車道部と併設し)	数値	4	2	m
左側路肩幅	トンネル内の起点から見て左側の路肩幅	数値	4	2	m
左側車道幅	トンネル内の起点から見て左側の車道幅員車道幅員が明確でない場合は、車道と同一平面の路肩部分として片側25cmを車道復員より差し引いたもの。	数値	4	2	m
中央帯	トンネル内の中央帯の幅員	数値	4	2	m
中央分離帯	トンネル内の中央分離帯の幅員	数値	4	2	m
右側車道幅	トンネル内の起点から見て右側の車道幅員車道幅員が明確で	数値	4	2	m
右側路肩幅	トンネル内の起点から見て右側の路肩幅	数値	4	2	m
右側歩道幅	トンネル内の起点から見て右側の歩道等幅員(車道部と併設し)	数値	4	2	m
通行制限内容	トンネル内に通行制限がある場合、その制限内容を25文字以内	文字	50		
縦断勾配符号C	トンネル内の最急縦断勾配の符号を表す	文字	1		コード
縦断勾配	トンネル内の最急縦断勾配を記入する	数値	3	1	%
直線区間長	トンネル内の直線区間のべ延長を記入	数値	5	1	m
曲線区間長	トンネル内の曲線区間のべ延長を記入(曲線区間が複数個存	数値	5	1	m
始点側クロナイド	トンネル内の区間にクロナイド曲線が含まれる場合、始点側のク	数値	6	1	m
曲線半径	トンネル内の区間に単曲線が含まれる場合、曲線半径(R)を記	数値	6	1	m
終点側クロナイド	トンネル内の区間にクロナイド曲線が含まれる場合、終点側のク	数値	6	1	m
舗装種別C	トンネル内の舗装種別を表す。歩道と車道を併設されている場	文字	1		コード
舗装厚	トンネル内の舗装厚(路床面から路面までの厚さ)を記入	数値	3	2	m
舗装面積	トンネル内の舗装面積を記入	数値	6	1	m ²
照明有無C	トンネル内の照明の有無を表す。	文字	1		コード
ロードヒート有無C	トンネル内及び出入口のロードヒーティングの有無を表す。	文字	1		コード
備考1	特記事項について50文字以内の日本語で記入	文字	100		
備考2	特記事項について50文字以内の日本語で記入	文字	100		

(27) D042 トンネル補修歴

項目名	定義	データ表現	文字数		単位
			全体	小数	
補修年月	補修年月を表す。(年は西暦)	数値	6	0	
補修内容C	補修の内容を表す	文字	3		コード
備考	損傷原因等について50文字以内の日本語で記入	文字	100		

(28) D043 トンネル占用物

項目名	定義	データ表現	文字数		単位
			全体	小数	
占用物件種別C	占用物件種別について表す	文字	2		コード
寸法	・電力及び電話については、条数と段数を記入	数値	4	0	
管理者名	占用物件の管理者名を、10文字以内の日本語で記入	文字	20		

(29) D050 洞門基本

項目名	定義	データ表現	文字数		単位
			全体	小数	
路線	該当する路線を表す。	文字	4		
現旧区分C	該当する路線の現旧区分を表す。	文字	1		コード
名称	洞門名称を表す。(10文字以内の日本語(漢字、ひらがな、カタ	文字	20		
百米標目	該当する区間の距離標(百米標)を表す。	数値	4	1	Km
距離目	該当する区間の距離標(百米標)からの距離を表す。	数値	4	0	m
百米標至	該当する区間の距離標(百米標)を表す。	数値	4	1	Km
距離至	該当する区間の距離標(百米標)からの距離を表す。	数値	4	0	m
施設完成年度	施設が完成した年度。(年は西暦)	数値	4	0	
施設改修年度	施設を改修した年度。(年は西暦)	数値	4	0	
上り下り区分C	上下区分を表す。	文字	1		コード
所在地目	該当する区間の起点側の所在地(字番地まで)(30文字以内)	文字	60		
所在地至	該当する区間の終点側の所在地(字番地まで)(30文字以内)	文字	60		
構造形式区分C	構造形式を表す	文字	2		コード
使用材料C	使用材料を表す	文字	1		コード
雪荷重C	設計において雪荷重を対象としたかを表す	文字	1		コード
落石荷重C	設計において落石荷重を対象としたかを表す	文字	1		コード

項目名	定義	データ表現	文字数		単位
			全体	小数	
土砂荷重C	設計において土砂荷重を対象としたかを表す	文字	1		コード
その他荷重C	設計においてその他荷重を対象としたかを表す	文字	1		コード
完成年月	洞門が完成した年月。(年は西暦)	数値	6	0	
延長	洞門の延長(道路中心線上の延長)	数値	5	1	m
建築限界高	洞門の内空建築限界高	数値	4	2	m
有効高	洞門の内空有効高(車道端から鉛直線が壁面または天井板と交	数値	4	2	m
屋根材料C	屋根の材料を表す	文字	1		コード
屋根形状C	屋根の形状を表す	文字	2		コード
緩衝材種類C	緩衝材の種類を表す	文字	2		コード
緩衝材厚さ	緩衝材の厚さを記入	数値	3	0	cm
道路幅	洞門内の道路部幅員(車道、路肩及び歩道等を加えた幅員)	数値	4	2	m
車道幅	左側車道幅、右側車道幅をプラスした車道部幅員	数値	4	2	m
歩道幅	左側歩道幅、右側歩道幅をプラスした車道部幅員	数値	4	2	m
左側歩道幅	洞門内の起点から見て左側の歩道等幅員(車道部と併設してある歩道、歩道+自転車および自転車歩行者道の幅員)	数値	4	2	m
左側路肩幅	洞門内の起点から見て左側の路肩幅	数値	4	2	m
左側車道幅	洞門内の起点から見て左側の車道幅員が明確でない場合は、車道と同一平面の路肩部分として片側25cmを車道幅員より差し引いたもの。	数値	4	2	m
中央帯	洞門内の中央帯の幅員	数値	4	2	m
中央分離帯	洞門内の中央分離帯の幅員	数値	4	2	m
右側車道幅	洞門内の起点から見て右側の車道幅員が明確でない	数値	4	2	m
右側路肩幅	洞門内の起点から見て右側の路肩幅	数値	4	2	m
右側歩道幅	洞門内の起点から見て右側の歩道等幅員(車道部と併設してあ	数値	4	2	m
舗装種別C	洞門内の舗装種別を表す。歩道と車道を併設されている場合は	文字	1		
舗装厚さ	洞門内の舗装厚(路床面から路面までの厚さ)を記入	数値	3	2	
舗装面積	洞門内の舗装面積を記入	数値	6	1	
照明有無C	洞門内の照明の有無を表す。	文字	1		
ロードヒート有無C	洞門内及び出入口のロードヒーティングの有無を表す。	文字	1		
スノーシェッド併用C	洞門のスノーシェッドとの併用・単独の別を表す	文字	1		コード
備考1	特記事項について50文字以内の日本語で記入	文字	100		
備考2	特記事項について50文字以内の日本語で記入	文字	100		
市区町村自C	該当する区間の始点側の市区町村名。使用するコードは「全国市町村要覧」の「都道府県市区町村コード」	文字	5		コード
市区町村至C	該当する区間の終点側の市区町村名。使用するコードは「全国市町村要覧」の「都道府県市区町村コード」	文字	5		コード

(30) D052 洞門補修歴

項目名	定義	データ表現	文字数		単位
			全体	小数	
補修年月	補修年月を表す。(年は西暦)	数値	6	0	
補修内容C	補修の内容について表す	文字	3		コード
備考	損傷原因等について50文字以内の日本語で記入	文字	100		

(31) D053 洞門占用物

項目名	定義	データ表現	文字数		単位
			全体	小数	
占用物件種別C	占用物件種別について表す	文字	2		
寸法	・電力及び電話については、条数と段数を記入	数値	4	0	
管理者名	占用物件の管理者名を、10文字以内の日本語で記入	文字	20		

(32) D060 スノーシェッド基本

項目名	定義	データ表現	文字数		単位
			全体	小数	
路線	該当する路線を表す。	文字	4		
現旧区分C	該当する路線の現旧区分を表す。	文字	1		コード
名称	該当するスノーシェッドの名称(10文字以内の日本語(漢字、ひ	文字	20		
百米標自	該当する区間の距離標(百米標)を表す。	数値	4	1	Km
距離自	該当する区間の距離標(百米標)からの距離を表す。	数値	4	0	m
百米標至	該当する区間の距離標(百米標)を表す。	数値	4	1	Km
距離至	該当する区間の距離標(百米標)からの距離を表す。	数値	4	0	m
施設完成年度	施設が完成した年度。(年は西暦)	数値	4	0	
施設改修年度	施設を改修した年度。(年は西暦)	数値	4	0	
上り下り区分C	上下区分を表す。	文字	1		コード
所在地自	該当する区間の起点側の所在地(字番地まで)(30文字以内)	文字	60		
所在地至	該当する区間の終点側の所在地(字番地まで)(30文字以内)	文字	60		
構造形式区分C	構造形式を表す	文字	2		コード
使用材料C	使用材料を表す	文字	1		コード
雪荷重C	設計において雪荷重を対象としたかを表す	文字	1		コード
落石荷重C	設計において落石荷重を対象としたかを表す	文字	1		コード
土砂荷重C	設計において土砂荷重を対象としたかを表す	文字	1		コード
その他荷重C	設計においてその他荷重を対象としたかを表す	文字	1		コード
完成年月	スノーシェッドが完成した年月。(年は西暦)	数値	6	0	
延長	スノーシェッドの延長(道路中心線上の延長)	数値	5	1	m
建築限界高	スノーシェッドの内空建築限界高	数値	3	2	m
有効高	スノーシェッドの内空有効高(車道端から鉛直線が壁面または天井板と交わるまでの高さ)	数値	3	2	m
屋根材料C	屋根の材料を表す	文字	1		コード
屋根形状C	屋根の形状を表す	文字	2		コード
緩衝材種類C	緩衝材の種類を表す	文字	2		コード
緩衝材厚さ	緩衝材の厚さを記入	数値	3	0	cm
道路幅	スノーシェッド内の道路部幅員(車道、路肩及び歩道等を加えた	数値	4	2	m
車道幅	左側車道幅、右側車道幅をプラスした車道部幅員	数値	4	2	m
歩道幅	左側歩道幅、右側歩道幅をプラスした車道部幅員	数値	4	2	m
左側歩道幅	スノーシェッド内の起点から見て左側の歩道等幅員(車道部と併	数値	4	2	m

項目名	定義	データ表現	文字数		単位
			全体	小数	
左側路肩幅	スノーシェッド内の起点から見て左側の路肩幅	数値	4	2	m
左側車道幅	スノーシェッド内の起点から見て左側の車道幅員車道幅員が明	数値	4	2	m
中央帯	スノーシェッド内の中央帯の幅員	数値	4	2	m
中央分離帯	スノーシェッド内の中央分離帯の幅員	数値	4	2	m
右側車道幅	スノーシェッド内の起点から見て右側の車道幅員車道幅員が明	数値	4	2	m
右側路肩幅	スノーシェッド内の起点から見て右側の路肩幅	数値	4	2	m
右側歩道幅	スノーシェッド内の起点から見て右側の歩道等幅員(車道部と併	数値	4	2	m
舗装種別C	スノーシェッド内の舗装種別を表す。歩道と車道を併設されてい	文字	1		コード
舗装厚さ	スノーシェッド内の舗装厚(路床面から路面までの厚さ)を記入	数値	3	2	m
舗装面積	スノーシェッド内の舗装厚(路床面から路面までの厚さ)を記入	数値	6	1	m ²
照明有無C	スノーシェッド内の照明の有無を表す。	文字	1		コード
ロードヒート有無C	スノーシェッド内及び出入口のロードヒーティングの有無を表す。	文字	1		コード
洞門併用C	スノーシェッドが洞門との併用・単独の別を表す	文字	1		コード
備考1	特記事項について50文字以内の日本語で記入	文字	100		
備考2	特記事項について50文字以内の日本語で記入	文字	100		
市区町村自C	該当する区間の始点側の市区町村名。使用するコードは「全国	文字	5		コード
市区町村至C	該当する区間の終点側の市区町村名。使用するコードは「全国	文字	5		コード

(33) D062 スノーシェッド補修歴

項目名	定義	データ表現	文字数		単位
			全体	小数	
補修年月	補修年月を表す。(年は西暦)	数値	6	0	
補修内容C	補修の内容を表す	文字	3		コード
備考	損傷原因等について50文字以内の日本語で記入	文字	100		

(34) D063 スノーシェッド占有物

項目名	定義	データ表現	文字数		単位
			全体	小数	
占有物件種別C	占有物件種別について表す	文字	2		コード
寸法	・電力及び電話については、条数と段数を記入	数値	4	0	
管理者名	占有物件の管理者名を、10文字以内の日本語で記入	文字	20		

(35) D070 地下横断歩道基本

項目名	定義	データ表現	文字数		単位
			全体	小数	
路線	該当する路線を表す。	文字	4		
現旧区分C	該当する路線の現旧区分を表す。	文字	1		コード
名称	地下横断歩道名称を表す。(10文字以内の日本語(漢字、ひらがな、カタカナ、英数字))	文字	20		
百米標自	該当する区間の距離標(百米標)を表す。	数値	4	1	Km
距離自	該当する区間の距離標(百米標)からの距離を表す。	数値	4	0	m
百米標至	該当する区間の距離標(百米標)を表す。	数値	4	1	Km
距離至	該当する区間の距離標(百米標)からの距離を表す。	数値	4	0	m
施設完成年度	施設が完成した年度。(年は西暦)	数値	4	0	
施設改修年度	施設を改修した年度。(年は西暦)	数値	4	0	
上下り区分C	上下区分を表す。	文字	1		コード
所在地	該当する区間の地下横断歩道の所在地(字番地まで)(30文字	文字	60		
地下歩道種別C	地下歩道種別を表す	文字	1		コード
昇降形式C	代表的な昇降形式を表す。	文字	1		コード
完成年次	完成年次を表す。(年は西暦)	数値	4	0	
延長	地下横断歩道の出入口から出入口までの水平面上の水平距離	数値	4	1	m
内空幅	内空寸法の幅	数値	4	2	m
内空高	内空寸法の高さ(路面より天井まで)	数値	2	1	m
最小十被り	該当する区間の最小十被りを記入	数値	3	1	m
基礎種別C	代表的な地下横断歩道の基礎種類	文字	2		コード
舗装種別C	地下横断歩道の舗装種別を表す	文字	1		コード
舗装厚	地下横断歩道の舗装面積を記入	数値	2	0	cm
舗装面積	地下横断歩道の舗装厚を記入	数値	6	0	m ²
内壁種別C	内壁種別を表す	文字	1		コード
換気種別C	地下横断歩道内の換気種別を表す。	文字	1		コード
換気方式C	強制(機械)換気の場合の換気方式を表す。	文字	1		コード
換気台数	強制(機械)換気の場合の換気機械の所要台数	数値	2	0	
排水方式C	地下横断歩道内の排水種別を表す。	文字	2		コード
排水ポンプ台数	地下横断歩道内に排水ポンプが設置されている場合、その全台	数値	2	0	
手すりC	安全施設として手すりの有無を表す	文字	1		コード
すべり止めC	安全施設としてすべり止めの有無を表す	文字	1		コード
身障者用施設C	安全施設として身障者用施設の有無を表す	文字	1		コード
防犯施設C	安全施設として防犯施設の有無を表す	文字	1		コード
その他安全施設C	安全施設としてその他施設の有無を表す	文字	1		コード
エスカレータ有無C	エスカレーターの有無を表す。	文字	1		コード
エスカレータ基数	エスカレーターがある場合の、エスカレーターの基数を表す。	数値	1	0	
エスカレータ占用別C	エスカレーターがある場合の、エスカレーターの占用別を表す。	文字	1		コード
エレベータ有無C	エレベーターの有無を表す。	文字	1		コード
エレベータ基数	エレベーターがある場合の、エレベーターの基数を表す。	数値	1	0	
エレベータ占用別C	エレベーターがある場合の、エレベーターの占用別を表す。	文字	1		コード
広場有無C	広場の有無を表す	文字	1		コード
噴水有無C	噴水の有無を表す	文字	1		コード
植樹有無C	植樹の有無を表す	文字	1		コード
照明有無C	照明の有無を表す	文字	1		コード
ロードヒート有無C	該当する区間のロードヒーティングの有無を表す	文字	1		コード
備考1	特記事項について50文字以内の日本語で記入	文字	100		
備考2	特記事項について50文字以内の日本語で記入	文字	100		
備考3	特記事項について50文字以内の日本語で記入	文字	100		
市区町村自C	該当する区間の始点側の市区町村名。使用するコードは「全国	文字	5		コード
市区町村至C	該当する区間の終点側の市区町村名。使用するコードは「全国	文字	5		コード

(36) D072 地下横断歩道補修歴

項目名	定義	データ表現	文字数		単位
			全体	小数	
補修年月	補修年月を表す。(年は西暦)	数値	6	0	
補修内容C	補修の内容を表す	文字	3		コード
備考	損傷原因等について50文字以内の日本語で記入	文字	100		

(37) D073 地下横断歩道占用物

項目名	定義	データ表現	文字数		単位
			全体	小数	
占用物件種別C	占用物件種別について表す	文字	2		コード
寸法	・電力及び電話については、条数と段数を記入 ・道路情報板、道路標識及びITVの場合は*を記入 ・その他の場合は公称径(φ)をmm単位で記入	数値	4	0	
管理者名	占用物件の管理者名を、10文字以内の日本語で記入	文字	20		

(38) D080 道路BOX基本

項目名	定義	データ表現	文字数		単位
			全体	小数	
路線	該当する路線を表す。	文字	4		
現旧区分C	該当する路線の現旧区分を表す。	文字	1		コード
名称	道路BOX名称を表す。(10文字以内の日本語(漢字、ひらがな))	文字	20		
百米標自	該当する区間の距離標(百米標)を表す。	数値	4	1	Km
距離自	該当する区間の距離標(百米標)からの距離を表す。	数値	4	0	m
百米標至	該当する区間の距離標(百米標)を表す。	数値	4	1	Km
距離至	該当する区間の距離標(百米標)からの距離を表す。	数値	4	0	m
施設完成年度	施設が完成した年度。(年は西暦)	数値	4	0	
施設改修年度	施設を改修した年度。(年は西暦)	数値	4	0	
完成年月	道路BOXが完成した年月。(年は西暦年)	数値	6	0	
上り下り区分C	上下区分を表す。	文字	1		コード
構造形式種別C	構造形式種別を表す。	文字	1		コード
延長	道路BOXの延長(構造物の道路中心の縦断方向の延長)	数値	6	1	m
道路部	道路BOXの道路部幅員(車道、路肩及び歩道等を加えた幅員)	数値	4	2	m
内空車道幅	左側車道幅、右側車道幅をプラスした車道部幅員	数値	4	2	m
内空歩道等幅	左側歩道幅、右側歩道幅をプラスした歩道等幅員	数値	4	2	m
左側歩道幅	道路BOXの起点から見て左側の内空歩道等幅員	数値	4	2	m
左側路肩幅	道路BOXの起点から見て左側の内空路肩幅	数値	4	2	m
左側車道幅	道路BOXの起点から見て左側の内空車道幅員	数値	4	2	m
中央帯	道路BOXの中央帯の幅員	数値	4	2	m
中央分離帯	道路BOXの中央分離帯の幅員	数値	4	2	m
右側車道幅	道路BOXの起点から見て右側の内空車道幅員	数値	4	2	m
右側路肩幅	道路BOXの起点から見て右側の内空路肩幅	数値	4	2	m
右側歩道幅	道路BOXの起点から見て右側の内空歩道等幅員	数値	4	2	m
中央高	内空断面の中央高2断面以上の内空断面を有する場合、代表的な断面。	数値	3	2	m
建築限界高	内空断面の建築限界高2断面以上の内空断面を有する場合、	数値	4	2	m
有効高	内空断面の有効高(車道端からの鉛直線が壁面または天井板と)	数値	4	2	m
最小土被り	最小土被りを記入	数値	3	1	
基礎種類C	代表的な基礎種類を表す。	文字	2		コード
換気種別C	道路BOX内の自然換気・強制換気の別を表す。	文字	1		コード
換気方式C	強制(機械)換気の場合の換気方式を表す。	文字	1		コード
換気台数	強制(機械)換気の場合の換気機械の所要台数	数値	2	0	
排水種別C	道路BOX内の排水種別を表す。	文字	2		
排水ポンプ台数	道路BOX内に排水ポンプが設置されている場合、その全台数	数値	2	0	
縦断勾配符号C	道路BOX内の最急縦断勾配の符号を表す	文字	1		コード
縦断勾配	道路BOX内の最急縦断勾配を記入する	数値	3	1	%
直線区間長	道路BOX内の直線区間ののべ延長を記入	数値	5	1	m
曲線区間長	道路BOX内の曲線区間ののべ延長を記入(曲線区間が複数個存在する場合には、最小曲線区間の部分について記入)	数値	5	1	m
始点側クロソイド	道路BOX内の区間にクロソイド曲線が含まれる場合、始点側のクロソイド曲線のパラメータA1を記入(曲線区間が複数個存在する場合には、最小曲線区間の部分について記入)	数値	6	1	m
曲線半径	道路BOX内の区間に単曲線が含まれる場合、曲線半径(R)を記入(曲線区間が複数個存在する場合には、最小曲線区間の部分について記入)	数値	6	1	m
終点側クロソイド	道路BOX内の区間にクロソイド曲線が含まれる場合、終点側のクロソイド曲線のパラメータA2を記入(曲線区間が複数個存在する場合には、最小曲線区間の部分について記入)	数値	6	1	m
舗装種別C	道路BOX内の舗装種別を表す。歩道と車道を併設されている場合は車道部。	文字	1		コード
舗装厚	道路BOX内の舗装厚(表層の厚さ)を記入	数値	2	0	cm
舗装面積	道路BOX内の舗装面積を記入する。	数値	6	0	m ³
照明有無C	道路BOX内の照明の有無を表す。	文字	1		コード
ロードヒート有無C	道路BOX内及び出入口のロードヒティングの有無を表す。	文字	1		コード
備考1	特記事項について50文字以内の日本語で記入	文字	100		
備考2	特記事項について50文字以内の日本語で記入	文字	100		
備考3	特記事項について50文字以内の日本語で記入	文字	100		
市区町村自C	該当する区間の始点側の市区町村名。使用するコードは「全国市町村要覧」の「都道府県市区町村コード」	文字	5		コード
市区町村至C	該当する区間の終点側の市区町村名。使用するコードは「全国	文字	5		コード

(39) D082 道路BOX補修歴

項目名	定義	データ表現	文字数		単位
			全体	小数	
補修年月	補修年月を表す。(年は西暦)	数値	6	0	
補修内容C	補修の内容を表す	文字	3		コード
備考	損傷原因等について50文字以内の日本語で記入	文字	100		

(40) D083 道路BOX占有物

項目名	定義	データ表現	文字数		単位
			全体	小数	
占有物件種別C	占有物件種別について表す	文字	2		コード
寸法	・電力及び電話については、条数と段数を記入 ・道路情報板、道路標識及びITVの場合は*を記入 ・その他の場合は公称径(φ)をmm単位で記入	数値	4	0	
管理者名	占有物件の管理者名を、10文字以内の日本語で記入	文字	20		

(41) D090 横断BOX基本

項目名	定義	データ表現	文字数		単位
			全体	小数	
路線	該当する路線を表す。	文字	4		
現旧区分C	該当する路線の現旧区分を表す。	文字	1		コード
名称	該当する横断BOX等の名称(10文字以内の日本語(漢字、ひらがな))	文字	20		
百米標	該当する区間の距離標(百米標)を表す。	数値	4	1	Km
距離	該当する区間の距離標(百米標)からの距離を表す。	数値	4	0	m
施設完成年度	施設が完成した年度。(年は西暦)	数値	4	0	
施設改修年度	施設を改修した年度。(年は西暦)	数値	4	0	
完成年月	横断BOX等が完成した年月。(年は西暦年)	数値	6	0	
上り下り区分C	上下区分を表す。	文字	1		コード
所在地	該当する区間の所在地(字番地まで)(30文字以内)	文字	60		
設置区分C	設置区分を表す。	文字	1		コード
構造形式種別C	構造形式種別を表す。	文字	1		コード
延長	横断BOX等の延長(構造物延長)	数値	5	1	m
内空幅	横断BOX等の内空寸法の幅(二連ボックス等のように2断面以上)	数値	4	2	m
内空高	横断BOX等の内空寸法の高さ(路面より天井まで)(二連ボックス等のように2断面以上の内空断面を有する横断BOX等の場合、代表的な断面)	数値	3	2	m
最大土被り	最大土被りを表す。	数値	3	1	m
最小土被り	最小土被りを表す。	数値	3	1	m
基礎種類C	代表的な横断BOX等の基礎の種類を表す。	文字	2		コード
舗装種別C	横断BOX等内の舗装種別を表す。歩道と車道を併設されている	文字	1		コード
舗装厚	横断BOX等内の舗装厚(表層の厚さ)を記入	数値	2	0	cm
舗装面積	横断BOX等内の舗装厚(路床面から路面までの厚さ)を記入	数値	6	0	m ³
照明有無C	道路BOX内の照明の有無を表す。	文字	1		コード
ロードヒート有無C	道路BOX内及び出入口のロードヒーティングの有無を表す。	文字	1		コード
備考1	特記事項について50文字以内の日本語で記入	文字	100		
備考2	特記事項について50文字以内の日本語で記入	文字	100		
備考3	特記事項について50文字以内の日本語で記入	文字	100		
市区町村C	該当する区間の市区町村名。使用するコードは「全国市町村要	文字	5		コード

(42) D100 パイプカルバート基本

項目名	定義	データ表現	文字数		単位
			全体	小数	
路線	該当する路線を表す。	文字	4		
現旧区分C	該当する路線の現旧区分を表す。	文字	1		コード
百米標自	該当する区間の距離標(百米標)を表す。	数値	4	1	Km
距離自	該当する区間の距離標(百米標)からの距離を表す。	数値	4	0	m
百米標至	該当する区間の距離標(百米標)を表す。	数値	4	1	Km
距離至	該当する区間の距離標(百米標)からの距離を表す。	数値	4	0	m
施設完成年度	施設が完成した年度。(年は西暦)	数値	4	0	
施設改修年度	施設を改修した年度。(年は西暦)	数値	4	0	
上り下り区分C	上下区分を表す。	文字	1		コード
設置区分C	設置区分を表す。	文字	1		コード
形式種別C	形式種別を表す。	文字	2		コード
使用用途C	使用用途を表す	文字	2		コード
管径	パイプカルバートの管径(公称径)	数値	4	0	mm
最大土被り	最大土被りを記入	数値	3	1	m
最小土被り	最小土被りを記入	数値	3	1	m
延長	パイプカルバートの延長	数値	4	1	m
構造区分C	パイプカルバートの材質を表す	文字	1		コード
基礎形式C	基礎形式を表す。複数ある場合は代表的なものを記入	文字	2		コード
備考	特記事項があれば50文字以内の日本語で記入	文字	100		

(43) D110 のり面基本

項目名	定義	データ表現	文字数		単位
			全体	小数	
路線	該当する路線を表す。	文字	4		
現旧区分C	該当する路線の現旧区分を表す。	文字	1		コード
名称	該当するのり面の名称(10文字以内の日本語(漢字、ひらがな、カタカナ))	文字	20		
百米標自	該当する区間の距離標(百米標)を表す。	数値	4	1	Km
距離自	該当する区間の距離標(百米標)からの距離を表す。	数値	4	0	m
百米標至	該当する区間の距離標(百米標)を表す。	数値	4	1	Km
距離至	該当する区間の距離標(百米標)からの距離を表す。	数値	4	0	m
市区町村自C	該当する区間の始点側の市区町村名。使用するコードは「全国	文字	5		コード
所在地自	該当する区間の起点側の所在地(字番地まで)(30文字以内)	文字	60		
市区町村至C	該当する区間の終点側の市区町村名。使用するコードは「全国市町村要覧」の「都道府県市区町村コード」	文字	5		コード

項目名	定義	データ表現	文字数		単位
			全体	小数	
所在地至	該当する区間の終点側の所在地(字番地まで)(30文字以内)	文字	60		
施設完成年度	施設が完成した年度。(年は西暦)	数値	4	0	
施設改修年度	施設を改修した年度。(年は西暦)	数値	4	0	
上り下り区分C	上下区分を表す	文字	1		コード
のり面斜面分類C	のり面斜面分類を表す	文字	1		コード
規制区間内外別C	通行規制区間内外の別を表す	文字	1		コード
のり面最大直高	該当するのり面・斜面区間内における最大直高を記入。のり尻構造物も含めた直高を記入	数値	3	0	m
のり面平均勾配	該当するのり面・斜面区間内におけるのり面の平均勾配(最下段～最頂)を記入	数値	3	2	
落石対策工種区分1C	該当するのり面・斜面区間内における既設ののり面保護工、落石対策工の工種を表す	文字	2		コード
落石対策工完成年月1	既設ののり面保護工、落石対策工の完成年月を記入(年は西暦)	数値	6	0	
落石対策工種区分2C	該当するのり面・斜面区間内における既設ののり面保護工、落石対策工の工種を表す	文字	2		コード
落石対策工完成年月2	既設ののり面保護工、落石対策工の完成年月を記入(年は西暦)	数値	6	0	
落石対策工種区分3C	該当するのり面・斜面区間内における既設ののり面保護工、落石対策工の工種を表す	文字	2		コード
落石対策工完成年月3	既設ののり面保護工、落石対策工の完成年月を記入(年は西暦)	数値	6	0	
表面排水工種区分1C	該当するのり面・斜面区間内におけるのり面排水工のうち表面排水工の工種を表す	文字	2		コード
表面排水工完成年月1	のり面・斜面内における表面排水工の完成年月を記入(年は西暦)	数値	6	0	
表面排水工種区分2C	該当するのり面・斜面区間内におけるのり面排水工のうち表面排水工の工種を表す	文字	2		コード
表面排水工完成年月2	のり面・斜面内における表面排水工の完成年月を記入(年は西暦)	数値	6	0	
地下排水工種区分1C	該当するのり面・斜面区間内におけるのり面排水工のうち地下排水工の工種を表す	文字	2		コード
地下排水工種区分2C	該当するのり面・斜面区間内におけるのり面排水工のうち地下排水工の工種を表す	文字	2		コード
地下排水工完成年月2	のり面・斜面内における地下排水工の完成年月を記入(年は西暦)	数値	6	0	
路面排水工種区分1C	該当するのり面・斜面区間内における路面排水工の工種を表す	文字	2		コード
路面排水工完成年月1	のり面・斜面内における路面排水工の完成年月を記入(年は西暦)	数値	6	0	
路面排水工種区分2C	該当するのり面・斜面区間内における路面排水工の工種を表す	文字	2		コード
路面排水工完成年月2	のり面・斜面内における路面排水工の完成年月を記入(年は西暦)	数値	6	0	
植生状況C	対象となるのり面・斜面の植生工の完成後の現状について表す	文字	1		コード
水状況C	対象となるのり面・斜面の湧水当の状況を総括的に判断した状況を表す	文字	1		コード
のり段数	対象となるのり面・斜面ののり面を構成しているのり段数を記入	数値	2	0	
1段目直高	のり面、最下段の直高を記入	数値	2	0	m
2段目直高	のり面、2段目の直高を記入	数値	2	0	m
3段目直高	のり面、3段目の直高を記入	数値	2	0	m
4段目直高	のり面、4段目の直高を記入	数値	2	0	m
5段目直高	のり面、5段目の直高を記入	数値	2	0	m
6段目直高	のり面、6段目の直高を記入	数値	2	0	m
7段目直高	のり面、7段目の直高を記入	数値	2	0	m
8段目直高	のり面、8段目の直高を記入	数値	2	0	m
9段目直高	のり面、9段目の直高を記入	数値	2	0	m
10段目直高	のり面、10段目の直高を記入	数値	2	0	m
備考	特記事項があれば50文字以内の日本語で記入	文字	100		

(44) D120 擁壁基本

項目名	定義	データ表現	文字数		単位
			全体	小数	
路線	該当する路線を表す。	文字	4		
現旧区分C	該当する路線の現旧区分を表す。	文字	1		コード
百米標目	該当する区間の距離標(百米標)を表す。	数値	4	1	Km
距離自	該当する区間の距離標(百米標)からの距離を表す。	数値	4	0	m
百米標至	該当する区間の距離標(百米標)を表す。	数値	4	1	Km
距離至	該当する区間の距離標(百米標)からの距離を表す。	数値	4	0	m
施設完成年度	施設が完成した年度。(年は西暦)	数値	4	0	
施設改修年度	施設を改修した年度。(年は西暦)	数値	4	0	
上り下り区分C	上下区分を表す。	文字	1		コード
設置区分C	擁壁の設置区分を表す。	文字	1		コード
構造形式C	構造形式を表す。	文字	2		コード
基礎形式C	代表的な基礎形式を表す。	文字	2		コード
擁壁延長	該当区間に設けられている擁壁の基礎天端でとられたのべ延長	数値	8	1	m
最大高	擁壁の高さの最大値高さが一定の場合、最大、最小値に同値	数値	3	1	m
最小高	擁壁の高さの最小値高さが一定の場合、最大、最小値に同値	数値	3	1	m
勾配	擁壁前面(天端とのり尻を結んだ)の勾配を記入。複数の勾配が	数値	3	2	
主要材料C	主要材料を表す	文字	2		コード
総段数	擁壁が階段状に設けられている場合の総段数	数値	1	0	
段目	擁壁が階段状に設けられている場合の該当する擁壁の段目(位置)を記入	数値	1	0	
備考	特記事項があれば50文字以内の日本語で記入	文字	100		

1.3 付属物および付帯施設

(1) E010 防護柵基本

項目名	定義	データ表現	文字数		単位
			全体	小数	
路線	該当する路線を表す。	文字	4		
現旧区分C	該当する路線の現旧区分を表す。	文字	1		コード
市区町村C	該当する区間の市区町村名。使用するコードは「全国市町村要覧」の「都道府県市区町村コード」行政境界線が管理者境界にあたる場合、該当道路の管理者側の地名。 行政境界線が同一管理区域内の境界にあたる場合、起点から終点に向かって左側の地名。	文字	5		コード
百米標自	該当する区間の距離標(百米標)を表す。	数値	4	1	Km
距離自	該当する区間の距離標(百米標)からの距離を表す。	数値	4	0	m
百米標至	該当する区間の距離標(百米標)を表す。	数値	4	1	Km
距離至	該当する区間の距離標(百米標)からの距離を表す。	数値	4	0	m
施設完成年度	施設が完成した年度。(年は西暦)	数値	4	0	
施設改修年度	施設を改修した年度。(年は西暦)	数値	4	0	
上り下り区分C	上下区分を表す。	文字	1		コード
設置箇所C	防護柵の設置箇所を表す。	文字	1		コード
防護柵種別C	防護柵種別を表す。	文字	3		コード
設置区分C	防護柵の設置区分を表す。	文字	1		コード
設置目的C	防護柵の設置目的を表す。	文字	2		コード
材質C	防護柵の材質を表す。	文字	1		コード
柵高	防護柵の高さを記入	数値	3	2	m
設置延長	該当する設置区間内のビームの端部を含むpのべ延長	数値	5	1	m
関連施設名称	設置箇所Cで指定した工種の施設名を10文字以内の日本語で記入	文字	20		コード
備考	特記事項があれば50文字以内の日本語で記入	文字	100		

(2) E020 道路照明基本

項目名	定義	データ表現	文字数		単位
			全体	小数	
路線	該当する路線を表す。	文字	4		
現旧区分C	該当する路線の現旧区分を表す。	文字	1		コード
百米標	該当する区間の距離標(百米標)を表す。	数値	4	1	Km
距離	該当する区間の距離標(百米標)からの距離を表す。	数値	4	0	m
施設完成年度	施設が完成した年度。(年は西暦)	数値	4	0	
施設改修年度	施設を改修した年度。(年は西暦)	数値	4	0	
完成年月	完成年月を表す。(年は西暦)	数値	6	0	
連続局部別C	連続・局部照明の別を表す。連続照明とは、ほぼ等間隔に設置されている照明で500m以上連続しているもの。	文字	1		コード
設置区分C	設置区分を表す。	文字	2		コード
設置箇所C	照明の設置箇所を表す。	文字	1		コード
灯具型式C	灯具形式を表す。	文字	2		コード
照明ポール型式C	照明ポール形式を表す。	文字	2		コード
基礎形式C	基礎形式を表す。	文字	1		コード
光源種別1C	光源種別を表す。	文字	1		コード
光源型式1	光源形式を表す。(10文字以内の英数字)	文字	10		
灯数1	照明の灯数を表す。	数値	4	0	
光源種別2C	道路照明の光源が複数の場合、2種類目の光源種別を表す。	文字	1		コード
光源型式2	道路照明の光源が複数の場合、2種類目の光源形式を表す。(10文字以内の英数字)	文字	10		
灯数2	道路照明の光源が複数の場合、2種類目の照明の灯数を表す。	数値	4	0	
光源種別3C	道路照明の光源が複数の場合、3種類目の光源種別を表す。	文字	1		コード
光源型式3	道路照明の光源が複数の場合、3種類目の光源形式を表す。(10文字以内の英数字)	文字	10		
灯数3	道路照明の光源が複数の場合、3種類目の照明の灯数を表す。	数値	4	0	
安定器型式C	安定器の型式を表す	文字	1		コード
点滅型式C	自動点滅器の型式区分を表す	文字	1		コード
表面塗装処理C	表面塗装区分を表す	文字	1		コード
引込方式C	引込方式を表す	文字	1		コード
分岐方式C	分岐方式を表す	文字	1		コード
新設移設別C	新設照明か移設された照明かを表す	文字	1		コード
連続照明区間認識番号	連続照明の場合にのみ同一の認識番号を記入	文字	8		
占用物件別C	該当する道路照明の占用物件の別を表す。	文字	1		コード
関連施設名称	設置区分Cで指定した工種の施設名を10文字以内の日本語で記入	文字	20		
電力契約種別C	電力契約種別を表す	文字	1		コード
備考	特記事項があれば50文字以内の日本語で記入	文字	100		
市区町村C	該当する区間の市区町村名。使用するコードは「全国市町村要覧」の「都道府県市区町村コード」	文字	5		コード

(3) E030 視線誘導標(反射式)

項目名	定義	データ表現	文字数		単位
			全体	小数	
路線	該当する路線を表す。	文字	4		
現旧区分C	該当する路線の現旧区分を表す。	文字	1		コード
市区町村C	該当する区間の市区町村名。使用するコードは「全国市町村要覧」の「都道府県市区町村コード」行政境界線が管理者境界にあたる場合、該当道路の管理者側の地名。 行政境界線が同一管理区域内の境界にあたる場合、起点から終点に向かって左側の地名。	文字	5		コード
所在地自	該当する区間の起点側の所在地(字番地まで)(30文字以内)	文字	60		
所在地至	該当する区間の終点側の所在地(字番地まで)(30文字以内)	文字	60		
百米標自	該当する区間の距離標(百米標)を表す。	数値	4	1	Km
距離自	該当する区間の距離標(百米標)からの距離を表す。	数値	4	0	m
百米標至	該当する区間の距離標(百米標)を表す。	数値	4	1	Km
距離至	該当する区間の距離標(百米標)からの距離を表す。	数値	4	0	m
施設完成年度	施設が完成した年度。(年は西暦)	数値	4	0	
施設改修年度	施設を改修した年度。(年は西暦)	数値	4	0	
上り下り区分C	上下区分を表す。	文字	1		コード

項目名	定義	データ表現	文字数		単位
			全体	小数	
誘導標種類C	誘導標の種類を表す。	文字	2		コード
個数	該当する区間の誘導標の個数(のべ個数)	数値	4	0	
備考	特記事項があれば50文字以内の日本語で記入	文字	100		

(4) E040 視線誘導標基本 (自光式)

項目名	定義	データ表現	文字数		単位
			全体	小数	
路線	該当する路線を表す。	文字	4		
現旧区分C	該当する路線の現旧区分を表す。	文字	1		コード
百米標	該当する区間の距離標(百米標)を表す。	数値	4	1	Km
距離	該当する区間の距離標(百米標)からの距離を表す。	数値	4	0	m
施設完成年度	施設が完成した年度。(年は西暦)	数値	4	0	
施設改修年度	施設を改修した年度。(年は西暦)	数値	4	0	
完成年月	施設が完成した年月。(年は西暦)	数値	6	0	
上り下り区分C	上下区分を表す。	文字	1		コード
所在地	該当する区間の所在地(字番地まで)(30文字以内)	文字	60		
設置箇所C	誘導標が設置されている箇所を表す。	文字	2		コード
誘導標種類C	誘導標の種類を表す。	文字	1		コード
形式	誘導標の形式(規格等)を30文字以内のカタカナ、英数字で記	文字	60		
電源種別C	電源の種類を表す。	文字	1		コード
灯数	該当する区間の誘導標の灯数	数値	2	0	
基礎C	基礎の種類を表す	文字	1		コード
電力契約種別C	電力契約種別を表す	文字	1		
電力契約番号	電力の契約番号を20文字以内の数字で記入	文字	20		
備考	特記事項があれば50文字以内の日本語で記入	文字	100		
市区町村C	該当する区間の市区町村名。使用するコードは「全国市町村要	文字	5		コード

(5) E050 道路標識基本

項目名	定義	データ表現	文字数		単位
			全体	小数	
路線	該当する路線を表す。	文字	4		
現旧区分C	該当する路線の現旧区分を表す。	文字	1		コード
百米標	該当する区間の距離標(百米標)を表す。	数値	4	1	Km
距離	該当する区間の距離標(百米標)からの距離を表す。	数値	4	0	m
上り下り区分C	標識の設置区分を表す。	文字	1		コード
設置箇所C	標識柱の設置箇所を表す。	文字	1		コード
設置方式C	標識の設置方式を表す。	文字	2		コード
支柱形式C	支柱形式を表す。	文字	2		コード
表面塗装処理C	表面塗装処理について表す	文字	1		コード
基礎形式C	基礎形式を表す。	文字	1		コード
クリアランス	設置方式が片持式、門型式等で標識板が車道の上に設置されて	数値	3	2	m
施設完成年度	施設が完成した年度。(年は西暦)	数値	4	0	
施設改修年度	施設を改修した年度。(年は西暦)	数値	4	0	
完成年月	標識を設置した年月。(年は西暦)	数値	6	0	
新設移設別C	新設標識か移設された標識かを表す	文字	1		コード
備考	特記事項があれば50文字以内の日本語で記入	文字	100		
市区町村C	該当する区間の市区町村名。使用するコードは「全国市町村要	文字	5		コード

(6) E051 標識各板諸元

項目名	定義	データ表現	文字数		単位
			全体	小数	
標識種類番号	道路標識(案内、警戒、規制、指示、補助標識等)に種類番号	文字	14		
上り下り別C	設置目的(上下別)を表す	文字	1		コード
板寸法縦	標識板の縦の寸法	数値	3	0	cm
板寸法横	標識板の横の寸法	数値	3	0	cm
板材質C	標識板の材質を表す	文字	1		コード
反射照明方式C	標識板の反射照明方式を表す	文字	1		コード
ローマ字有無C	標識板に表示されているローマ字の有無を表す	文字	1		コード
完成年月	標識板を取り付けた年月。(年は西暦)	数値	6	0	

(7) E060 情報板基本

項目名	定義	データ表現	文字数		単位
			全体	小数	
路線	該当する路線を表す。	文字	4		
現旧区分C	該当する路線の現旧区分を表す。	文字	1		コード
名称	該当する道路情報板の名称(10文字以内の日本語(漢字、ひら	文字	20		
百米標	該当する区間の距離標(百米標)を表す。	数値	4	1	Km
距離	該当する区間の距離標(百米標)からの距離を表す。	数値	4	0	m
施設完成年度	施設が完成した年度。(年は西暦)	数値	4	0	
施設改修年度	施設を改修した年度。(年は西暦)	数値	4	0	
完成年月	情報板を設置した年月。(年は西暦)	数値	6	0	
上り下り区分C	上下区分を表す	文字	1		コード
所在地	該当する区間の所在地(字番地まで)(30文字以内)	文字	60		
設置箇所C	設置箇所について、支柱が設置されている箇所を表す	文字	1		コード
設置目的C	設置目的を表す	文字	1		コード
情報板種別C	情報板種別を表す。	文字	1		コード
情報固定自由別C	情報固定・自由について表す	文字	1		コード
表示方法C	表示方法を表す。	文字	1		コード
制御方法C	制御方法を表す。	文字	1		コード
設置方法C	設置方法について表す	文字	1		コード
通信線名	遠隔操作に使用している通信線名を15文字以内の日本語で記	文字	30		
契約種別C	電力契約種別を表す	文字	1		
備考	特記事項があれば50文字以内の日本語で記入	文字	100		
市区町村C	該当する区間の市区町村名。使用するコードは「全国市町村要	文字	5		コード

(8) E070 交通遮断機基本

項目名	定義	データ表現	文字数		単位
			全体	小数	
路線	該当する路線を表す。	文字	4		
現旧区分C	該当する路線の現旧区分を表す。	文字	1		コード
名称	該当する交通遮断機の名称(10文字以内の日本語(漢字、ひらがな))	文字	20		
百米標	該当する区間の距離標(百米標)を表す。	数値	4	1	Km
距離	該当する区間の距離標(百米標)からの距離を表す。	数値	4	0	m
施設完成年度	施設が完成した年度。(年は西暦)	数値	4	0	
施設改修年度	施設を改修した年度。(年は西暦)	数値	4	0	
上り下り区分C	上下区分を表す	文字	1		コード
所在地	該当する区間の所在地(字番地まで)(30文字以内)	文字	60		
操作区分C	操作区分を表す。	文字	1		コード
制御場所C	交通遮断機の制御場所を表す。	文字	1		コード
制御場所名称	制御場所が遠隔制御の場合の制御場所名(10文字以内)	文字	20		
電力契約種別C	電力契約種別を表す	文字	1		
道路情報板併設有無C	該当する交通遮断機が道路情報板と併設かの有無を表す。	文字	1		コード
備考	特記事項があれば50文字以内の日本語で記入	文字	100		
市区町村C	該当する区間の市区町村名。使用するコードは「全国市町村要	文字	5		コード

(9) E080 ITV基本

項目名	定義	データ表現	文字数		単位
			全体	小数	
路線	該当する路線を表す。	文字	4		
現旧区分C	該当する路線の現旧区分を表す。	文字	1		コード
名称	該当するITV施設の名称(10文字以内の日本語(漢字、ひらがな))	文字	20		
百米標	該当する区間の距離標(百米標)を表す。	数値	4	1	Km
距離	該当する区間の距離標(百米標)からの距離を表す。	数値	4	0	m
所在地	該当する区間の所在地(字番地まで)(30文字以内)	文字	60		
施設完成年度	施設が完成した年度。(年は西暦)	数値	4	0	
施設改修年度	施設を改修した年度。(年は西暦)	数値	4	0	
設置目的C	設置目的を表す	文字	1		コード
カメラ完成年月	該当するカメラが完成(設置)された年月。(年は西暦)	数値	6	0	
上り下り区分C	上下区分を表す。	文字	1		コード
カメラ型式	カメラの型式(メーカー及び型番)について20文字以内の日本語	文字	40		
カメラ台数	設置されているカメラ台数	数値	2	0	
設置場所	受信機の設置場所について15文字以内の日本語で記入	文字	30		
受信機型式	受信機の型式(メーカー及び型番)について15文字以内の日本語	文字	30		
回線区分C	回線区分について表す	文字	1		コード
モニター台数	モニター台数を表す。	数値	2	0	
静止動画区分C	カメラの画像の種類について表す	文字	1		コード
電力契約種別C	電力契約種別を表す	文字	1		
備考	特記事項があれば50文字以内の日本語で記入	文字	100		
市区町村C	該当する区間の市区町村名。使用するコードは「全国市町村要	文字	5		コード

(10) E090 車両感知器基本

項目名	定義	データ表現	文字数		単位
			全体	小数	
路線	該当する路線を表す。	文字	4		
現旧区分C	該当する路線の現旧区分を表す。	文字	1		コード
百米標	該当する区間の距離標(百米標)を表す。	数値	4	1	Km
距離	該当する区間の距離標(百米標)からの距離を表す。	数値	4	0	m
施設完成年度	施設が完成した年度。(年は西暦)	数値	4	0	
施設改修年度	施設を改修した年度。(年は西暦)	数値	4	0	
完成年月	車両感知器を設置した年月。(年は西暦)	数値	6	0	
上り下り区分C	上り・下り区分について、該当するコードを記入	文字	1		コード
所在地	該当する区間の所在地(字番地まで)(30文字以内)	文字	60		
設置箇所C	センサーの設置箇所について、該当するコードを記入	文字	2		コード
設置目的C	設置目的を表す	文字	1		コード
形式C	車両感知器の形式について、該当するコードを記入	文字	2		コード
通信回線区分C	通信回線区分を表す。	文字	1		コード
電力契約種別C	電力契約種別を表す	文字	1		
メーカー名	メーカーの名称を10文字以内の日本語で記入	文字	20		
備考	特記事項があれば50文字以内の日本語で記入	文字	100		
市区町村C	該当する区間の市区町村名。使用するコードは「全国市町村要	文字	5		コード

(11) E100 車両諸元計測施設基本

項目名	定義	データ表現	文字数		単位
			全体	小数	
路線	該当する路線を表す。	文字	4		
現旧区分C	該当する路線の現旧区分を表す。	文字	1		コード
名称	該当する車両諸元計測施設の名称(10文字以内の日本語(漢字、ひらがな、カタカナ、及び英数字))名称がない場合は、設置箇所の地先名等を記入	文字	20		
百米標	該当する区間の距離標(百米標)を表す。	数値	4	1	Km
距離	該当する区間の距離標(百米標)からの距離を表す。	数値	4	0	m
施設完成年度	施設が完成した年度。(年は西暦)	数値	4	0	
施設改修年度	施設を改修した年度。(年は西暦)	数値	4	0	
完成年月	該当する車両諸元計測施設が完成した年月。(年は西暦)	数値	6	0	
上り下り区分C	上下区分を表す	文字	1		コード
所在地	該当する区間の所在地(字番地まで)(30文字以内)	文字	60		
設置箇所C	設置箇所を表す	文字	2		コード
用地面積	用地面積を記入	数値	4	0	m ²
対象計測重量	該当施設の対象計測重量を15文字以内の日本語で記入	文字	30		
最高計量限度	該当施設の最高計量限度を15文字以内の日本語で記入	文字	30		
備考	特記事項があれば50文字以内の日本語で記入	文字	100		
市区町村C	該当する区間の市区町村名。使用するコードは「全国市町村要	文字	5		コード

(12) E101 車両踏元計測施設設備

項目名	定義	データ表現	文字数		単位
			全体	小数	
計測機種別	計測機の種別を10文字以内の日本語で記入する	文字	20		
設置年月	計測機が設置された年月。(年は西暦)	数値	6	0	
台数	計測機の台数を記入	数値	2	0	

(13) E110 気象観測施設基本

項目名	定義	データ表現	文字数		単位
			全体	小数	
路線	該当する路線を表す。	文字	4		
現旧区分C	該当する路線の現旧区分を表す。	文字	1		コード
名称	該当する気象観測施設の名称(10文字以内の日本語(漢字、ひ)	文字	20		
百米標	該当する区間の距離標(百米標)を表す。	数値	4	1	Km
距離	該当する区間の距離標(百米標)からの距離を表す。	数値	4	0	m
施設完成年度	施設が完成した年度。(年は西暦)	数値	4	0	
施設改修年度	施設を改修した年度。(年は西暦)	数値	4	0	
上り下り区分C	上下区分について表す	文字	1		コード
所在地	該当する区間の所在地(字番地まで)(30文字以内)	文字	60		
設置箇所C	設置箇所を表す	文字	2		コード
装置種別C	装置種別を表す。	文字	2		コード
凍結予知表示板有無C	凍結予知表示板の有無を表す。	文字	1		コード
通信回線区分C	通信回線区分を表す。	文字	1		コード
自管理他省庁区分C	気象観測施設の管理を表す。	文字	1		コード
電力契約種別C	電力契約種別を表す	文字	1		
備考	特記事項があれば50文字以内の日本語で記入	文字	100		
市区町村C	該当する区間の市区町村名。使用するコードは「全国市町村要	文字	5		コード

(14) E120 災害予知装置基本

項目名	定義	データ表現	文字数		単位
			全体	小数	
路線	該当する路線を表す。	文字	4		
現旧区分C	該当する路線の現旧区分を表す。	文字	1		コード
百米標	該当する区間の距離標(百米標)を表す。	数値	4	1	Km
距離	該当する区間の距離標(百米標)からの距離を表す。	数値	4	0	m
施設完成年度	施設が完成した年度。(年は西暦)	数値	4	0	
施設改修年度	施設を改修した年度。(年は西暦)	数値	4	0	
上り下り区分C	上下区分を表す	文字	1		コード
所在地	該当する区間の所在地(字番地まで)(30文字以内)	文字	60		
装置種別C	装置種別を表す。	文字	2		コード
設置箇所C	設置箇所を表す	文字	2		コード
設置のべ数	災害予知装置の設置のべ数を表す。	数値	2	0	
通信回線区分C	通信回線区分を表す。	文字	1		コード
電力契約種別C	電力契約種別を表す	文字	1		
備考	特記事項があれば50文字以内の日本語で記入	文字	100		
市区町村C	該当する区間の市区町村名。使用するコードは「全国市町村要	文字	5		コード

(15) E130 自動車駐車場基本

項目名	定義	データ表現	文字数		単位
			全体	小数	
路線	該当する路線を表す。	文字	4		
現旧区分C	該当する路線の現旧区分を表す。	文字	1		コード
名称	該当する自動車駐車場施設の名称(10文字以内の日本語(漢	文字	20		
百米標自	該当する区間の距離標(百米標)を表す。	数値	4	1	Km
距離自	該当する区間の距離標(百米標)からの距離を表す。	数値	4	0	m
百米標至	該当する区間の距離標(百米標)を表す。	数値	4	1	Km
距離至	該当する区間の距離標(百米標)からの距離を表す。	数値	4	0	m
施設完成年度	施設が完成した年度。(年は西暦)	数値	4	0	
施設改修年度	施設を改修した年度。(年は西暦)	数値	4	0	
上り下り区分C	上下区分を表す。	文字	1		コード
所在地	該当する区間の所在地(字番地まで)(30文字以内)	文字	60		
自動車駐車場C	自動車駐車場が併設されているか否かを表す	文字	1		コード
道の駅C	道の駅が併設されているか否かを表す	文字	1		コード
チェーン着脱場C	チェーン着脱場が併設されているかの有無を表す。	文字	1		コード
敷地面積	該当する駐車場の敷地面積	数値	6	0	m ²
駐車台数	自動車の駐車台数	数値	3	0	台
大型車駐車台数	大型車の駐車台数を記入する。駐車台数が不明な場合は、駐車台数の内、大型車1台当りの駐車所要面積93.8㎡とし、大型車の駐車台数を記入する。(直轄指定区間現況調査)	数値	3	0	台
分離構造C	駐車場が本線と分離構造となっているか否かの別を表す。	文字	1		コード
舗装種別C	代表的な舗装種別を表す。	文字	1		コード
舗装面積	舗装面積を表す。	数値	6	0	m ²
標識	標識の個数(箇所数)を表す。	数値	2	0	
便所	便所の個数(箇所数)を表す。	数値	2	0	
公衆電話	公衆電話の個数(箇所数)を表す。	数値	2	0	
照明灯	照明灯の個数(箇所数)を表す。	数値	2	0	
ゴミ箱	ゴミ箱の個数(箇所数)を表す。	数値	2	0	
給油所	給油所の個数(箇所数)を表す。	数値	1	0	
食堂	食堂の個数(箇所数)を表す。	数値	1	0	
売店	売店の個数(箇所数)を表す。	数値	1	0	
無料休憩所	無料休憩所の個数(箇所数)を表す。	数値	1	0	
宿泊所	宿泊所の個数(箇所数)を表す。	数値	1	0	
案内所	案内所の個数(箇所数)を表す。	数値	2	0	
情報ターミナル有無C	情報ターミナルが併設されているかの有無を表す。	文字	1		コード
道路情報板有無C	道路情報板が併設されているかの有無を表す。	文字	1		コード
管理外標識	管理区域外にある標識の個数(箇所数)を表す。	数値	2	0	
管理外便所	管理区域外にある便所の個数(箇所数)を表す。	数値	2	0	
管理外公衆電話	管理区域外にある公衆電話の個数(箇所数)を表す。	数値	2	0	
管理外照明灯	管理区域外にある照明灯の個数(箇所数)を表す。	数値	2	0	

項目名	定義	データ表現	文字数		単位
			全体	小数	
管理外ゴミ箱	管理区域外にあるゴミ箱の個数(箇所数)を表す。	数値	2	0	
管理外給油所	管理区域外にある給油所の個数(箇所数)を表す。	数値	1	0	
管理外食堂	管理区域外にある食堂の個数(箇所数)を表す。	数値	1	0	
管理外売店	管理区域外にある売店の個数(箇所数)を表す。	数値	1	0	
管理外無料休憩所	管理区域外にある無料休憩所の個数(箇所数)を表す。	数値	1	0	
管理外宿泊所	管理区域外にある宿泊所の個数(箇所数)を表す。	数値	1	0	
管理外案内所	管理区域外にある案内所の個数(箇所数)を表す。	数値	2	0	
管理外情報ターミナルC	管理区域以外に情報ターミナルが併設されているか否かを表す	文字	1		コード
管理外道路情報板C	管理区域以外に道路情報板が併設されているか否かを表す	文字	1		コード
チェーン着脱場看板C	道路管理者以外のチェーン着脱場看板が併設されているか	文字	1		コード
備考	特記事項があれば50文字以内の日本語で記入	文字	100		
市区町村自C	該当する区間の始点側の市区町村名。使用するコードは「全国	文字	5		コード
市区町村至C	該当する区間の終点側の市区町村名。使用するコードは「全国	文字	5		コード

(16) E140 自転車駐車場基本

項目名	定義	データ表現	文字数		単位
			全体	小数	
路線	該当する路線を表す。	文字	4		
現旧区分C	該当する路線の現旧区分を表す。	文字	1		コード
名称	該当する自転車駐車場施設の名称(10文字以内の日本語(漢字、ひらがな、カタカナ、及び英数字))名称がない場合は、設置箇所の地先名等を記入	文字	20		
百米標自	該当する区間の距離標(百米標)を表す。	数値	4	1	Km
距離自	該当する区間の距離標(百米標)からの距離を表す。	数値	4	0	m
百米標至	該当する区間の距離標(百米標)を表す。	数値	4	1	Km
距離至	該当する区間の距離標(百米標)からの距離を表す。	数値	4	0	m
施設完成年度	施設が完成した年度。(年は西暦)	数値	4	0	
施設改修年度	施設を改修した年度。(年は西暦)	数値	4	0	
完成年月	該当する自転車駐車場が完成した年月。(年は西暦)	数値	6	0	
上り下り区分C	上下区分を表す。	文字	1		コード
所在地	該当する自転車駐車場の設置位置の所在地(字番地まで)(30	文字	60		
設置区分C	設置区分を表す。	文字	1		コード
管理区分C	管理区分を表す。	文字	1		コード
敷地区分C	敷地区分を表す。	文字	1		コード
施設区分C	施設区分を表す。	文字	1		コード
駐車台数	自転車の収容可能台数	数値	4	0	台
上屋有無C	上屋の有無を表す。	文字	1		コード
駐車方法C	自転車の駐車方法を表す。	文字	1		コード
駐車場面積	駐車場の面積を表す。	数値	4	0	m ²
備考	特記事項があれば50文字以内の日本語で記入	文字	100		
市区町村自C	該当する区間の始点側の市区町村名。使用するコードは「全国	文字	5		コード
市区町村至C	該当する区間の終点側の市区町村名。使用するコードは「全国	文字	5		コード

(17) E150 雪崩防止施設基本

項目名	定義	データ表現	文字数		単位
			全体	小数	
路線	該当する路線を表す。	文字	4		
現旧区分C	該当する路線の現旧区分を表す。	文字	1		コード
百米標自	該当する区間の距離標(百米標)を表す。	数値	4	1	Km
距離自	該当する区間の距離標(百米標)からの距離を表す。	数値	4	0	m
百米標至	該当する区間の距離標(百米標)を表す。	数値	4	1	Km
距離至	該当する区間の距離標(百米標)からの距離を表す。	数値	4	0	m
施設完成年度	施設が完成した年度。(年は西暦)	数値	4	0	
施設改修年度	施設を改修した年度。(年は西暦)	数値	4	0	
上り下り区分C	上下区分を表す。	文字	1		コード
所在地自	該当する区間の起点側の所在地(字番地まで)(30文字以内)	文字	60		
所在地至	該当する区間の終点側の所在地(字番地まで)(30文字以内)	文字	60		
防雪対策区分C	防雪対策区分を表す	文字	1		コード
施設種別C	施設種別区分を表す。	文字	2		コード
基礎形式C	基礎形式を表す。	文字	2		コード
防止予防別C	施設の機能について表す	文字	1		コード
延長	該当する施設の延長施設が面的に設置されているものは道路と	数値	5	1	m
設置道路延長	雪崩防止施設が設置されている道路の延長	数値	5	1	m
高さ	施設の代表的な高さを記入	数値	2	1	m
固定式可動式別C	構造の固定式、可動(移動)式の別について表す	文字	1		コード
のり面勾配	施設が設置されているのり面の勾配を記入	数値	2	1	
雪崩検知器有無C	雪崩検知器が設置されているか否かを表す	文字	1		コード
備考	特記事項があれば50文字以内の日本語で記入	文字	100		
市区町村自C	該当する区間の始点側の市区町村名。使用するコードは「全国	文字	5		コード
市区町村至C	該当する区間の終点側の市区町村名。使用するコードは「全国	文字	5		コード

(18) E160 落石防止施設基本

項目名	定義	データ表現	文字数		単位
			全体	小数	
路線	該当する路線を表す。	文字	4		
現旧区分C	該当する路線の現旧区分を表す。	文字	1		コード
百米標自	該当する区間の距離標(百米標)を表す。	数値	4	1	Km
距離自	該当する区間の距離標(百米標)からの距離を表す。	数値	4	0	m
百米標至	該当する区間の距離標(百米標)を表す。	数値	4	1	Km
距離至	該当する区間の距離標(百米標)からの距離を表す。	数値	4	0	m
施設完成年度	施設が完成した年度。(年は西暦)	数値	4	0	
施設改修年度	施設を改修した年度。(年は西暦)	数値	4	0	
完成年月	該当する落石防止施設が完成した年月。(年は西暦)	数値	6	0	
上り下り区分C	上下区分を表す。	文字	1		コード
所在地自	該当する区間の起点側の所在地(字番地まで)(30文字以内)	文字	60		

項目名	定義	データ表現	文字数		単位
			全体	小数	
所在地至	該当する区間の終点側の所在地(字番地まで)(30文字以内)	文字	60		
施設種別C	施設種別区分を表す。	文字	2		コード
基礎形式C	基礎形式について表す	文字	2		コード
延長	該当する区間の施設延長	数値	5	1	m
高さ	該当する区間の施設の代表的な高さ	数値	3	1	m
面積	該当する区間の施設的面積[ここでは網型式(金網、エキスパン	数値	4	0	m ²
のり面勾配	施設が設置されているのり面の勾配を記入	数値	2	1	
落石探知器有無C	施設に落石探知器が設置されているか否かを表す。	文字	1		コード
規制区間内外別C	規制区間内、外の別を表す。	文字	1		コード
備考	特記事項があれば50文字以内の日本語で記入	文字	100		
市区町村自C	該当する区間の始点側の市区町村名。使用するコードは「全国	文字	5		コード
市区町村至C	該当する区間の終点側の市区町村名。使用するコードは「全国	文字	5		コード

(19) E170 消雪パイプ基本

項目名	定義	データ表現	文字数		単位
			全体	小数	
路線	該当する路線を表す。	文字	4		
現旧区分C	該当する路線の現旧区分を表す。	文字	1		コード
百米標自	該当する区間の距離標(百米標)を表す。	数値	4	1	Km
距離自	該当する区間の距離標(百米標)からの距離を表す。	数値	4	0	m
百米標至	該当する区間の距離標(百米標)を表す。	数値	4	1	Km
距離至	該当する区間の距離標(百米標)からの距離を表す。	数値	4	0	m
施設完成年度	施設が完成した年度。(年は西暦)	数値	4	0	
施設改修年度	施設を改修した年度。(年は西暦)	数値	4	0	
上り下り区分C	上下区分を表す	文字	1		コード
設置区分C	設置区分を表す。	文字	2		コード
設置道路延長	消雪パイプが設置されている道路の延長	数値	4	0	m
施設区分C	施設の区分を表す。	文字	1		コード
無散水設置延長	該当する区間における無散水式の設置延長	数値	3	1	m
占用物件別C	該当する区間の消雪パイプの占用別を表す。	文字	1		コード
水源種別C	水源種別を表す	文字	1		コード
水源市区町村	水源の位置の地名(番地等まで)を15文字以内の日本語で記	文字	30		
水源百米標	水源の位置の距離標(百米標)を記入	数値	4	1	Km
水源距離	水源の位置の距離標(百米標)からの距離を記入	数値	4	0	m
水源名称	水源の名称を10文字以内の日本語で記入	文字	20		
噴水管散水管延長	該当する区間における噴水管(散水管)の延長(のべ延長)	数値	5	1	m
電力契約種別C	電力契約種別を表す	文字	1		
関連施設名称	設置区分Cで指定した工種の施設名を10文字以内の日本語で	文字	20		
備考	特記事項があれば50文字以内の日本語で記入	文字	100		
市区町村自C	該当する区間の始点側の市区町村名。使用するコードは「全国	文字	5		コード
市区町村至C	該当する区間の終点側の市区町村名。使用するコードは「全国	文字	5		コード

(20) E180 ロードヒーティング基本

項目名	定義	データ表現	文字数		単位
			全体	小数	
路線	該当する路線を表す。	文字	4		
現旧区分C	該当する路線の現旧区分を表す。	文字	1		コード
百米標自	該当する区間の距離標(百米標)を表す。	数値	4	1	Km
距離自	該当する区間の距離標(百米標)からの距離を表す。	数値	4	0	m
百米標至	該当する区間の距離標(百米標)を表す。	数値	4	1	Km
距離至	該当する区間の距離標(百米標)からの距離を表す。	数値	4	0	m
施設完成年度	施設が完成した年度。(年は西暦)	数値	4	0	
施設改修年度	施設を改修した年度。(年は西暦)	数値	4	0	
上り下り区分C	上下区分を表す	文字	1		コード
融雪施設区分C	融雪施設区分を表す	文字	1		コード
設置区分C	設置区分を表す。	文字	2		コード
車道ヒーティング幅	車道部のロードヒーティング幅員を記入	数値	3	1	m
歩道ヒーティング幅	歩道部のロードヒーティング幅員を記入	数値	3	1	n
延長	該当する区間の施設の設置延長(のべ延長)	数値	5	1	m
設置道路延長	ロードヒーティングが設置されている道路延長(のべ延長)	数値	4	0	m
施工面積	該当する区間の施設が電熱線の場合、その施工面積(のべ面	数値	4	0	m ²
占用物件別C	該当する区間のロードヒーティングの占用別を表す。	文字	1		コード
電力契約種別C	電力契約種別を表す	文字	1		
関連施設名称	設置区分Cで指定した工種の施設名を10文字以内の日本語で	文字	20		
備考	特記事項があれば50文字以内の日本語で記入	文字	100		
市区町村自C	該当する区間の始点側の市区町村名。使用するコードは「全国	文字	5		コード
市区町村至C	該当する区間の終点側の市区町村名。使用するコードは「全国	文字	5		コード

(21) E190 除雪ステーション基本

項目名	定義	データ表現	文字数		単位
			全体	小数	
路線	該当する路線を表す。	文字	4		
現旧区分C	該当する路線の現旧区分を表す。	文字	1		コード
名称	該当する除雪ステーション施設の名称(10文字以内の日本語	文字	20		
百米標	該当する区間の距離標(百米標)を表す。	数値	4	1	Km
距離	該当する区間の距離標(百米標)からの距離を表す。	数値	4	0	m
施設完成年度	施設が完成した年度。(年は西暦)	数値	4	0	
施設改修年度	施設を改修した年度。(年は西暦)	数値	4	0	
上り下り区分C	上下区分を表す	文字	1		コード
所在地	該当する区間の所在地(字番地まで)(30文字以内)	文字	60		
設置箇所C	設置箇所を表す。	文字	2		コード
敷地面積	除雪ステーションの敷地面積	数値	4	0	m ²
備考	特記事項があれば50文字以内の日本語で記入	文字	100		
市区町村C	該当する区間の市区町村名。使用するコードは「全国市町村要覧」の「都道府県市区町村コード」	文字	5		コード

(22) E191 除雪ステーション設備

項目名	定義	データ表現	文字数		単位
			全体	小数	
品名	除雪ステーション内の設備(除雪に用いる機械類や材料)の名	文字	20		
単位	除雪ステーション内の設備に対する単位を3文字以内の日本語	文字	6		
数量	除雪ステーション内の設備に対する数量を記入	数値	3	0	
設置年月	除雪ステーション内の設備が設置された年月を記入(年は西暦)	数値	6	0	
備考	特記事項があれば50文字以内の日本語で記入	文字	100		

(23) E200 防災備蓄倉庫基本

項目名	定義	データ表現	文字数		単位
			全体	小数	
路線	該当する路線を表す。	文字	4		
現旧区分C	該当する路線の現旧区分を表す。	文字	1		コード
名称	該当する防災備蓄倉庫の名称(10文字以内の日本語(漢字、ひ)	文字	20		
百米標	該当する区間の距離標(百米標)を表す。	数値	4	1	Km
距離	該当する区間の距離標(百米標)からの距離を表す。	数値	4	0	m
施設完成年度	施設が完成した年度。(年は西暦)	数値	4	0	
施設改修年度	施設を改修した年度。(年は西暦)	数値	4	0	
上り下り区分C	上下区分を表す	文字	1		コード
所在地	該当する区間の所在地(字番地まで)(30文字以内)	文字	60		
設置区分C	防災備蓄倉庫の設置区分を表す	文字	2		コード
敷地面積	防災備蓄倉庫が設置されている敷地面積を記入	数値	4	0	m ²
備考	特記事項があれば50文字以内の日本語で記入	文字	100		
市区町村C	該当する区間の市区町村名。使用するコードは「全国市町村要	文字	5		コード

(24) E201 防災備蓄倉庫設備

項目名	定義	データ表現	文字数		単位
			全体	小数	
品名	防災備蓄倉庫内の設備の名称を10文字以内の日本語で記入	文字	20		
単位	防災備蓄倉庫内の設備に対する単位を3文字以内の日本語で	文字	6		
数量	防災備蓄倉庫内の設備に対する数量を記入	数値	3	0	
備蓄年月	防災備蓄倉庫内の設備が備蓄された年月を記入(年は西暦)	数値	6	0	
備考	特記事項があれば50文字以内の日本語で記入	文字	100		

(25) E210 共同溝基本

項目名	定義	データ表現	文字数		単位
			全体	小数	
路線	該当する路線を表す。	文字	4		
現旧区分C	該当する路線の現旧区分を表す。	文字	1		コード
名称	該当する共同溝の名称(10文字以内の日本語(漢字、ひらが	文字	20		
百米標自	該当する区間の距離標(百米標)を表す。	数値	4	1	Km
距離自	該当する区間の距離標(百米標)からの距離を表す。	数値	4	0	m
百米標至	該当する区間の距離標(百米標)を表す。	数値	4	1	Km
距離至	該当する区間の距離標(百米標)からの距離を表す。	数値	4	0	m
施設完成年度	施設が完成した年度。(年は西暦)	数値	4	0	
施設改修年度	施設を改修した年度。(年は西暦)	数値	4	0	
所在地自	該当する区間の始点側の所在地(字番地まで)(30文字以内)	文字	60		
所在地至	該当する区間の終点側の所在地(字番地まで)(30文字以内)	文字	60		
完成年月	該当する共同溝が完成した年月。(年は西暦)	数値	6	0	
設置箇所C	共同溝の設置箇所を表す	文字	1		コード
共同溝区分C	共同溝の区分を表す。	文字	1		コード
指定告示延長	共同溝の指定告示延長を表す。	数値	6	1	m
建設告示延長	共同溝の建設告示延長を表す。	数値	6	1	m
事業化延長	共同溝の事業化延長を表す。	数値	6	1	m
換算完成延長	共同溝の換算完成延長を表す。	数値	6	1	m
本体完成延長	共同溝の本体完成延長を表す。	数値	6	1	m
供用延長	共同溝の供用延長を表す。	数値	6	1	m
幹線共同溝ラップ延長	幹線共同溝と供給管共同溝がラップしている区間延長	数値	5	0	m
供給管共同溝単独区間長	供給管共同溝単独の区間延長	数値	5	0	m
標準断面高	共同溝の標準断面の内空高を記入	数値	4	0	m
標準断面幅	共同溝の標準断面の内空幅を記入	数値	4	0	m
建設告示年月日	建設告示日を記入(年は西暦)	数値	8	0	
建設告示番号	建設告示番号を記入	文字	10		
道路事業費	道路事業費全体を表す。	数値	5	0	百万円
附帯事業費	附帯事業費全体を表す。	数値	5	0	百万円
関連事業	関連事業を表す。(30文字以内)	文字	60		
設置道路延長	共同溝が設置されている道路の延長を記入	数値	5	0	m
電力契約種別C	電力契約種別を表す	文字	1		コード
備考1	特記事項があれば50文字以内の日本語で記入	文字	100		
備考2	特記事項があれば50文字以内の日本語で記入	文字	100		
市区町村自C	該当する区間の始点側の市区町村名。使用するコードは「全国	文字	5		コード
市区町村至C	該当する区間の終点側の市区町村名。使用するコードは「全国	文字	5		コード

(26) E211 共同溝占用物

項目名	定義	データ表現	文字数		単位
			全体	小数	
占用物件種別C	占用物について、該当するコードを記入	文字	1		コード
占用物件数	占用物件数を記入	数値	2	0	
負担金	企業負担金について記入	数値	5	0	百万円
参加延長	占用物件の参加延長を記入	数値	6	1	m
占用延長	共同溝内の占用延長(のべ延長)を記入	数値	6	1	m
供用延長	占用物件の供用延長を記入	数値	6	1	m
占用許可年月日	占用許可年月日(年は西暦)	数値	8	0	
備考	特記事項があれば50文字以内の日本語で記入	文字	100		

(27) E220 CAB電線共同溝基本

項目名	定義	データ表現	文字数		単位
			全体	小数	
路線	該当する路線を表す。	文字	4		
現旧区分C	該当する路線の現旧区分を表す。	文字	1		コード
名称	該当するCAB及び電線共同溝、情報BOXの名称(10文字以内)	文字	20		
百米標自	該当する区間の距離標(百米標)を表す。	数値	4	1	Km
距離自	該当する区間の距離標(百米標)からの距離を表す。	数値	4	0	m
百米標至	該当する区間の距離標(百米標)を表す。	数値	4	1	Km
距離至	該当する区間の距離標(百米標)からの距離を表す。	数値	4	0	m
施設完成年度	施設が完成した年度。(年は西暦)	数値	4	0	
施設改修年度	施設を改修した年度。(年は西暦)	数値	4	0	
完成年月	該当するCAB及び電線共同溝、情報BOXが完成した年月。	数値	6	0	
上り下り区分C	上下区分を表す。	文字	1		コード
所在地自	該当する区間の起点側の所在地(字番地まで)(30文字以内)	文字	60		
所在地至	該当する区間の終点側の所在地(字番地まで)(30文字以内)	文字	60		
構造形式C	代表的な構造形式を表す。	文字	1		コード
設置箇所C	設置箇所を表す。	文字	1		コード
幅	CABおよび電線共同溝、情報BOXの全体幅	数値	2	1	m
高さ	CABおよび電線共同溝、情報BOXの高さ	数値	2	1	m
事業化延長	CABおよび電線共同溝、情報BOXにおける事業化延長	数値	6	1	m
本体完成延長	CABおよび電線共同溝、情報BOXにおける本体完成延長	数値	6	1	m
最小土被り	該当する区間の土被りの最小値を記入	数値	2	1	
設置道路延長	CABおよび電線共同溝、情報BOXが設置されている道路延長	数値	5	0	m
設置区分C	設置区分を表す。	文字	1		コード
備考	特記事項があれば50文字以内の日本語で記入	文字	100		
市区町村自C	該当する区間の始点側の市区町村名。使用するコードは「全国市町村要覧」の「都道府県市区町村コード」	文字	5		コード
市区町村至C	該当する区間の終点側の市区町村名。使用するコードは「全国市町村要覧」の「都道府県市区町村コード」	文字	5		コード

(28) E221 CAB電線共同溝占用物

項目名	定義	データ表現	文字数		単位
			全体	小数	
占用物件種別C	占用物件を表す。	文字	1		コード
物件数	占用物件数を表す。	数値	2	0	
占用延長	CABおよび電線共同溝、情報BOX内の占用延長(のべ延長)	数値	6	1	m
占用許可年月日	占用許可年月日(年は西暦)	数値	8	0	
自管理占用別C	管理区分を表す。	文字	1		コード
備考	特記事項があれば50文字以内の日本語で記入	文字	100		

(29) E230 植栽基本

項目名	定義	データ表現	文字数		単位
			全体	小数	
路線	該当する路線を表す。	文字	4		
現旧区分C	該当する路線の現旧区分を表す。	文字	1		コード
百米標自	該当する区間の距離標(百米標)を表す。	数値	4	1	Km
距離自	該当する区間の距離標(百米標)からの距離を表す。	数値	4	0	m
百米標至	該当する区間の距離標(百米標)を表す。	数値	4	1	Km
距離至	該当する区間の距離標(百米標)からの距離を表す。	数値	4	0	m
施設完成年度	施設が完成した年度。(年は西暦)	数値	4	0	
施設改修年度	施設を改修した年度。(年は西暦)	数値	4	0	
上り下り区分C	上下区分を表す。	文字	1		コード
所在地自	該当する区間の起点側の所在地(字番地まで)(30文字以内)	文字	60		
所在地至	該当する区間の終点側の所在地(字番地まで)(30文字以内)	文字	60		
設置箇所C	設置箇所区分を表す。	文字	1		コード
高木組合せC	該当する区間に対し、高木の街路樹等の有無を表す。	文字	1		コード
中木組合せC	該当する区間に対し、中木の街路樹等の有無を表す。	文字	1		コード
低木組合せC	該当する区間に対し、低木の灌木の有無を表す。	文字	1		コード
張芝組合せC	該当する区間に対し、張芝の有無を表す。	文字	1		コード
延長	植栽帯ののべ延長	数値	4	0	m
面積	植栽帯ののべ面積	数値	4	0	m ²
備考	特記事項があれば50文字以内の日本語で記入	文字	100		
市区町村自C	該当する区間の始点側の市区町村名。使用するコードは「全国市町村要覧」の「都道府県市区町村コード」	文字	5		コード
市区町村至C	該当する区間の終点側の市区町村名。使用するコードは「全国市町村要覧」の「都道府県市区町村コード」	文字	5		コード

(30) E231 植栽樹木種別

項目名	定義	データ表現	文字数		単位
			全体	小数	
樹木種別C	該当する区間の樹木種別	文字	3		コード
本数	該当する区間で同種の樹木の本数(のべ本数)	数値	4	0	本
目通り	該当する区間で代表的な樹木の目通りについて記入する	数値	3	0	cm
高木中木低木芝別C	樹木区分を表す。	文字	1		コード
備考	特記事項があれば50文字以内の日本語で記入	文字	100		

(31) E240 遮音施設基本

項目名	定義	データ表現	文字数		単位
			全体	小数	
路線	該当する路線を表す。	文字	4		
現旧区分C	該当する路線の現旧区分を表す。	文字	1		コード
百米標自	該当する区間の距離標(百米標)を表す。	数値	4	1	Km
距離自	該当する区間の距離標(百米標)からの距離を表す。	数値	4	0	m
百米標至	該当する区間の距離標(百米標)を表す。	数値	4	1	Km
距離至	該当する区間の距離標(百米標)からの距離を表す。	数値	4	0	m
施設完成年度	施設が完成した年度。(年は西暦)	数値	4	0	
施設改修年度	施設を改修した年度。(年は西暦)	数値	4	0	
上り下り区分C	上下区分を表す。	文字	1		コード
所在地自	該当する区間の起点側の所在地(字番地まで)(30文字以内)	文字	60		

項目名	定義	データ表現	文字数		単位
			全体	小数	
所在地至	該当する区間の終点側の所在地(字番地まで)(30文字以内)	文字	60		
施設種類C	施設種類を表す。	文字	1		コード
設置箇所C	設置箇所を表す。	文字	2		コード
延長	該当する区間の遮音施設の延長(のべ延長)	数値	6	1	m
設置道路延長	遮音施設が設置されている道路延長	数値	6	1	m
最大高	遮音施設の高さの最大値を記入	数値	3	1	m
最小高	遮音施設の高さの最小値を記入	数値	3	1	m
基礎形式C	代表的な基礎形式を表す。	文字	1		コード
騒音規制区域C	騒音規制区域か否かを現す	文字	1		コード
備考	特記事項があれば50文字以内の日本語で記入	文字	100		
市区町村自C	該当する区間の始点側の市区町村名。使用するコードは「全国市町村要覧」の「都道府県市区町村コード」	文字	5		コード
市区町村至C	該当する区間の終点側の市区町村名。使用するコードは「全国市町村要覧」の「都道府県市区町村コード」	文字	5		コード

(32) E241 遮音施設型式

項目名	定義	データ表現	文字数		単位
			全体	小数	
規格材質等型式	遮音施設の規格、材質等について25文字以内の日本語で記入	文字	50		

(33) E250 遮光フェンス基本

項目名	定義	データ表現	文字数		単位
			全体	小数	
路線	該当する路線を表す。	文字	4		
現旧区分C	該当する路線の現旧区分を表す。	文字	1		コード
百米標自	該当する区間の距離標(百米標)を表す。	数値	4	1	Km
距離自	該当する区間の距離標(百米標)からの距離を表す。	数値	4	0	m
百米標至	該当する区間の距離標(百米標)を表す。	数値	4	1	Km
距離至	該当する区間の距離標(百米標)からの距離を表す。	数値	4	0	m
施設完成年度	施設が完成した年度。(年は西暦)	数値	4	0	
施設改修年度	施設を改修した年度。(年は西暦)	数値	4	0	
上り下り区分C	上下区分を表す。	文字	1		コード
所在地自	該当する区間の起点側の所在地(字番地まで)(30文字以内)	文字	60		
項目名	定義	データ表現	文字数		単位
所在地至	該当する区間の終点側の所在地(字番地まで)(30文字以内)	文字	60		
種類	遮光フェンスの種類(名称)について20文字以内の日本語で記	文字	40		
設置箇所C	設置箇所を表す。	文字	2		コード
延長	該当する区間の遮光フェンスの延長(のべ延長)	数値	6	1	m
設置道路延長	遮光フェンスが設置されている道路延長	数値	6	1	m
最大高	遮光フェンスの高さの最大値を記入	数値	2	1	m
最小高	遮光フェンスの高さの最小値を記入	数値	2	1	m
基礎形式C	代表的な基礎形式を表す。	文字	1		コード
フェンス枚数	遮光フェンスの枚数を記入	数値	4	0	
備考	特記事項があれば50文字以内の日本語で記入	文字	100		
市区町村自C	該当する区間の始点側の市区町村名。使用するコードは「全国市町村要覧」の「都道府県市区町村コード」	文字	5		コード
市区町村至C	該当する区間の終点側の市区町村名。使用するコードは「全国市町村要覧」の「都道府県市区町村コード」	文字	5		コード

(34) E270 流雪溝

項目名	定義	データ表現	文字数		単位
			全体	小数	
路線	該当する路線を表す。	文字	4		
現旧区分C	該当する路線の現旧区分を表す。	文字	1		コード
百米標自	該当する区間の距離標(百米標)を表す。	数値	4	1	Km
距離自	該当する区間の距離標(百米標)からの距離を表す。	数値	4	0	m
百米標至	該当する区間の距離標(百米標)を表す。	数値	4	1	Km
距離至	該当する区間の距離標(百米標)からの距離を表す。	数値	4	0	m
施設完成年度	施設が完成した年度。(年は西暦)	数値	4	0	
施設改修年度	施設を改修した年度。(年は西暦)	数値	4	0	
上り下り区分C	上下区分を表す。	文字	1		コード
所在地自	該当する区間の起点側の所在地(字番地まで)(30文字以内)	文字	60		
所在地至	該当する区間の終点側の所在地(字番地まで)(30文字以内)	文字	60		
設置区分C	設置区分を表す。	文字	1		コード
構造形式種別C	構造形式種別を表す	文字	1		コード
延長	該当する区間における流雪溝の延長(のべ延長)	数値	6	0	m
幅	流雪溝の内空寸法の幅を記入	数値	2	1	m
高さ	流雪溝の内空寸法の高さを記入	数値	2	1	m
設置道路延長	流雪溝が設置されている道路延長	数値	6	0	m
備考	特記事項があれば50文字以内の日本語で記入	文字	100		
市区町村自C	該当する区間の始点側の市区町村名。使用するコードは「全国市町村要覧」の「都道府県市区町村コード」	文字	5		コード
市区町村至C	該当する区間の終点側の市区町村名。使用するコードは「全国市町村要覧」の「都道府県市区町村コード」	文字	5		コード

(35) E330 光ケーブル基本

項目名	定義	データ表現	文字数		単位
			全体	小数	
路線	該当する路線を表す。	文字	4		
現旧区分C	該当する路線の現旧区分を表す。	文字	1		コード
百米標自	該当する区間の距離標(百米標)を表す。	数値	4	1	Km
距離自	該当する区間の距離標(百米標)からの距離を表す。	数値	4	0	m
百米標至	該当する区間の距離標(百米標)を表す。	数値	4	1	Km
距離至	該当する区間の距離標(百米標)からの距離を表す。	数値	4	0	m
所在地自	該当する区間の始点側の所在地(字番地まで)(30文字以内)	文字	60		
所在地至	該当する区間の終点側の所在地(字番地まで)(30文字以内)	文字	60		
支持方法C	光ケーブルの支持方法を表す。	文字	2		コード
管路深さ又は配線高さ	管路敷設の深さ又は架空ケーブル等の配線高さ	数値	3	1	m
管路設置道路延長	管路が設置されている道路延長	数値	7	1	m
ケーブル敷設延長	光ケーブルの敷設延長	数値	7	1	m

項目名	定義	データ表現	文字数		単位
			全体	小数	
ケーブル敷設年月	光ケーブルの敷設年月。(年は西暦)	数値	6	0	
ケーブル種類C	光ケーブルの種類を表す。	文字	2		コード
ケーブル型式C	光ケーブルの型式を表す。	文字	2		コード
実装芯数	実際装置されているケーブルの芯線数	数値	3	0	本
敷設施設名称	光ケーブルが設置されている関連施設(共同溝、CAB等)の名	文字	20		
備考	特記事項があれば50文字以内の日本語で記入	文字	100		
市区町村自C	該当する区間の始点側の市区町村名。使用するコードは「全国市町村要覧」の「都道府県市区町村コード」	文字	5		コード
市区町村至C	該当する区間の終点側の市区町村名。使用するコードは「全国市町村要覧」の「都道府県市区町村コード」	文字	5		コード

(36) E334 光ケーブル端局

項目名	定義	データ表現	文字数		単位
			全体	小数	
路線	該当する路線を表す。	文字	4		
現旧区分C	該当する路線の現旧区分を表す。	文字	1		コード
百米標	該当する区間の距離標(百米標)を表す。	数値	4	1	Km
距離	該当する区間の距離標(百米標)からの距離を表す。	数値	4	0	m
所在地	該当する区間の所在地(字番地まで)(30文字以内)	文字	60		
端局設置年月	端局・接続箱の設置年月。(年は西暦)	数値	6	0	
端局装置種別C	端局・接続箱の装置種別	文字	2		コード
端局設置区分C	端局・接続箱の設置区分	文字	2		コード
端局製造者名	端局・接続箱の製造者名(15文字以内)	文字	30		
備考	特記事項があれば50文字以内の日本語で記入	文字	100		
市区町村C	該当する区間の市区町村名。使用するコードは「全国市町村要覧」の「都道府県市区町村コード」	文字	5		コード

(37) E350 ビーコン基本

項目名	定義	データ表現	文字数		単位
			全体	小数	
路線	該当する路線を表す。	文字	4		
現旧区分C	該当する路線の現旧区分を表す。	文字	1		コード
百米標	該当する区間の距離標(百米標)を表す。	数値	4	1	Km
距離	該当する区間の距離標(百米標)からの距離を表す。	数値	4	0	m
上り下り区分C	上下区分を表す。	文字	1		コード
所在地	該当する区間の所在地(字番地まで)(30文字以内)	文字	60		
完成年月	ビーコンが完成した年月。(年は西暦)	数値	6	0	
設置箇所C	設置箇所を表す。	文字	1		コード
送信種別C	送信種別を表す。	文字	1		コード
ビーコン種類C	ビーコン種別を表す。	文字	2		コード
情報提供区間長	情報が提供される区間(サービスエリア間)の延長	数値	3	0	m
情報提供道路幅	情報が提供される区間(サービスエリア間)の道路幅	数値	3	1	m
情報区分C	情報提供区分を表す。	文字	2		コード
AS名	AS(ビーコンセンターから送られてくる情報を受け持ち地域の	文字	30		
AS設置場所	ASの設置場所(30文字以内)	文字	60		
備考	特記事項があれば50文字以内の日本語で記入	文字	100		
市区町村C	該当する区間の市区町村名。使用するコードは「全国市町村要	文字	5		コード

2 . 詳細情報のサンプル

道路施設基本データ詳細情報のサンプルを以下に示す。

なお、各項目はダブルクォーテーション「”」で括る。

(1) 道路情報板を 1 基新設した場合

E06001.CSV

```
”路線”,”現旧区分”,”整理番号 1”,”整理番号 2”,”整理番号 3”,”補助番号”,”百米標”,”距離”,”施設改修年度”,”完成年月”,”情報板種別 C”,”表示方法 C”,”制御方法 C”,”市区町村 C”,
”0004”,”1”,””,””,””,””,””,””,”623.0”,”90”,”*”,”199403”,”1”,”4”,”3”,”02441”
```

(2) 防護柵を 2 箇所撤去した場合

E01001.CSV

```
”路線”,”現旧区分”,”整理番号 1”,”整理番号 2”,”整理番号 3”,”補助番号”,”市区町村 C”,”百米標自”,”距離自”,”百米標至”,”距離至”,”上り下り区分 C”,”設置箇所 C”,”防護柵種別 C”,”設置区分 C”,”設置延長”,
”0007”,”1”,”0001”,”0000”,”0000”,”*”,”02441”,”418.0”,”20”,”418.0”,”50”,”1”,”1”,”101”,”1”,”30.0”
```

E01002.CSV

```
”路線”,”現旧区分”,”整理番号 1”,”整理番号 2”,”整理番号 3”,”補助番号”,”市区町村 C”,”百米標自”,”距離自”,”百米標至”,”距離至”,”上り下り区分 C”,”設置箇所 C”,”防護柵種別 C”,”設置区分 C”,”設置延長”,
”0007”,”1”,”0002”,”0000”,”0000”,”*”,”02441”,”418.1”,”30”,”418.1”,”50”,”1”,”1”,”101”,”1”,”20.0”
```

(3) 道路標識を 1 基新設した場合（板が 2 枚）

E05001.CSV

```
”路線”,”現旧区分”,”整理番号 1”,”整理番号 2”,”整理番号 3”,”補助番号”,”百米標”,”距離”,”上り下り区分 C”,”設置箇所 C”,”設置方式 C”,”支柱形式 C”,”基礎形式 C”,”クリアランス”,”施設改修年度”,”完成年月”,”市区町村 C”,
”0016”,”1”,””,””,””,””,””,””,”57.3”,”25”,”1”,”1”,”11”,”11”,”1”,”5.1”,”*”,”199905”,”02441”
```

E05101.CSV

```
”整理番号 1”,”整理番号 2”,”整理番号 3”,”補助番号”,”標識種類番号”,”板寸法縦”,”板寸法横”,
”,”,”,”,”,”114-A”,”120”,”325”,
”,”,”,”,”,”118”,”45”,”45”
```

3 . 道路施設基本データ関連の管理ファイル

3-1 工事管理ファイル、その他管理ファイルのXML 記入項目

3-1-1 工事管理ファイルのXML 記入項目

電子成果品の工事管理ファイル「INDEX_C.XML」には、その他フォルダ「OTHR」に格納する「ORG999」フォルダについて記載する。

(1) 工事管理ファイルの項目

電子成果品に格納する工事管理ファイル「INDEX_C.XML」の入力例を表 1 に示す。なお、網掛け部分が入力する項目である。

表 1 工事管理ファイル入力例

カテゴリ	項目名	入力したデータ
基礎情報	メディア番号	2
	メディア総枚数	3
	適用要領基準	土木 200406-01
	発注図フォルダ名	DRAWINGS
	特記仕様書オリジナルファイルフォルダ名	DRAWINGS/SPEC
	打合せ簿フォルダ名	MEET
	打合せ簿オリジナルファイルフォルダ名	MEET/ORG
	施工計画書フォルダ名	PLAN
	施工計画書オリジナルファイルフォルダ名	PLAN/ORG
	完成図フォルダ名	DRAWINGF
	写真フォルダ名	PHOTO
	その他フォルダ名	OTHR
	その他オリジナルファイルフォルダ名	OTHR/ORG999
その他オリジナルファイルフォルダ日本語名	道路施設基本データフォルダ	
工事件名等	発注年度	2008
	工事番号	2008210123
	工事名称	国道〇号〇〇塗装修繕工事
	工事実績システムバージョン番号	5.0
	工事分野	道路
	工事業種	土木一式工事
	工種	歩行者系舗装工事
	工法型式	歩行者系舗装工
	住所コード	08220
	住所	茨城県つくば市〇〇3丁目〇〇番地
	工期開始日	2008-11-06
	工期終了日	2009-02-26
	工事内容	掘削工 8500m3、土止め工 2800m2、埋戻し工 9500m3、路面覆工 300m2
場所情報	測地系	01
	対象水系路線名	国道〇号
	現道-旧道区分	1
	対象河川コード	8606040001
	左右岸上下線コード	10
	起点側測点-n	15
	起点側測点-m	8
	終点側測点-n	18
	終点側測点-m	5
	起点側距離標-n	31
	起点側距離標-m	45
	終点側距離標-n	36
	終点側距離標-m	67
	西側境界座標経度	1383730
	東側境界座標経度	1384500
	北側境界座標緯度	353500

カテゴリ	項目名	入力したデータ
	南側境界座標緯度	352000
施設情報	施設名称	〇〇トンネル
発注者情報	発注者-大分類	国土交通省
	発注者-中分類	〇〇地方整備局
	発注者-小分類	〇〇事務所
	発注者コード	10102124
請負者情報	請負者名	〇〇建設株式会社△△組共同企業体 (代表：〇〇建設株式会社)
	請負者コード	10012345000
予備		
ソフトメーカー用 TAG		

(2) 工事管理ファイルの出力例

工事管理ファイルの出力例を以下に示す。

```

<?xml version="1.0" encoding="Shift_JIS"?>
<!DOCTYPE constdata SYSTEM "INDE_C03.DTD">
<constdata DTD_version="03">
<基礎情報>
  <メディア番号>2</メディア番号>
  <メディア総枚数>3</メディア総枚数>
  <適用要領基準>土木 200406-01</適用要領基準>
  <発注図フォルダ名>DRAWINGS</発注図フォルダ名>
  <特記仕様書オリジナルファイルフォルダ名>DRAWINGS/SPEC
  </特記仕様書オリジナルファイルフォルダ名>
  <打合せ簿フォルダ名>MEET</打合せ簿フォルダ名>
  <打合せ簿オリジナルファイルフォルダ名>MEET/ORG</打合せ簿オリジナルファイルフォルダ名>
  <施工計画書フォルダ名>PLAN</施工計画書フォルダ名>
  <施工計画書オリジナルファイルフォルダ名>PLAN/ORG</施工計画書オリジナルファイルフォルダ名>
  <完成図フォルダ名>DRAWINGF</完成図フォルダ名>
  <写真フォルダ名>PHOTO</写真フォルダ名>
  <その他フォルダ名>OTHR</その他フォルダ名>
  <その他オリジナルフォルダ情報>
    <その他オリジナルファイルフォルダ名>OTHR/ORG999
  </その他オリジナルファイルフォルダ名>
    <その他オリジナルファイルフォルダ日本語名>道路施設基本データフォルダ
  </その他オリジナルファイルフォルダ日本語名>
  <その他オリジナルフォルダ情報>
</基礎情報>
<工事件名等>
  <発注年度>2008</発注年度>
  <工事番号>2008210123</工事番号>
  <工事名称>国道〇号〇〇塗裝修繕工事</工事名称>
  <工事実績システムバージョン番号>5.0</工事実績システムバージョン番号>
  <工事分野>道路</工事分野>
  <工事業種>土木一式工事</工事業種>
  <工種-工法型式>
    <工種>歩行者系舗装工事</工種>
    <工法型式>歩行者系舗装工</工法型式>
  </工種-工法型式>
  <住所情報>
    <住所コード>08220</住所コード>
    <住所>茨城県つくば市〇〇3丁目〇〇番地</住所>
  </住所情報>
  <工期開始日>2008-11-06</工期開始日>
  <工期終了日>2009-02-26</工期終了日>
  <工事内容>掘削工 8500m3、土止め工 2800m2、埋戻し工 9500m3、路面覆工 300m2</工事内容>
</工事件名等>
<場所情報>

```

```

<測地系>01</測地系>
<水系-路線情報>
  <対象水系路線名>国道〇号</対象水系路線名>
  <現道-旧道区分>1</現道-旧道区分>
  <対象河川コード>8606040001</対象河川コード>
  <左右岸上下線コード>10</左右岸上下線コード>
  <測点情報>
    <起点側測点-n>0015</起点側測点-n>
    <起点側測点-m>008</起点側測点-m>
    <終点側測点-n>0018</終点側測点-n>
    <終点側測点-m>005</終点側測点-m>
  </測点情報>
  <距離標情報>
    <起点側距離標-n>031</起点側距離標-n>
    <起点側距離標-m>045</起点側距離標-m>
    <終点側距離標-n>036</終点側距離標-n>
    <終点側距離標-m>067</終点側距離標-m>
  </距離標情報>
</水系-路線情報>
<境界座標情報>
  <西側境界座標経度>1383730</西側境界座標経度>
  <東側境界座標経度>1384500</東側境界座標経度>
  <北側境界座標緯度>0353500</北側境界座標緯度>
  <南側境界座標緯度>0352000</南側境界座標緯度>
</境界座標情報>
</場所情報>
<施設情報>
  <施設名称>〇〇トンネル</施設名称>
</施設情報>
<発注者情報>
  <発注者-大分類>国土交通省</発注者-大分類>
  <発注者-中分類>〇〇地方整備局</発注者-中分類>
  <発注者-小分類>〇〇事務所</発注者-小分類>
  <発注者コード>10102124</発注者コード>
</発注者情報>
<請負者情報>
  <請負者名>〇〇建設株式会社△△組共同企業体(代表：〇〇建設株式会社)</請負者名>
  <請負者コード>10012345000</請負者コード>
</請負者情報>
<予備></予備>
<ソフトメーカー用 TAG></ソフトメーカー用 TAG>
</constdata>

```

3-1-2 その他管理ファイルのXML 記入項目

電子成果品のその他管理ファイル「OTHR.XML」には、その他フォルダ「OTHR」に格納する「ORG999」フォルダ、道路施設基本データ管理ファイル「ORG999.XML」について記載する。

(1) その他管理ファイルの入力例

電子成果品のその他管理ファイル「OTHR.XML」の入力例を表 2 に示す。なお、網掛け部分が入力する項目である。

表 2 その他管理ファイルの入力項目

カテゴリ・項目名		入力例	
サブフォルダ情報	その他サブフォルダ名	ORG999	
	その他サブフォルダ日本語名	道路施設基本データフォルダ	
	資料名	道路施設基本データ管理ファイル	
	オリジナルファイル情報※1	シリアル番号	1
		オリジナルファイル名	ORG999.XML
		オリジナルファイル名日本語名	道路施設基本データ管理ファイル XML
		オリジナルファイル作成ソフトバージョン情報	○△□ワープロソフト_2004
		オリジナルファイル内容	道路施設基本データ管理ファイルの XML
		予備	
		シリアル番号	2
		オリジナルファイル名	ORG99901.DTD
		オリジナルファイル名日本語名	道路施設基本データ管理ファイル DTD
		オリジナルファイル作成ソフトバージョン情報	○△□ワープロソフト_2004
	オリジナルファイル内容	道路施設基本データ管理ファイルの DTD	
	予備		
	その他	請負者説明文	
		発注者説明文	道路施設基本データを格納する。
ソフトメーカー用 TAG			

※1：複数存在する場合には、その項目を必要な回数繰り返す。

(2) その他管理ファイルの出力例

その他管理ファイルの出力例を以下に示す。

```

<?xml version="1.0" encoding="Shift_JIS"?>
<!DOCTYPE othrsdata SYSTEM "OTHR03.DTD">
<othrsdata DTD_version="03">
  <サブフォルダ情報>
    <その他サブフォルダ名> ORG999 </その他サブフォルダ名>
    <その他サブフォルダ日本語名>道路施設基本データフォルダ</その他サブフォルダ日本語名>
    <その他資料情報>
      <資料名>道路施設基本データ管理ファイル</資料名>
      <オリジナルファイル情報>
        <シリアル番号>1</シリアル番号>
        <オリジナルファイル名> ORG999.XML </オリジナルファイル名>
        <オリジナルファイル日本語名>道路施設基本データ管理ファイル XML </オリジナルファイル日本語名>
        <オリジナルファイル作成ソフトバージョン情報>○△□ワープロソフト_2004</オリジナルファイル作成ソフトバージョン情報>
        <オリジナルファイル内容>道路施設基本データ管理ファイルの XML </オリジナルファイル内容>
        <予備></予備>
      </オリジナルファイル情報>
      <オリジナルファイル情報>
        <シリアル番号>2</シリアル番号>
        <オリジナルファイル名> ORG99901.DTD </オリジナルファイル名>
        <オリジナルファイル日本語名>道路施設基本データ管理ファイル DTD </オリジナルファイル日本語名>
        <オリジナルファイル作成ソフトバージョン情報>○△□ワープロソフト_2004</オリジナルファイル作成ソフトバージョン情報>
        <オリジナルファイル内容>道路施設基本データ管理ファイルの DTD </オリジナルファイル内容>
        <予備></予備>
      </オリジナルファイル情報>
    <その他>
      <請負者説明文></請負者説明文>
      <発注者説明文>道路施設基本データを格納する。</発注者説明文>
    </その他>
  </その他資料情報>
</サブフォルダ情報>
</othrsdata>

```

3-2 ORG999 のフォルダ・ファイル構成および道路施設基本データ管理ファイルの XML 入力項目

3-2-1 ORG999 以下のフォルダ・ファイル構成

道路施設基本データを格納する「ORG999」フォルダ・ファイルの構成を、表 3 に示す。

表 3 「ORG999」フォルダ内のフォルダ・ファイル構成

構成	名称／拡張子	解説
道路施設基本データ管理ファイル	ORG999.XML 拡張子：.xml *格納する ORG999 フォルダと名称を合わせる。	「道路施設基本データ管理ファイル」は、道路施設の基本属性を表すデータを XML 文書（XML バージョン 1.0 に準拠）で記述したファイルであり、ファイル名称を半角英数大文字で「ORG999.XML」とする。なお、「ORG99901.DTD」もこのフォルダに格納するものとする。
道路施設諸元データフォルダ	SYOGEN	各種道路施設の諸元データは、「SYOGEN」フォルダに工種毎（施設毎）のサブフォルダを設けて格納する。サブフォルダは、工事内容に応じて関連するフォルダのみを作成するものとする。
道路施設基本データ位置図ファイル	Innn.PDF 拡張子：.pdf *「nnn」は連番（位置図ファイル数分）	ファイル名称は I（位置図を表すアルファベット）に連番「nnn」を付けたもの（道路施設基本データ位置図番号）とする。「SYOGEN」フォルダに格納する。
道路施設諸元サブフォルダ	例：D010	道路施設の諸元データは、施設諸元サブフォルダに格納する。施設諸元サブフォルダは、道路施設の種類毎に作成し、フォルダ名称は表 1 の施設番号に合わせる。
個別道路施設諸元サブフォルダ	例：D010ii *「ii」は連番（施設数分）	道路施設の道路施設基本データ詳細情報、道路施設一般図、現況写真は、個別道路施設諸元サブフォルダに格納する。個別道路施設諸元サブフォルダは、道路施設基本データの作成施設単位毎に作成し、フォルダ名称は、道路施設諸元サブフォルダの名称に連番「ii」*1を付けたものとする。
道路施設基本データ詳細情報ファイル	例：D010ii.CSV 拡張子：.csv *「ii」は個別道路施設諸元サブフォルダと合わせる。	ファイル名称は道路施設基本データ詳細情報番号（D010、D011、D012 など、表 1 参照）に連番「ii」*1を付けたものとする。
道路施設一般図フォルダ	例：S_DRAW	施設の一般図ファイルは、道路施設一般図フォルダに格納する。道路施設一般図フォルダは、一般図が必要な施設のみ作成する。
道路施設一般図ファイル	例：D010iijj.JPG、 D010iijj.P21 拡張子：.jpg、p21 *「jj」は連番（イメージファイル数分）	ファイル名称は個別道路施設諸元サブフォルダの名称に連番「jj」*1を付けたものとする。
道路施設現況写真フォルダ	S_PHOTO	現況写真ファイルは、道路施設現況写真フォルダに格納する。道路施設現況写真フォルダは、現況写真が必要な施設のみ作成する。
現況写真ファイル	例：D010iijj.JPG 拡張子：.jpg	ファイル名称は個別道路施設諸元サブフォルダの名称に連番「jj」*1を付けたものとする。

※1：連番が 100 を超える場合は、アルファベット（半角大文字）及び数字（半角）を用いる。

例、100～109 の場合は A0～A9、110～119 の場合は B0～B9、120～129 の場合は C0～C9、とする

3-2-2 道路施設基本データ管理ファイルのXML入力項目

道路施設基本データの管理ファイルとして「ORG999.XML」を作成し、ORG999 フォルダに格納する。また、「ORG999.XML」のデータ構造を示す「ORG999.DTD」を用意する。

(1) 道路施設基本データ管理ファイルの入力項目

電子成果品の道路施設基本データ管理ファイル「ORG999.XML」の入力項目および入力例を表4に示す。但し、個人情報保護法上の問題が生じる項目については入力を省略してもよい。

表4 道路施設基本データ管理ファイルの入力項目

カテゴリ	入力項目	データ形式	入力例	必要度		
道路施設諸元データフォルダ情報	道路施設諸元データフォルダ名	半角英数字大文字 127 文字	SYOGEN	◎		
	道路施設諸元データフォルダ日本語名（固定）	全角文字 13 文字	道路施設諸元データフォルダ	◎		
工事の概要	概要	全角文字, 半角英数字 127 文字	〇〇に関する工事	◎		
	供用未供用の別	全角文字 3 文字	供用	◎		
	供用予定	供用年	半角英数字 4 文字	2008	◎	
		供用月	半角英数字 2 文字	1	◎	
データ作成基礎情報	データ作成者 請負会社	現場代理人	全角文字, 半角英数字 127 文字	×× ××	△	
		主任技術者	全角文字, 半角英数字 127 文字	〇〇 〇〇	△	
		連絡先	TEL	半角英数字 12 文字	0999-99-9999	△
			FAX	半角英数字 12 文字	0999-99-1111	△
			E-Mail	半角英数字 127 文字	〇〇〇@〇〇.jp	△
	監督職員	監督部署	全角文字, 半角英数字 127 文字	■■ ■■	△	
		主任監督員	全角文字, 半角英数字 127 文字	△△ △△	△	
		監督員	全角文字, 半角英数字 127 文字	☆☆ ☆☆	△	
	発注担当課長	全角文字, 半角英数字 127 文字	□□ □□	△		
	データ作成対象施設	道路施設種別※1※2	半角英数字大文字 4 文字	D010	◎	
道路施設諸元サブフォルダ情報※1	道路施設諸元サブフォルダ名	半角英数字大文字 127 文字	D010	◎		
	道路施設諸元サブフォルダ日本語名	半角英数字大文字 127 文字	D010	◎		
	個別道路施設諸元サブフォルダ名※1	個別道路施設諸元サブフォルダ名	半角英数字大文字 127 文字	D01001	◎	
		個別道路施設諸元サブフォルダ日本語名※3	半角英数字大文字 127 文字	D01001	◎	
	道路施設情報	道路施設名称	全角文字, 半角英数字 127 文字	●●橋	◎	
		工事区分※4	全角文字 2 文字	改良	◎	
	道路施設基本データ詳細情報	道路基本データファイル名※1	半角英数字大文字 127 文字	D01001.CSV	◎	
	図面フォルダ	図面フォルダ名	半角英数字大文字 127 文字	S_DRAW	◎	
		図面フォルダ日本語名（固定）	全角文字 6 文字	図面フォルダ	◎	
		図面ファイル名※1	半角英数字大文字 127 文字	D0100101.P21	◎	
	写真フォルダ	写真フォルダ名	半角英数字大文字 127 文字	S_PHOTO	◎	
		写真フォルダ日本語名（固定）	全角文字 6 文字	写真フォルダ	◎	
		写真ファイル名※1	半角英数字大文字 127 文字	D0100101.JPG	◎	

凡例 ◎：必須記入 △：任意記入

※1：複数存在する場合には、その項目を必要な回数繰り返す。

※2：道路施設種別は、表1に示している施設名に対応する施設番号とする。

※3：個別道路施設諸元サブフォルダ日本語名は、サブフォルダ名称とする。

※4：工事区分は、「新設」、「改良」、「撤去」のいずれかとする。

(2) 道路施設基本データ管理ファイルの出力例

道路施設基本データ管理ファイルの出力例を以下に示す。

```

<?xml version="1.0" encoding="Shift_JIS"?>
<!DOCTYPE orgdata SYSTEM "ORG99901.DTD">
<orgdata DTD_version="01">
<道路施設諸元データフォルダ情報>
<道路施設諸元データフォルダ名>SYOGEN</道路施設諸元データフォルダ名>
<道路施設諸元データフォルダ日本語名>道路施設諸元データフォルダ</道路施設諸元データフォルダ日本語名>
</道路施設諸元データフォルダ情報>
<工事の概要>
<概要>〇〇に関する工事</概要>
<供用未供用の別>供用</供用未供用の別>
<供用予定>
<供用年>2008</供用年>
<供用月>1</供用月>
</供用予定>
</工事の概要>
<データ作成基礎情報>
<データ作成者>
<請負会社>
<現場代理人>×× ××</現場代理人>
<主任技術者>〇〇 〇〇</主任技術者>
<連絡先>
<TEL>0999-99-9999</TEL>
<FAX>0999-99-1111</FAX>
<E-Mail>〇〇〇@〇〇.jp</E-Mail>
</連絡先>
</請負会社>
<監督職員>
<監督部署>■ ■ ■ ■</監督部署>
<主任監督員>△△ △△</主任監督員>
<監督員>☆☆ ☆☆</監督員>
</監督職員>
<発注担当課長>□□ □□</発注担当課長>
</データ作成者>
<データ作成対象施設>
<道路施設種別>D010</道路施設種別>
</データ作成対象施設>
</データ作成基礎情報>
<道路施設諸元サブフォルダ情報>
<道路施設諸元サブフォルダ名>D010</道路施設諸元サブフォルダ名>
<道路施設諸元サブフォルダ日本語名>D010</道路施設諸元サブフォルダ日本語名>
<個別道路施設諸元サブフォルダ>
<個別道路施設諸元サブフォルダ名>D01001</個別道路施設諸元サブフォルダ名>
<個別道路施設諸元サブフォルダ日本語名> D01001</個別道路施設諸元サブフォルダ日本語名>
<道路施設情報>
<道路施設名称>●●橋</道路施設名称>
<工事区分>改良</工事区分>
</道路施設情報>
<道路施設基本データ詳細情報>

```

<道路施設基本データファイル名>D01001.CSV</道路施設基本データファイル名>
</道路施設基本データ詳細情報>
<図面フォルダ>
<図面フォルダ名>S_DRAW</図面フォルダ名>
<図面フォルダ日本語名>図面フォルダ</図面フォルダ日本語名>
<図面ファイル名>D0100101.P21</図面ファイル名>
</図面フォルダ>
<写真フォルダ>
<写真フォルダ名>S_PHOTO</写真フォルダ名>
<写真フォルダ日本語名>写真フォルダ</写真フォルダ日本語名>
<写真ファイル名>D0100101.JPG</写真ファイル名>
</写真フォルダ>
</個別道路施設諸元サブフォルダ>
</道路施設諸元サブフォルダ情報>
<備考/>
</orgdata>

(3) 道路施設基本データ管理ファイルの DTD 作成例

道路施設基本データ管理ファイルの DTD 作成例を次に示す。

```

<!--ORG99901.DTD / 2005/03 -->
<!ELEMENT orgdata (道路施設諸元データフォルダ情報, 工事の概要, データ作成基礎情報, 道路施設諸元サブフォルダ情報+, 備考)>
<!ATTLIST orgdata DTD_version CDATA #FIXED "01">

<!--*****-->
<!--                道路施設諸元データフォルダ情報                -->
<!--*****-->
<!ELEMENT 道路施設諸元データフォルダ情報 (道路施設諸元データフォルダ名, 道路施設諸元データフォルダ日本語名)>
<!ELEMENT 道路施設諸元データフォルダ名 (#PCDATA)>
<!ELEMENT 道路施設諸元データフォルダ日本語名 (#PCDATA)>

<!--*****-->
<!--                工事の概要                -->
<!--*****-->
<!ELEMENT 工事の概要 (概要, 供用未供用の別, 供用予定?)>
<!ELEMENT 概要 (#PCDATA)>
<!ELEMENT 供用未供用の別 (#PCDATA)>
<!ELEMENT 供用予定 (供用年, 供用月)>
<!ELEMENT 供用年 (#PCDATA)>
<!ELEMENT 供用月 (#PCDATA)>

<!--*****-->
<!--                データ作成基礎情報                -->
<!--*****-->
<!ELEMENT データ作成基礎情報 (データ作成者, データ作成対象施設)>
<!ELEMENT データ作成者 (請負会社, 監督職員, 発注担当課長)>
<!ELEMENT 請負会社 (現場代理人, 主任技術者, 連絡先)>
<!ELEMENT 現場代理人 (#PCDATA)>
<!ELEMENT 主任技術者 (#PCDATA)>
<!ELEMENT 連絡先 (TEL, FAX, E-Mail)>
<!ELEMENT TEL (#PCDATA)>
<!ELEMENT FAX (#PCDATA)>
<!ELEMENT E-Mail (#PCDATA)>
<!ELEMENT 監督職員 (監督部署, 主任監督員, 監督員)>

```

```

<!ELEMENT 監督部署 (#PCDATA)>
<!ELEMENT 主任監督員 (#PCDATA)>
<!ELEMENT 監督員 (#PCDATA)>
<!ELEMENT 発注担当課長 (#PCDATA)>
<!ELEMENT データ作成対象施設 (道路施設種別+)>
<!ELEMENT 道路施設種別 (#PCDATA)>

<!--*****-->
<!--                道路施設諸元サブフォルダ情報                -->
<!--*****-->
<!ELEMENT 道路施設諸元サブフォルダ情報 (道路施設諸元サブフォルダ名+, 道路施設諸元サブフォルダ日本語名+,
個別道路施設諸元サブフォルダ+)>
<!ELEMENT 道路施設諸元サブフォルダ名 (#PCDATA)>
<!ELEMENT 道路施設諸元サブフォルダ日本語名 (#PCDATA)>
<!ELEMENT 個別道路施設諸元サブフォルダ (個別道路施設諸元サブフォルダ名, 個別道路施設諸元サブフォルダ日
本語名, 道路施設情報, 道路施設基本データ詳細情報, 図面フォルダ*, 写真フォルダ*)>
<!ELEMENT 個別道路施設諸元サブフォルダ名 (#PCDATA)>
<!ELEMENT 個別道路施設諸元サブフォルダ日本語名 (#PCDATA)>
<!ELEMENT 道路施設情報 (道路施設名称, 工事区分)>
<!ELEMENT 道路施設名称 (#PCDATA)>
<!ELEMENT 工事区分 (#PCDATA)>
<!ELEMENT 道路施設基本データ詳細情報 (道路施設基本データファイル名+)>
<!ELEMENT 道路施設基本データファイル名 (#PCDATA)>
<!ELEMENT 図面フォルダ (図面フォルダ名, 図面フォルダ日本語名, 図面ファイル名+)>
<!ELEMENT 図面フォルダ名 (#PCDATA)>
<!ELEMENT 図面フォルダ日本語名 (#PCDATA)>
<!ELEMENT 図面ファイル名 (#PCDATA)>
<!ELEMENT 写真フォルダ (写真フォルダ名, 写真フォルダ日本語名, 写真ファイル名+)>
<!ELEMENT 写真フォルダ名 (#PCDATA)>
<!ELEMENT 写真フォルダ日本語名 (#PCDATA)>
<!ELEMENT 写真ファイル名 (#PCDATA)>

<!--*****-->
<!--                備考                -->
<!--*****-->
<!ELEMENT 備考 (#PCDATA)>

```

4.道路施設基本データ作成上の留意点

特にデータ作成ミスが多い工種について、ミス事例を例示し作成上の留意点として整理した。（主に12工種）

工種※	項目		留意点[一例]
①C080歩道自歩道	入力方法	切り下げ箇所数	• マウントアップの場合で交差点により歩道が切り下げられている箇所数が対象
②D010橋梁	作成単位	補修歴・塗装歴	• 補修や再塗装の場合は上部工は径間毎、下部工は躯体毎に作成
③D090横断BOX	作成対象	対象条件確認	• 管理する道路[国道]を横断しているボックスカルバート等が対象
④D100パイプカルバート	作成対象	対象条件確認	• 管理する道路下に埋設されている管渠が対象
⑤D110のり面	作成対象	対象条件確認	• 道路管理者の管理しているのり面が作成対象
⑥D120擁壁	作成対象	対象条件確認	• ブロック積擁壁では、最大直高3m以上が対象
⑦E010防護柵	入力方法	防護柵種別	• 適切な選択肢がなければ、「その他」を入力
⑧E020照明	入力方法	関連施設名称	• 設置区分が道路照明の場合は、「*」を入力
⑨E030反射誘導標	作成対象	対象条件確認	• 自立した支柱を持つものが対象
⑩E040自光誘導標	作成対象	対象条件確認	• 自立した支柱を持つものが対象
⑪E050標識	入力方法	クリアランス	• 車道の上に設置されていない場合は、「*」を入力
⑫E150雪崩防止	作成対象	対象条件確認	• 雪崩防止施設における「施設種別」毎に作成

※工種名は省略して表記

【延長を持つ工種共通】 (C020 縦断勾配、D010 橋梁、E010 防護柵 等)

- 距離標間距離と延長の整合を確認する

【ミス事例：D100 パイプカルバート】

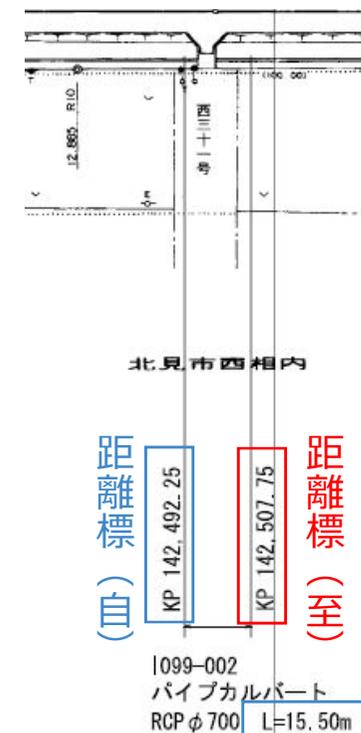
- ・ 「距離標間距離」 (距離至標－距離標自) の値が、「延長」と異なる
 誤：(142.6km+08m)－(142.4km+92m) = **116 m** (正：**15.50 m**)

路線	現旧区分C	整理番号1	百米標自	距離自	百米標至	距離至	形式種別	延長
0039	1	00980100	142.4	92	142.6	08	鉄筋コンクリート管	15.50

【チェック方法】

道路維持台帳附図等の

図面と入力データの距離標・延長を比較



【参考】本編 2-5 道路施設基本データ詳細情報 8) 距離標

【工種共通】

- イメージデータ（道路施設一般図 画像データ／現況写真スキャニング）の解像度は200dpiとする

【ミス事例】

- ・道路施設一般図（画像データjpeg形式）の解像度が300dpiや180dpiで作成されている
⇒（正）200dpiで作成

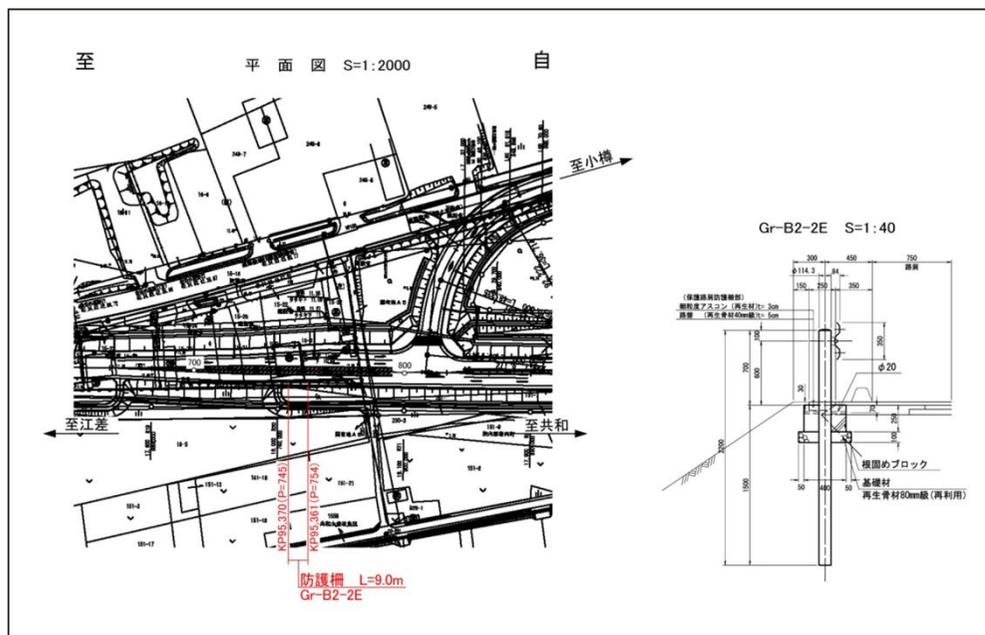


表2-10 イメージデータのファイル形式および解像度仕様

項目	種別	道路施設一般図		現況写真	
		画像データの場合	CADデータの場合	デジカメ写真の場合	スキャニングの場合
ファイル形式		JPG形式	SXF形式※ (拡張子.p21)	JPG形式	JPG形式
解像度仕様	階調	フルカラー	—	フルカラー	フルカラー
	解像度	200 dpi	—	100万画素程度	200 dpi
	圧縮率	50 %	—	50 %	50 %

プロパティ	値
イメージ ID	
大きさ	2071 x 1291
幅	2071 ピクセル
高さ	1291 ピクセル
水平方向の解像度	200 dpi
垂直方向の解像度	200 dpi
ビットの深さ	24

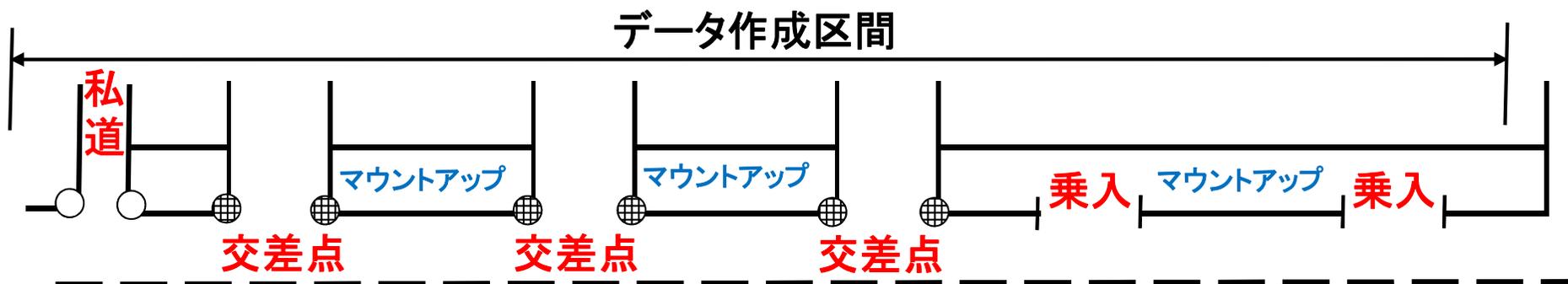
【参考】本編 2-6 イメージデータ (2)イメージデータのファイル形式等

【①C080 歩道自歩道 / 入力方法】

- 歩道等種別や切り下げ箇所数の入力方法を確認

歩道等種別	コード	考え方
歩道	1	歩行者のみ通行可能な歩道 【目安幅員2.0m以下】
歩道 + 自転車道	2	歩道と自転車道が段差等により区画されている歩道
自転車歩行者道	3	歩行者及び自転車の通行が可能な歩道【  標識がある歩道】
歩道等（分離）	4	人家等の障害物により、車道部から離れて設けられた自転車専用道路

切下げ箇所数	考え方
 交差点部切下げ箇所数	該当区間がマウントアップの場合で、 交差点により歩道が切り下げられている箇所数 を入力（下図の場合、3箇所）※乗入部を含まない
 その他切下げ箇所数	該当区間がマウントアップの場合で、 私道等により歩道が切り下げられている箇所数 を入力（下図の場合、1箇所）※乗入部を含まない



【参考】道路管理データベース作成マニュアル(項目別記入要領集)道路施設データ編 C080歩道自歩道

【②D019 橋梁塗装歴・D01A 橋梁補修歴 / 作成単位】

- D019 橋梁塗装歴は桁全体を再塗装した場合に作成するため、部分塗装は作成不要
- D01A橋梁補修歴は、上下線で分割されている橋梁は上下別に作成



【ミス事例】

(誤) 補修後に部分塗装した箇所を「D019 橋梁塗装歴」としてデータ作成

⇒ (正) 桁全体が対象となるため、部分塗装は作成不要



【ミス事例】

(誤) 「D01A 橋梁補修歴」の補修改良内容「落橋防止装置の設置」を1橋のデータで作成

⇒ (正) 上下分割されている橋梁は上下別に作成が必要

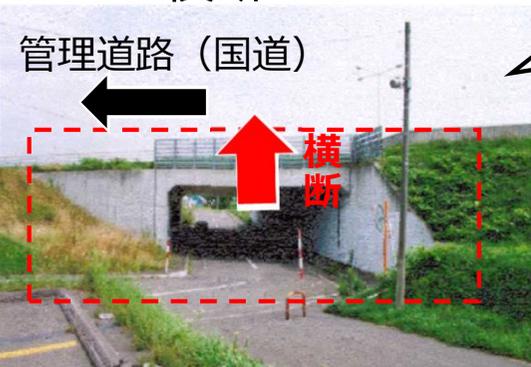
※ 「D017 橋梁径間」の落橋防止装置の有無も併せて修正する必要あり

【参考】道路管理データベース作成マニュアル(項目別記入要領集)道路施設データ編
D019橋梁塗装歴、D01A橋梁補修歴

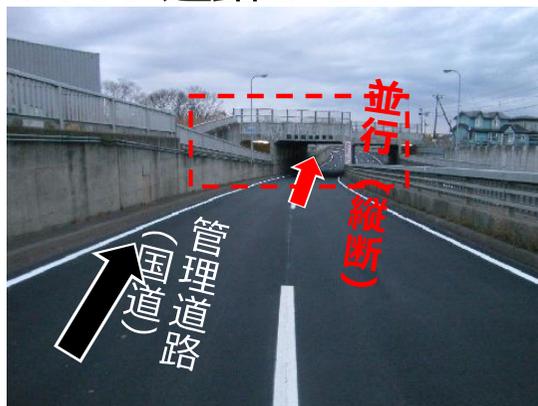
【③D090 横断BOX / 作成対象】

- 管理する道路（国道）を横断しているボックスカルバート、門型カルバート、およびアーチカルバート等が対象
 ※ただし、橋梁として取り扱われる「スパン2m以上、土被り1m未満（溝橋）」は対象外
- 「D080 道路BOX」（管理する道路に並行）との違いに留意

D090 横断BOX



D080 道路BOX



【ミス事例】

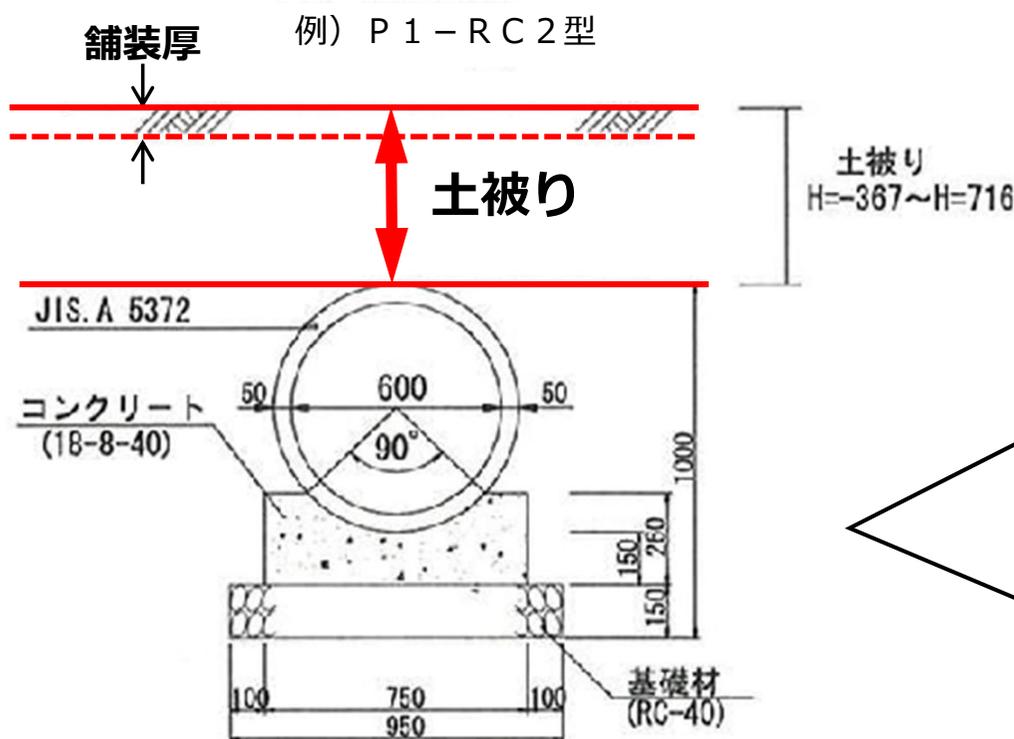
（誤）「車が通行可能」という理由で「道路BOX」でデータを作成
 ⇒（正）管理する道路を横断しているため「横断BOX」で作成

D090 横断BOX	管理する道路を横断（国道がボックスの上部を通行）する、ボックスカルバート、門形カルバート およびアーチカルバート等
D080 道路BOX	管理する道路に対し並行する（国道がボックス内を通行）、アンダーパス等の箇所などに設けられたボックスカルバート および門型カルバート ※トンネルのように本線が中を通行するもの

【参考】道路管理データベース作成マニュアル（項目別記入要領集）道路施設データ編
 D080道路BOX基本、D090横断BOX基本

【④D100 パイプカルバート / 作成対象 入力方法】

- 管理する道路下に埋設されている管渠が対象
- 最大土被りと最小土被りをそれぞれ入力
- 「土被り」は、躯体頂部から路面までの高さ（舗装厚含む）を入力



【ミス事例】

(誤) 土被りが未入力

⇒ (正) 「最大土被り(m)」と
「最小土被り(m)」を
それぞれ小数第1位まで入力

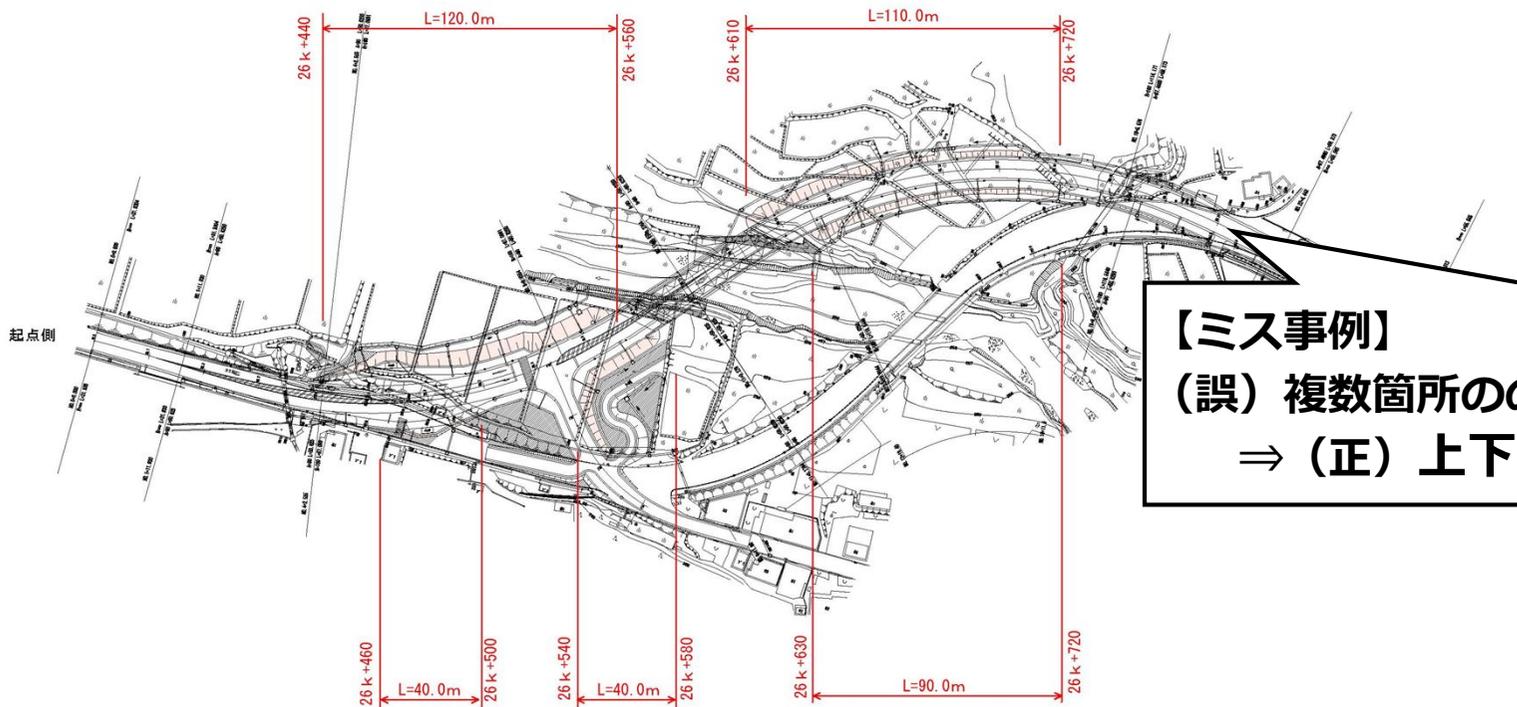
(誤) 土被りの値に舗装厚が含まれていない

⇒ (正) 「土被り」は、躯体頂部から
路面までの高さ（舗装厚含む）
を入力

【参考】道路管理データベース作成マニュアル(項目別記入要領集)道路施設データ編
D100パイプカルバート基本

【⑤D110 のり面 / 作成対象】

- のり面の最大直高5m以上を作成対象とする
※管理上必要と判断されるのり面については、関連部署と協議の上、データ整備の対象となる
- 複数箇所ののり面は、上下線別・箇所別に作成
- 道路管理者が管理する施設を作成対象とする（橋梁工事に伴う河川護岸工事は作成対象外）



【ミス事例】

(誤) 複数箇所ののり面を1施設として作成
⇒ (正) 上下別・箇所別に作成

【参考】道路管理データベース作成マニュアル
(項目別記入要領集)
道路施設データ編
D110のり面基本

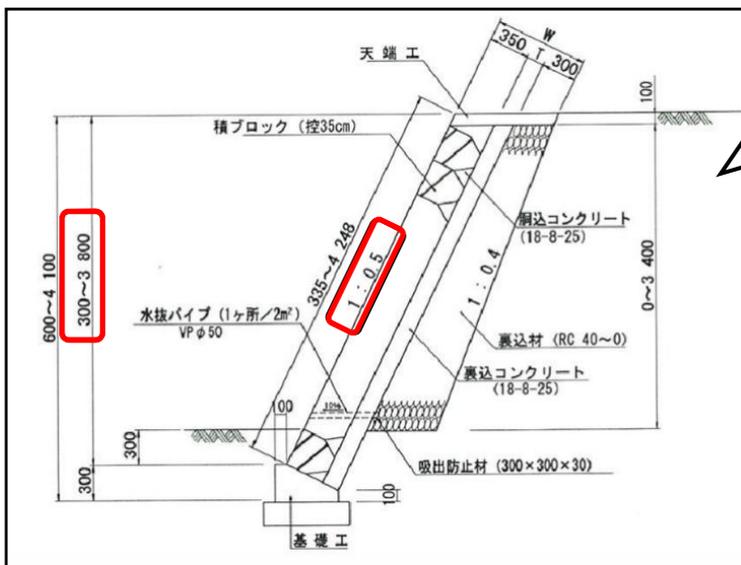
【⑥D120 擁壁 / 作成対象】

- 擁壁の最大高さ 3 m 以上のブロック積擁壁、
5m 以上のコンクリート擁壁を作成対象とする
- 階段状擁壁は高さに関係なく作成対象



【留意事項】

- ・ 階段状擁壁は、
高さに関係なく作成対象



【ミス事例】

(誤) 擁壁の最大高(m)、最小高(m)、勾配が未入力

⇒ (正) 最大高(m) 3.8
最小高(m) 0.3
勾配 0.50

【参考】道路管理データベース作成マニュアル

(項目別記入要領集) 道路施設データ編 D120擁壁基本

【⑦E010 防護柵 / 入力方法】

- 高欄兼用車両用防護柵（A種／B種）及び車両用防護柵（A種／B種）は防護柵種別ではないため、既存のコードから適切な防護柵種別を選択
- 歩行者の「横断防止」や「転落防止」が目的で歩道に設置されているガードフェンスは、「P種」または「SP種」を選択

【防護柵種別（抜粋）】

区 分		コード	区 分		コード		
路側用	A	Gr-A-4E	101	路側用	B	Gr-B2-4E	639
		Gr-A-2B	102			Gr-B3-3E	640
		Gc-A-6E	103			Gr-B4-2E	641
		Gc-A-4B	104			Gr-B2-2B	642
		Ga-A-4E	105			Gr-B3-2B	643
		Ga-A-2B	106			Gr-B4-2B	644
		Gr-A-3E	107			Gc-B2-6E	645
		Gr-A-3B	108			Gc-B3-5E	646
		Gp-A-3E	601			Gc-B4-4E	647

【留意点】

「A種／B種」という表現では防護柵種別（ガードレール、ガードパイプ等）が把握できないため、既存の選択肢より適切なコードを選択



区 分		コード
	Gp-Ap-2B	304
	Gp-Ap1-2E	B01
	Gp-Ap1-2B	B02
	Gp-Ap2・3-1E	B03
	Gp-Ap2・3-1B	B04
Bp	Gr-Bp-2E	311
	Gr-Bp-2B	312
	Gp-Bp-2E	313
	Gp-Bp-2B	314
	Gp-Bp1-2E	B11
	Gp-Bp1-2B	B12
Cp	Gp-Bp2-1E	B13
	Gp-Bp2-1B	B14
	Gr-Cp-2E	321
	Gr-Cp-2B	322
	Gp-Cp-2E	323
	Gp-Cp-2B	324
	Gp-Cp1・2-1E	B21
	Gp-Cp1・2-1B	B22
P		401
SP		402

【留意点】

既存の選択肢コードに「ガードフェンス」がないため「その他」で入力される場合がある
→（正）歩行者の「横断防止」や「転落防止」が目的であれば「P種」または「SP種」を選択

【⑦E010 防護柵 / 入力方法】

- 転落防止柵の「設置目的」は、設置箇所が「歩道路肩側」であれば「15 歩行者等の横断防止」ではなく、「14 歩行者、自転車等の路外への転落防止」で作成する



【ミス事例】

(誤)

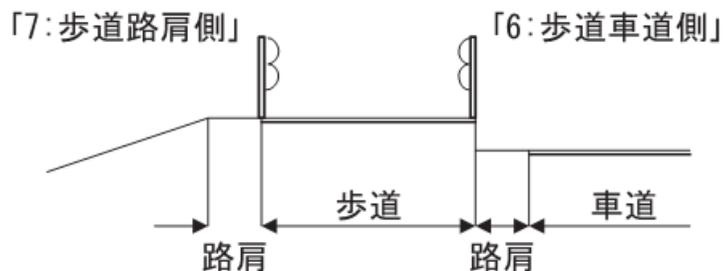
歩道路肩側の転落防止柵の設置目的を「15 歩行者等の横断防止」で作成

⇒(正)

「14 歩行者、自転車等の路外への転落防止」で作成

【設置目的】

区 分	コード
車両の路外逸脱防止	1 1
車両の対向車線への逸脱防止	1 2
歩行者、自転車等の保護	1 3
歩行者、自転車等の路外への転落防止	1 4
歩行者等の横断防止	1 5
その他	9 9



【参考】道路管理データベース作成マニュアル(項目別記入要領集)道路施設データ編 E010防護柵基本

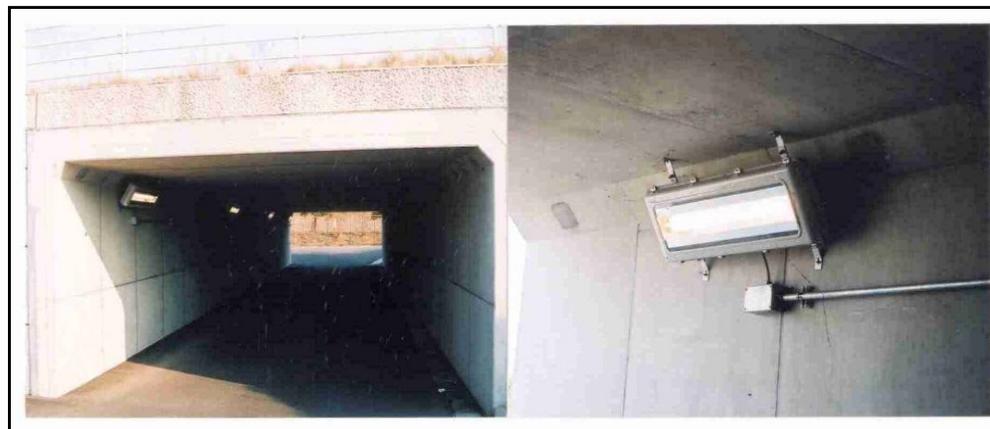
【⑧E020 道路照明 / 作成単位】

- トンネル照明や横断BOX内照明のように施設内に連続して照明が設置されている場合は、一括して取り扱う（1件のデータとして作成）
- 光源種別（高圧ナトリウムランプ、けい光ランプ（白色）等）が複数ある場合は、「光源種別 1、2、3」の項目にそれぞれ「光源種別」と「灯数」を記入

現況写真作成例 | トンネル内照明



現況写真作成例 | 横断BOX内照明



【留意点】

- ・施設内に連続して照明が設置されている場合は、一括してデータを作成

【参考】道路管理データベース作成マニュアル(項目別記入要領集)道路施設データ編 E020照明基本

【⑧E020 道路照明 / 入力方法】

- 「設置区分」が「道路照明（コード11）」の場合、「関連施設名称」は「*」（該当なし）を入力
- 「引込方式」が「架空単独（コード1）・地中単独（コード3）・構造物添架式単独（コード5）」の場合、「分岐方式」は「*」（該当なし）を入力

【設置区分】

区 分	コード	区 分	コード
道路照明	1 1	歩道照明	2 2
トンネル照明	1 2	標識照明	2 3
橋梁照明	1 3	横断歩道照明	2 4
橋側歩道橋照明	1 4	擁壁照明	2 5
横断歩道橋照明	1 5	横断BOX等照明	2 6
地下横断歩道照明	1 6	自動車駐車場照明	2 7
道路BOX等照明	1 7	スノーシェルター照明	2 8
洞門照明	1 8	立体地下駐車場照明	2 9
スノーシェッド照明	1 9	Uターン場照明	3 0
道路交差点照明	2 0	その他照明	9 9
共同溝照明	2 1		

【引込方式】

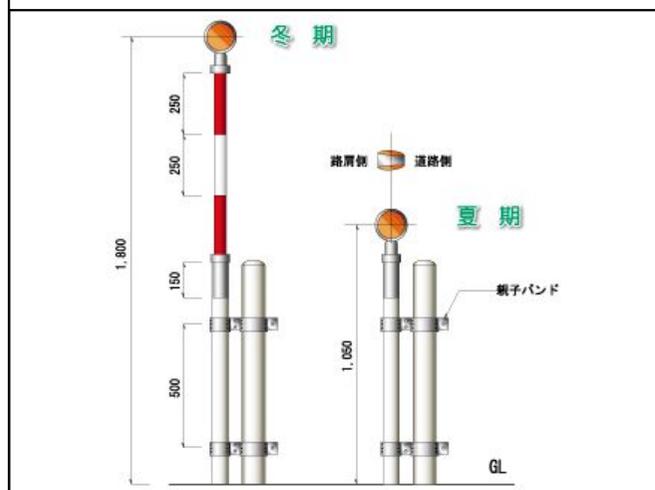
区 分	コード
架空単独	1
連続	2
地中単独	3
連続	4
構造物添架式単独	5
連続	6
そ の 他	9

【参考】道路管理データベース作成マニュアル
 (項目別記入要領集)道路施設データ編 E020照明基本

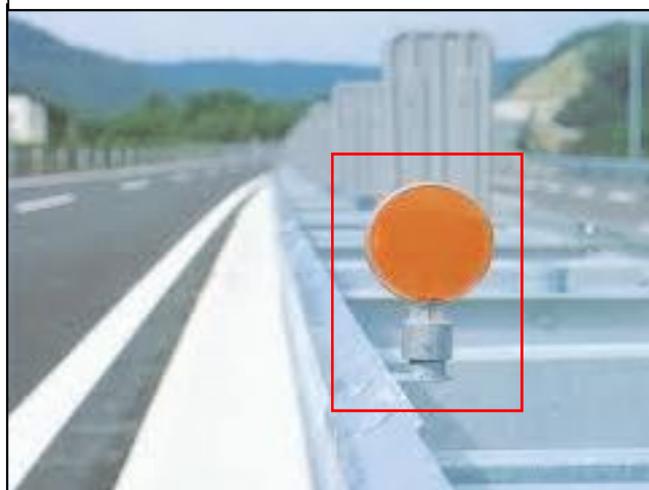
【⑨E030 反射式視線誘導標 / 作成対象】

- 防護柵、構造物等に設置されているものではなく、
「自立した支柱を持つもの（単独柱）」を 対象とする

デリネータ[兼用型] ⇒ **対象**



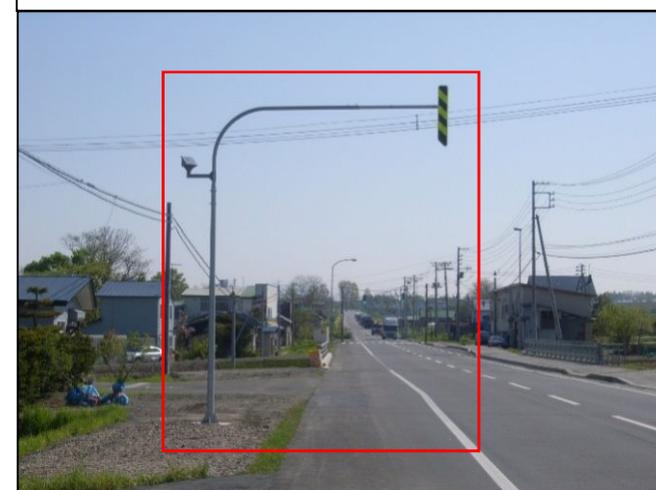
デリネータ[添架] ⇒ **対象外**



【留意点】

- ・ガードレール添架タイプ
⇒対象外

固定式視線誘導柱 ⇒ **対象**



【留意点】

- ・固定式視線誘導柱は、
反射式視線誘導で作成

【参考】道路管理データベース作成マニュアル(項目別記入要領集)
道路施設データ編 E030反射式視線誘導

【⑩E030反射式・E040 自光式視線誘導標 / 作成対象】

- 防護柵、構造物等に設置されているものではなく、「自立した支柱を持つもの（単独柱）」を 対象とする
- シェブロンマーカ―は標識ではなく、反射式／自光式視線誘導標として作成し、備考欄に「シェブロンマーカ―」である旨を記載する。



シェブロンマーカ― ⇒ 対象



【留意点】

- ・自立した支柱を持っていない ⇒ 対象外

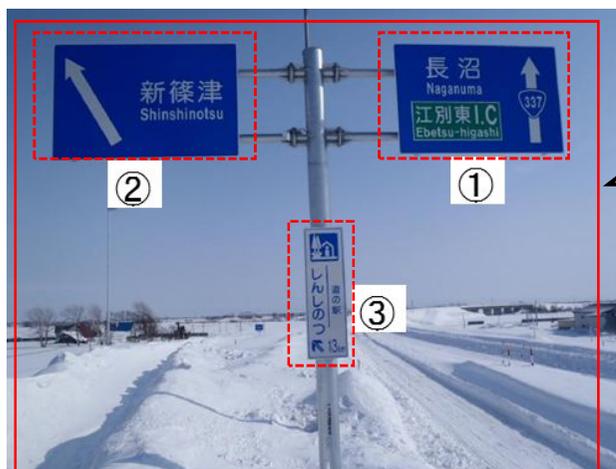
【ミス事例】

(誤) 「E050 標識基本」で作成
⇒ (正) 「E030反射式／E040自光式視線誘導標」で作成

【参考】道路管理データベース作成マニュアル(項目別記入要領集)道路施設データ編
E030反射式視線誘導・E040自光式視線誘導基本

【⑪E050 道路標識 / 作成単位】

- ポールまたは門型構造物等一基毎に、親データ「E050 標識基本」を作成し、道路標識に関する個々の標識板の表示内容等については、子データ「E051標識各板諸元」にて作成



【正しい作成例】

- ・「E050 標識基本」1件
- ・「E051 標識各板諸元」3件
標識種類番号
①108/2-B
②108/2-B
③999

【ミス事例】

- (誤) 添架の補助標識データが未作成
⇒ (正) 補助標識の「E051 標識各板諸元」データを作成

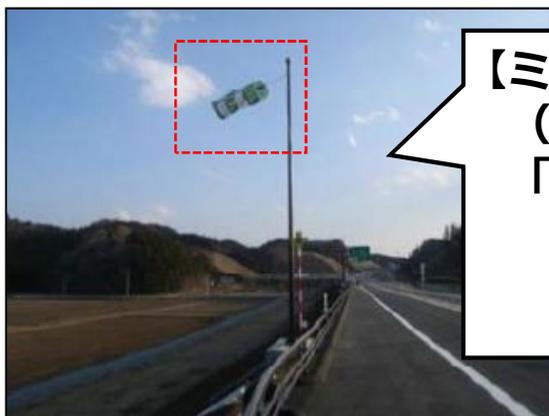
【ミス事例】

- (誤) 「E050 標識基本」データを2件作成
⇒ (正) 「E050」1件、「E051」2件を作成

【参考】道路管理データベース作成マニュアル
(項目別記入要領集)道路施設データ編
E050標識基本・E051標識各板諸元

【⑪E050 道路標識 / 作成対象・入力方法】

- 吹き流しは、「E050 道路標識」ではなく「E110気象観測施設」で作成
- 「設置方式」が構造物（歩道橋・信号・照明柱・電柱・高架橋等）への添架式の場合は「支柱形式」に「＊」（該当なし）を記入



【ミス事例】
 （誤）吹き流しについて
 「E050 道路標識」データを作成
 ⇒（正）「E110気象観測施設」
 としてデータ作成

【装置種別】

区 分	コード	区 分	コード
雨	雨量計	視程	透過率計
	降雨強度計		4 1
雪	降雪計	風向、風速計	5 1
	積雪深計		吹き流し
		5 2	
路面凍結	気温計	波	波浪計
	路温計		6 1
	路面水分計	その他	
	降水検知器	9 9	
	湿度計		
	路面凍結計(記録可)		
	路面凍結計(記録不可)		

【設置方式】
 照明柱添架式



【留意点】

- ・ 構造物に添架されている標識は、「E050 道路標識」の「支柱形式」に「＊」（該当なし）を記入

【支柱形式】

区 分	コード
単 柱 式	1 1
複 柱 式	1 2
逆 L 型	1 3
F 型	1 4
テーパーポール型	1 5
T 型	1 6
オーバーヘッド型	1 7
そ の 他	9 9

【参考】道路管理データベース作成マニュアル(項目別記入要領集)
 道路施設データ編 E050標識基本・E110気象観測基本

【⑪E050 道路標識 / 入力方法】

- 車道路面から標識板下端までの高さ「クリアランス (m)」は、4.7m以上で設定する
- 標識板が車道上に設置されていない場合は「*」(該当なし)を記入

路線	現旧区分C	整理番号1	百米標	距離	上り下り区分	設置方式	クリアランス
0230	1	00850046	23.4	27	下り線	片持式	0.00

【ミス事例】

(誤) クリアランス「0.00m」で入力

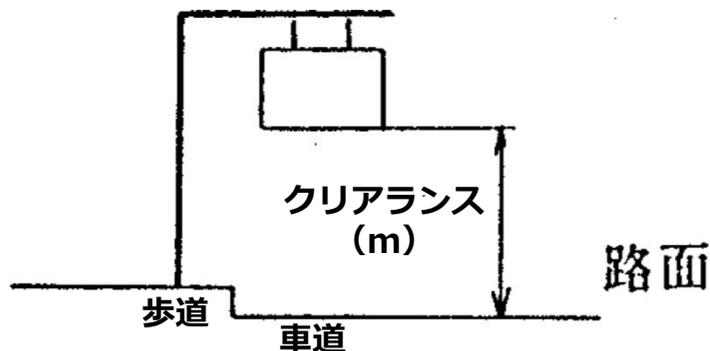
⇒ (正) 一般図等を確認し、規定値以上の「5.00m」に修正

路線	現旧区分C	整理番号1	百米標	距離	上り下り区分	設置方式	クリアランス
0229	1	01790350	95.2	0	上り線	路側式	2.00

【ミス事例】

(誤) クリアランス「2.00m」で入力

⇒ (正) 現況写真等から「路側式」で標識板が車道上にない場合は「*」に修正



【参考】道路管理データベース作成マニュアル(項目別記入要領集)
道路施設データ編 E050標識基本

【⑫E150 雪崩防止施設 / 作成対象】

●雪崩防止施設における「施設種別」を適切に選定

【施設種別】

区 分	コード
なだれ施設	
・予防杭	11
・予防柵	12
・吊柱	13
・吊柵	14
・スノーネット	15
・雪底予防柵	16
・防護柵	17
・補助防護柵 (擁壁上の補高材)	18
・防護杭	19
・誘導柵	20
・その他	21
・階段工	22
・誘導壁	23
ふぶき、吹きだまり施設	
・吹きだめ柵 (防雪柵)	51
・吹き払い柵 (防雪柵)	52
・その他	53
その他	99



【施設種別 事例】

・なだれ施設
予防柵
(コード12)



【ミス事例】

(誤) 「防雪柵」を「E010 防護柵」として
作成

⇒ (正) 「E150 雪崩防止基本」で作成

【施設種別】

ふぶき、吹きだまり施設
吹き払い柵 (防雪柵)
(コード52)

【留意点】

「飛雪防止柵」は「E150 雪崩防止基本」
の施設種別で
ふぶき、吹きだまり施設「その他」
(コード53) を選択

【参考】道路管理データベース作成マニュアル(項目別記入要領集)
道路施設データ編 E150雪崩防止基本